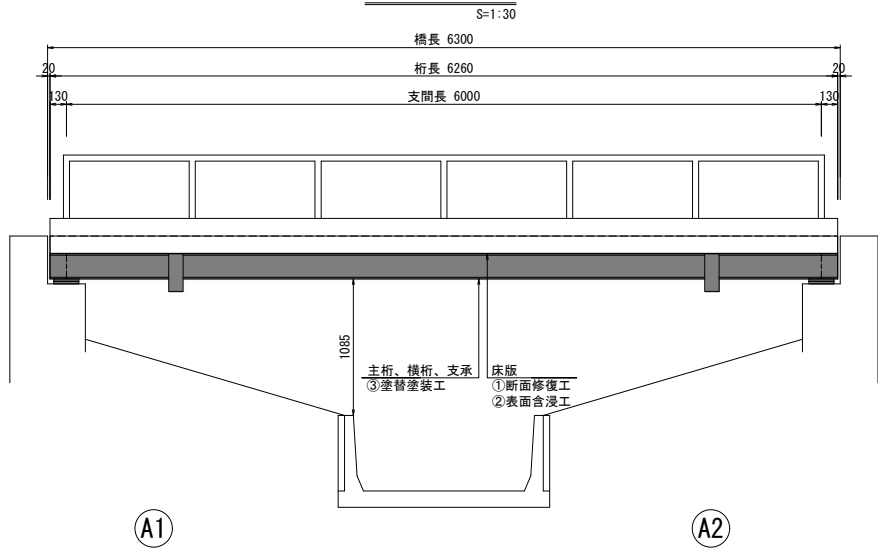
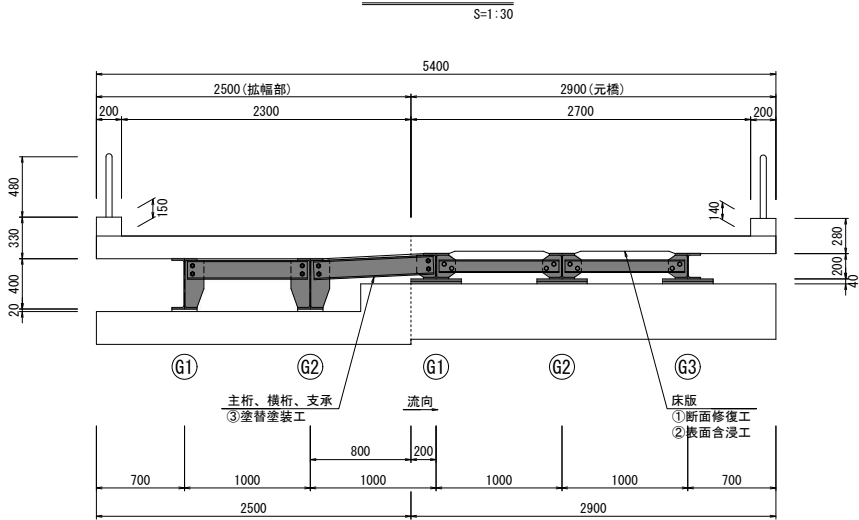


無名橋(3025) 補修一般図

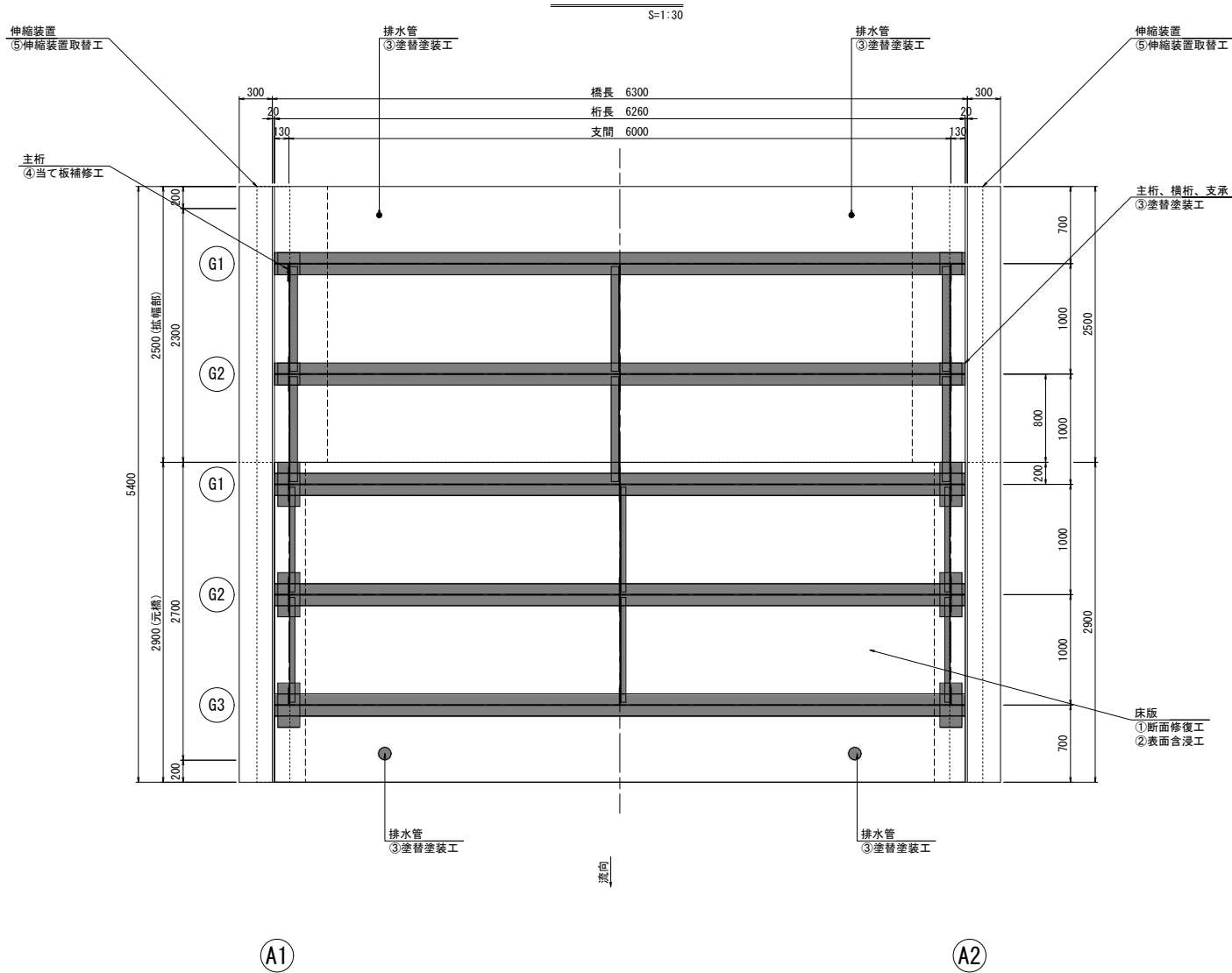
側面図



断面図



平面図



補修工一覧

補修工番号	補修工種	適用箇所
①	断面修復工	床版
②	表面含浸工	床版
③	塗替塗装工	主桁、横桁、支承、排水管
④	当て板補修工	主桁
⑤	伸縮装置取替工	伸縮装置

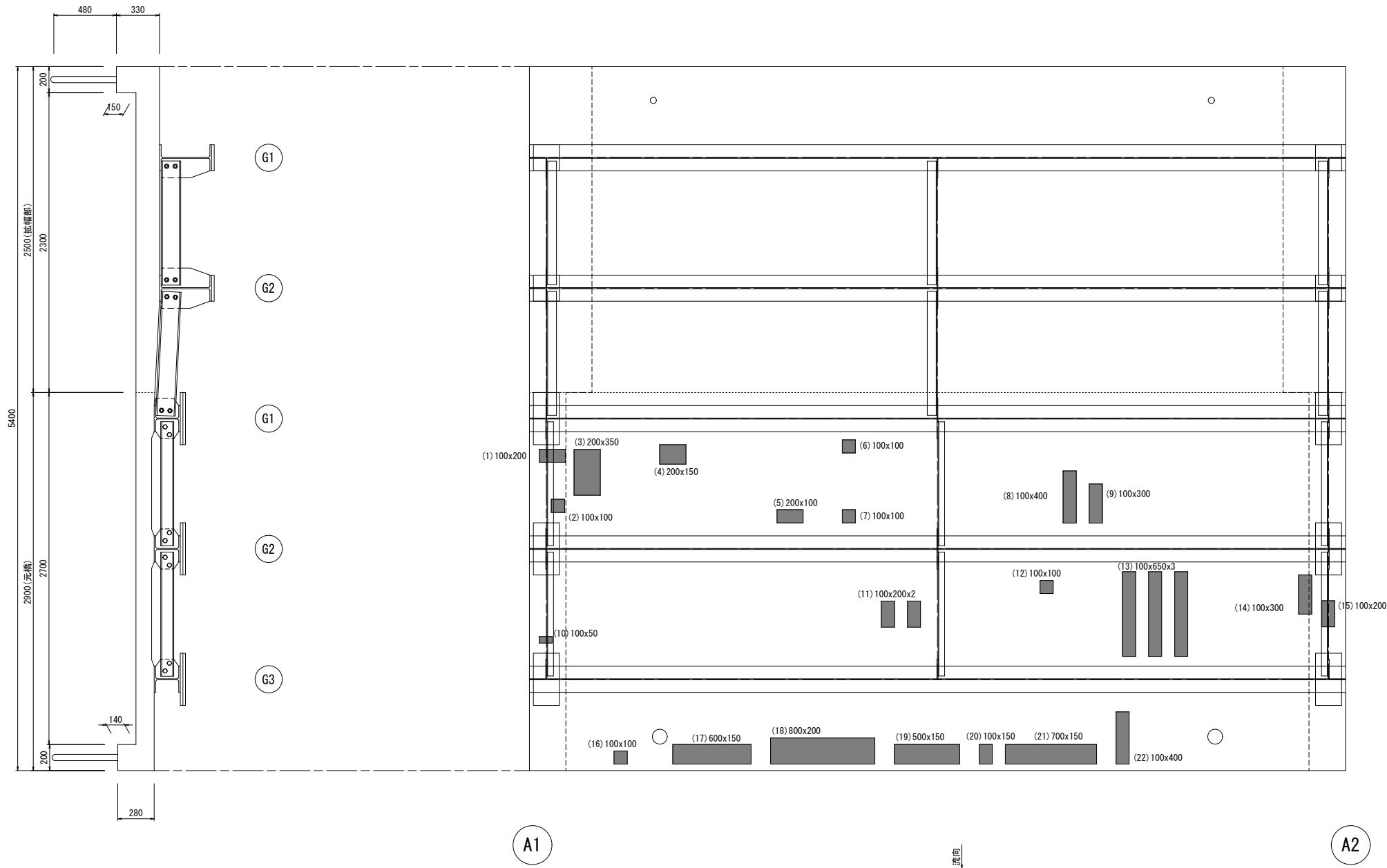
認可・実施	当初 第 回変更
年度・番号	令和6年度 長道河第296号
路線名	市道下益田中心線
工事名	橋梁（三谷尻3号橋他）補修工事
地名	長浜市益田町
図面名	無名橋(3025) 補修一般図
縮尺	図示
図面番号	35 枚ノ内 1
長浜市 都市建設部 道路河川課	

無名橋(3025) 断面修復図

【凡例】
■：断面修復工

桁 下

S=1:20

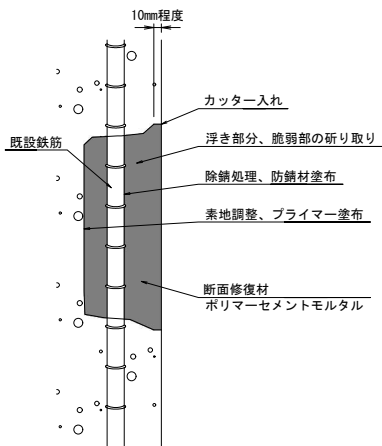


断面修復工数量一覧表

部材		幅 (m)	長さ (m)	個数 (個)	面積 (m2)	厚さ (m)
床版	1	0.100	0.200	1	0.020	0.050
	2	0.100	0.100	1	0.010	0.050
	3	0.200	0.350	1	0.070	0.050
	4	0.200	0.150	1	0.030	0.050
	5	0.200	0.100	1	0.020	0.050
	6	0.100	0.100	1	0.010	0.050
	7	0.100	0.100	1	0.010	0.050
	8	0.100	0.400	1	0.040	0.050
	9	0.100	0.300	1	0.030	0.050
	10	0.100	0.050	1	0.005	0.050
	11	0.100	0.200	2	0.040	0.050
	12	0.100	0.100	1	0.010	0.050
	13	0.100	0.650	3	0.195	0.050
	14	0.100	0.300	1	0.030	0.050
	15	0.100	0.200	1	0.020	0.050
	16	0.100	0.100	1	0.010	0.050
	17	0.600	0.150	1	0.090	0.050
	18	0.800	0.200	1	0.160	0.050
	19	0.500	0.150	1	0.075	0.050
	20	0.100	0.150	1	0.015	0.050
	21	0.700	0.150	1	0.105	0.050
	22	0.100	0.400	1	0.040	0.050
合計					1.035	

断面修復工(参考)

左官工法



注記)

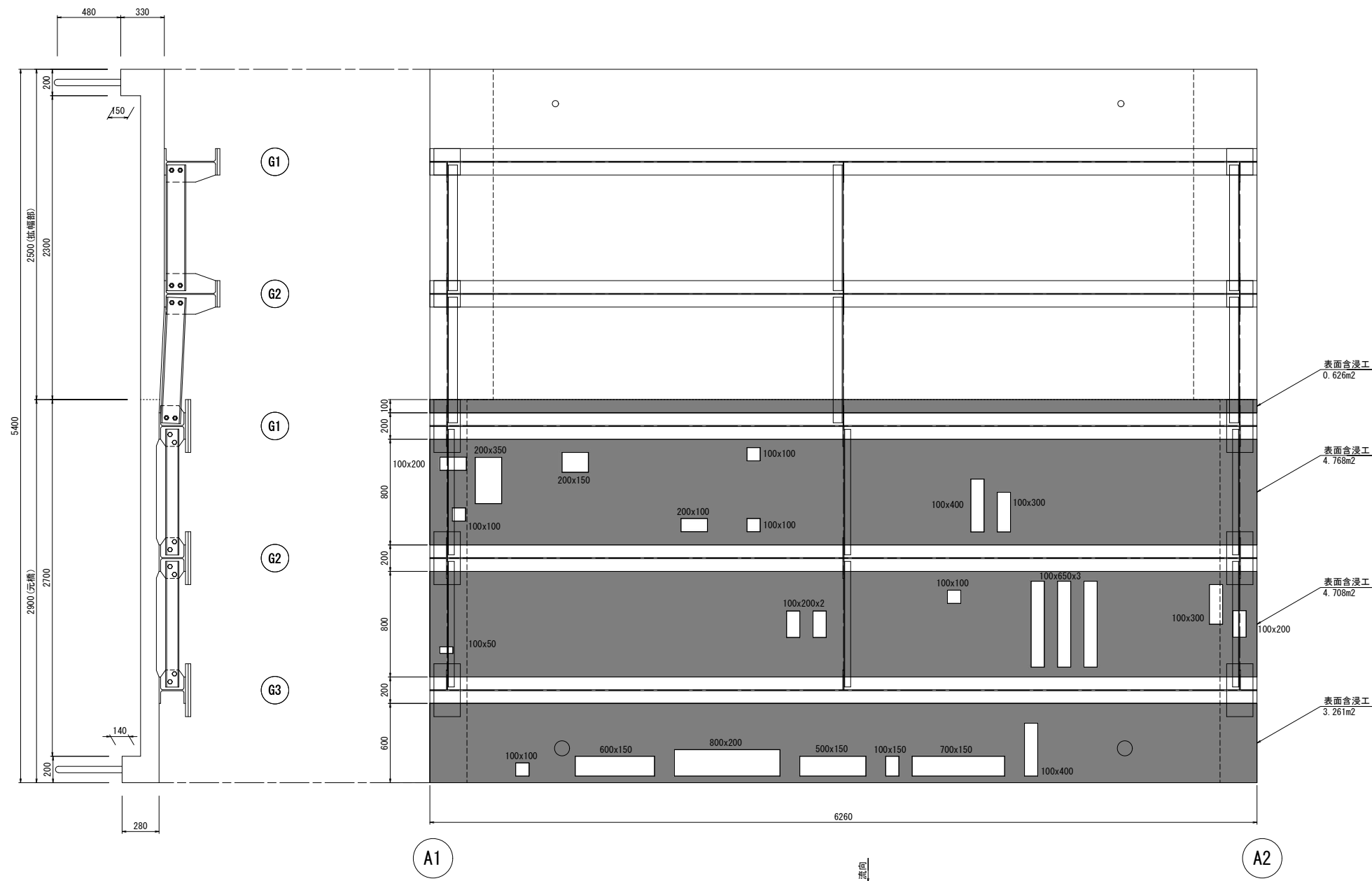
- ・補修範囲に10mm程度カッターを入れてから施工すること。
- ・断面修復は、脆弱部をたたき落とした上で実施すること。
- ・断面修復の際は、鉄筋に防錆処理を施すこと。
- ・はつり深さが大きく50mm程度以上の厚塗りとなる場合には、多層塗りとすることを基本とする。
- ・かぶり厚が十分確保できない場合は、補修材を盛ること。
- ・断面修復箇所及び数量は、現地にて確認すること。
- ・補修箇所の確認に際しては全面打音調査を行うこと。
- ・付着強度1.5N/mm2以上

認可.実施	当 初 第 回変更
年度.番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道下益田中心線
工 事 名	橋梁（三谷尻3号橋他）補修工事
地 名	長浜市益田町
図 面 名	無名橋（3025） 断面修復図
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚ノ内 2
長浜市 都市建設部 道路河川課	

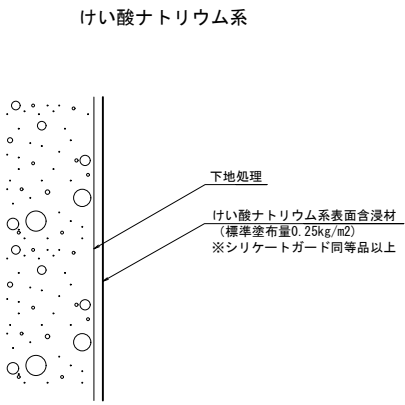
無名橋(3025) 表面含浸図

【凡例】
■ : 表面含浸工

桁 下
S=1:20



表面含浸工詳細図（参考）



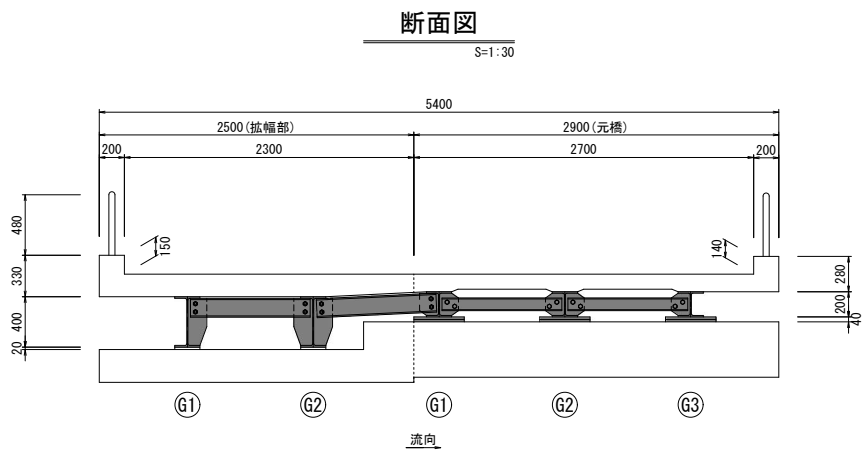
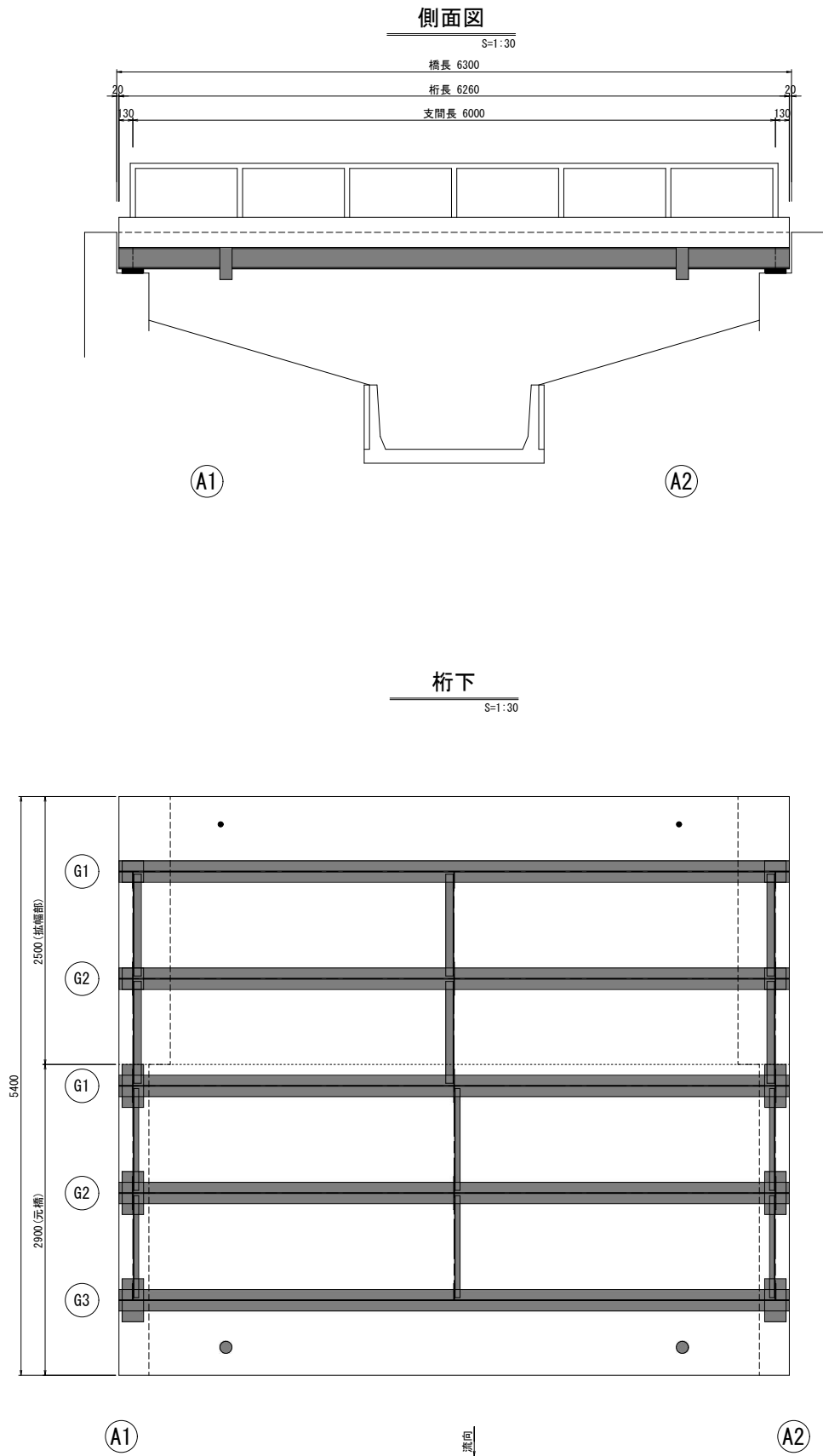
表面含浸工数量表

細 別	規 格	単 位	数 量
コンクリート保護面積	けい酸ナトリウム系表面含浸材	m2	13.363

認可.実施	当 初 第 回変更
年度.番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道下益田中心線
工 事 名	橋梁（三谷尻3号橋他）補修工事
地 名	長浜市益田町
図 面 名	無名橋（3025） 表面含浸図
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚ノ内 3
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課	

■ : 塗替塗装 (Rc-Ⅱ 塗装系)

無名橋 (3025) 塗替塗装図



Rc-Ⅱ 塗装系 (はけ、ローラー)

塗装工程	塗料名	使用料 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	2種		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント※1	600	1日～10日※2
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用上塗	120	1日～10日

※1：素地調整程度2種で旧塗膜を全面除去した場合は、有機ジンクリッチペイントの使用量が600g/m2とする。
※2：現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。

【鋼道路橋防食便覧 H26.3 Ⅱ-119より】

Rc-Ⅳ 塗装系 (はけ、ローラー)

塗装工程	塗料名	使用料 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	4種		4時間以内
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用上塗	120	1日～10日

【鋼道路橋防食便覧 H26.3 Ⅱ-119より】

※特記事項
1 旧塗膜は鉛を含有しているため関係法令を順守して作業を行うこと。
2 清掃・水洗い後、付着塩分量が50mg/m2以下となっているか確認すること。
3 素地調整作業時は換気に十分注意すること。
4 河川他、周辺環境に有害物質を含んだ粉塵・塗膜くず等が飛散しないよう十分注意すること。
5 上塗り塗装色は、塗料調達前に採用色について監督員と協議すること。

塗替塗装工 (Rc-Ⅱ) 数量表

補修箇所	単位	数量	摘要
主桁	m2	36.36	Rc-Ⅱ 塗装系
横桁	m2	4.80	
支承	m2	0.24	
合計	m2	41.40	

塗替塗装工 (Rc-Ⅳ) 数量表

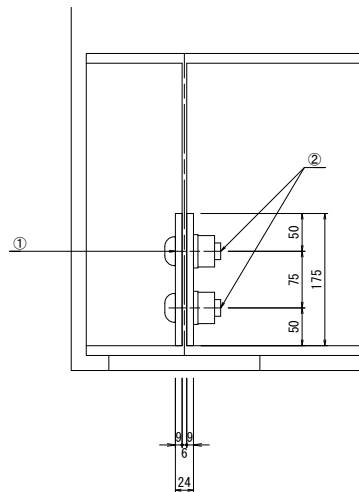
補修箇所	単位	数量	摘要
排水管	m2	0.36	Rc-Ⅳ 塗装系

認可・実施	当 初 第 回変更
年度・番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道下益田中心線
工 事 名	橋梁（三谷尻3号橋他）補修工事
地 名	長浜市益田町
図 面 名	無名橋 (3025) 塗替塗装図
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚ノ内 4
長浜市 都市建設部 道路河川課	

無名橋(3025) 当て板補修図

側面図

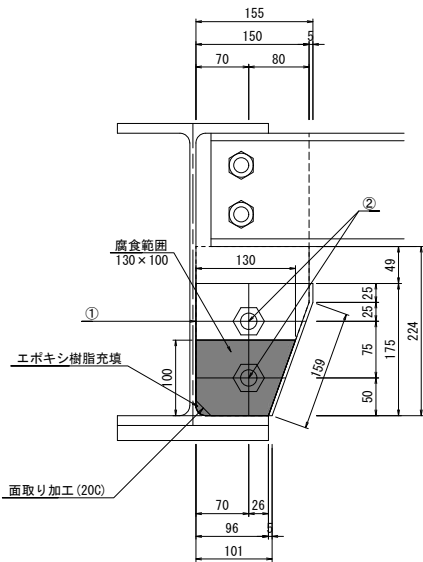
S=1:5



①2-V-Stiff PL 155*9*175 (SS400)
②2-T08 M22*60 (S10T)

断面図

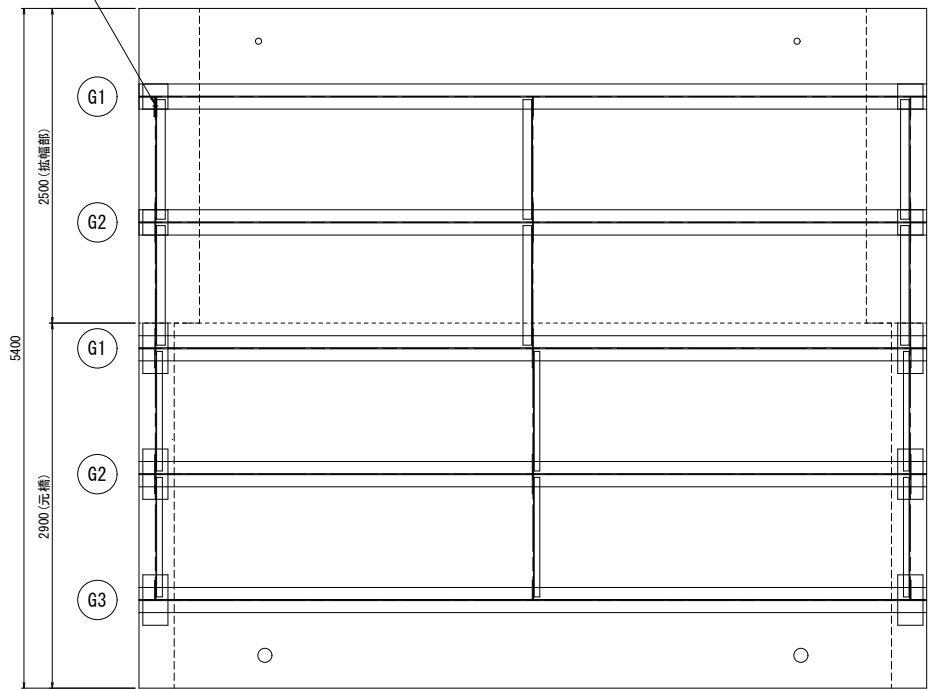
S=1:5



補修位置図

S=1:30

主桁G1(拡幅部)
A1側 V-stiff
当て板補修 1箇所



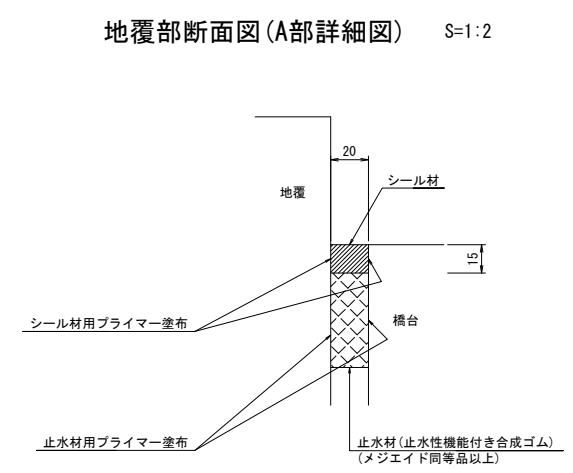
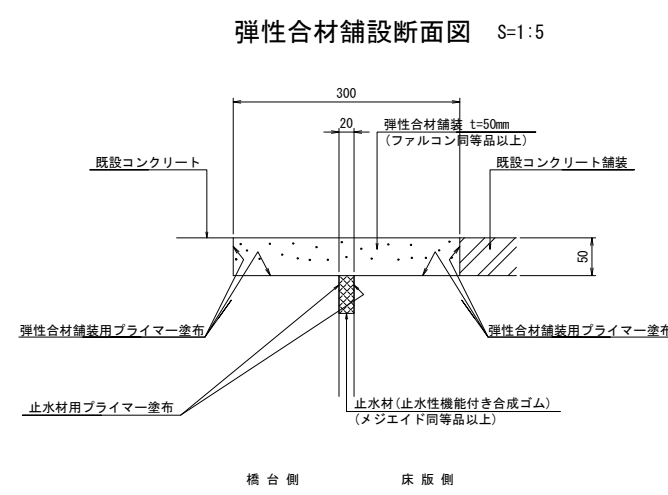
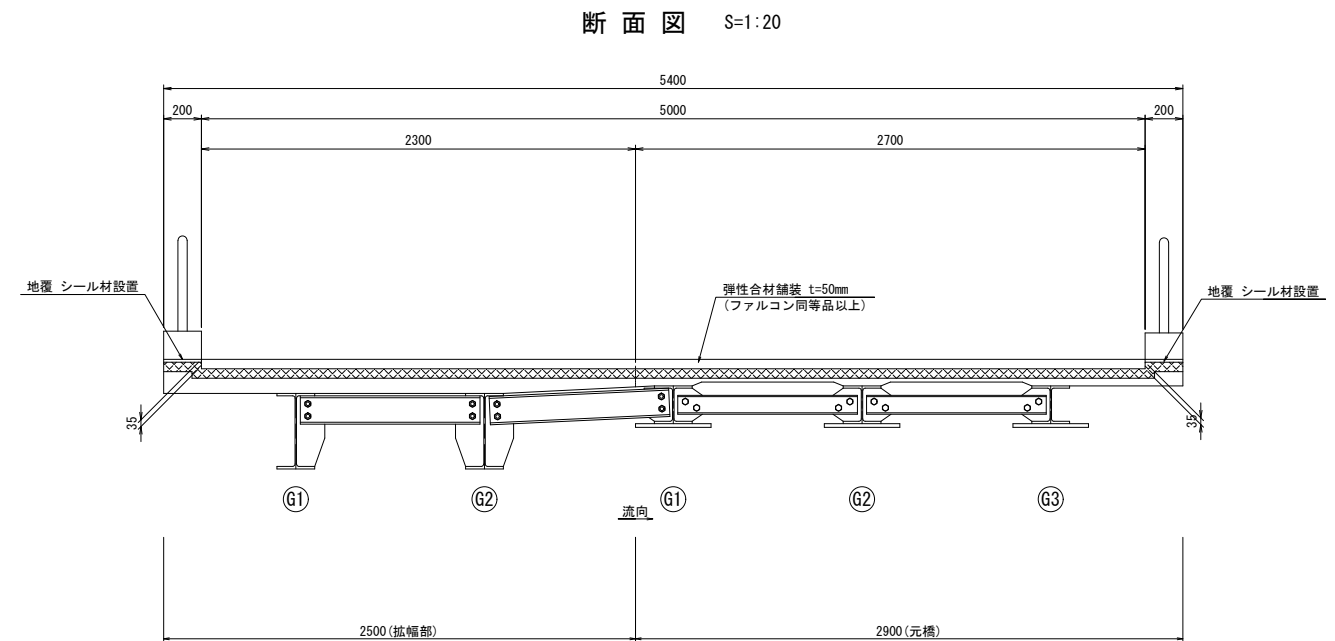
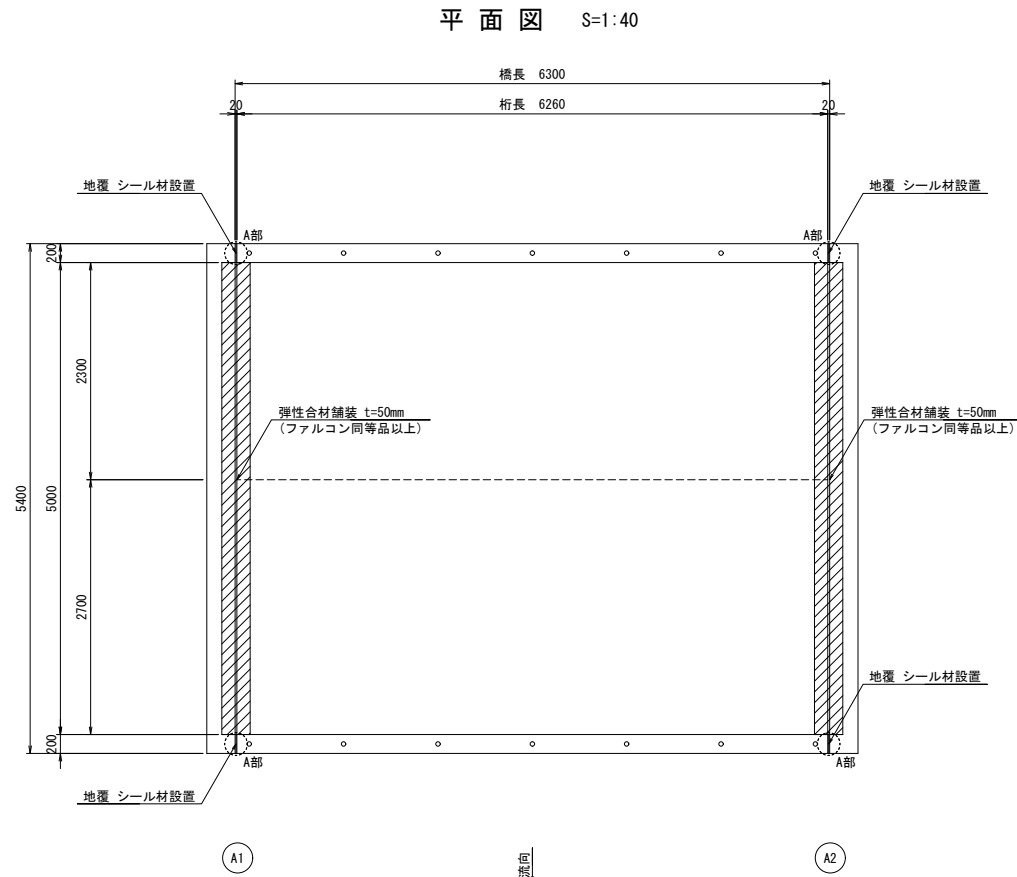
A1

A2

- 注 記)
1. 施工前には現地調査を行い、補修図と照合を行うこと。
 2. 補強部材の既設溶接部干渉箇所は面取り加工を施すこと。
 3. 補強材と既設部材の接合面において、既設部材の腐食のため不陸調整が必要な箇所は樹脂の塗布による対策を施すこと。
 4. 既設部材や新設部材間に生じる隙間は今後の補修で塗替え等ができないことからエポキシ樹脂を充填し、防食機能の劣化や漏水が生じないようにすること。

認可・実施	当初 第 回変更
年度・番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道下益田中心線
工 事 名	橋梁（三谷尻3号橋他）補修工事
地 名	長浜市益田町
図 面 名	無名橋（3025） 当て板補修図
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚ノ内 5
長浜市 都市建設部 道路河川課	

無名橋(3025) 伸縮装置取替図(1/2)

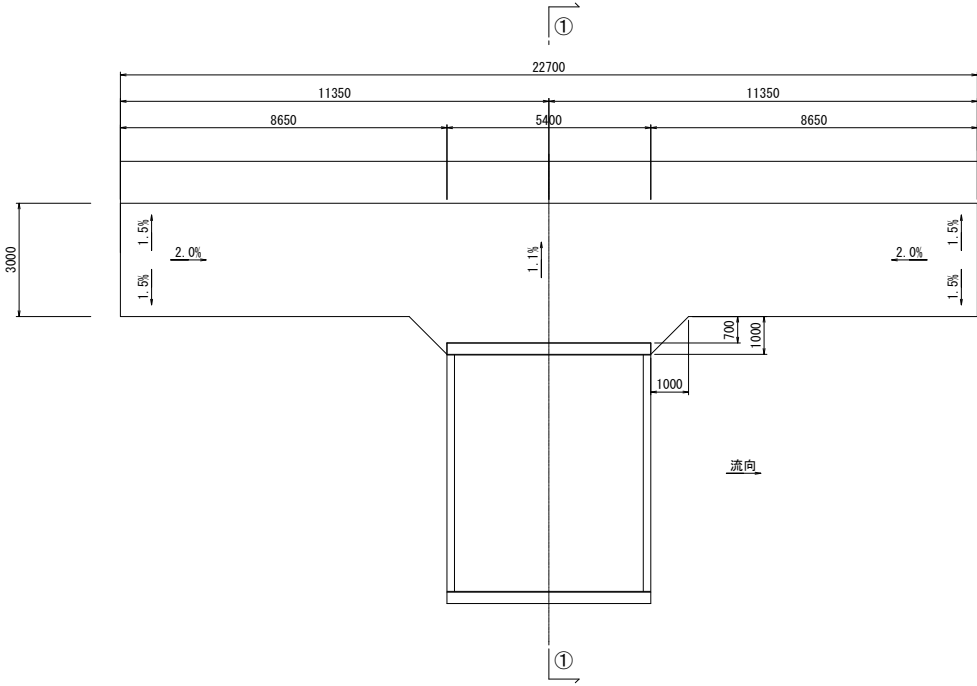


- 注1) 仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。
- 注2) 弾性合材舗設部については、必要に応じて超速硬無収縮モルタル等にて補修及び不陸調整を行うこと。
- 注3) 既設伸縮装置は、ノージョイントを想定。

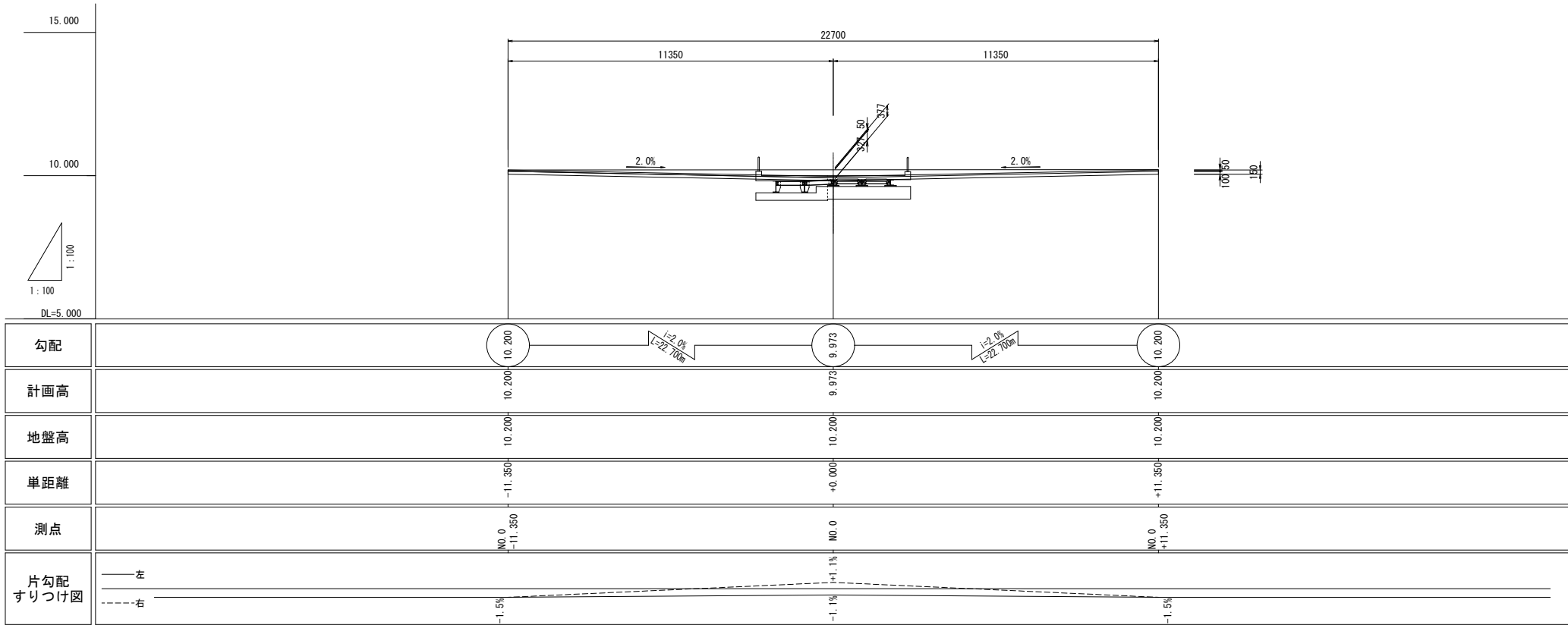
認可・実施	当初 第 回変更
年度・番号	令和6年度 長道河第296号
路線名	市道下益田中心線
工事名	橋梁(三谷尻3号橋他)補修工事
地名	長浜市益田町
図面名	無名橋(3025) 伸縮装置取替図(1/2)
縮尺	図示
図面番号	35枚ノ内 6
長浜市 都市建設部 道路河川課	

無名橋(3025) 伸縮装置取替図(2/2)

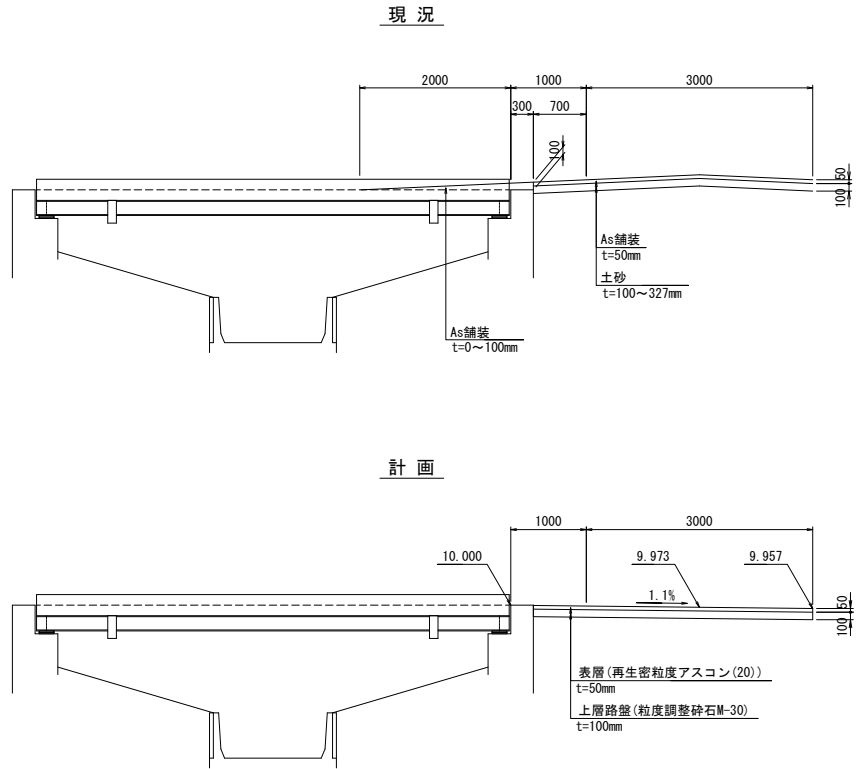
取付道路 平面図 S=1:100



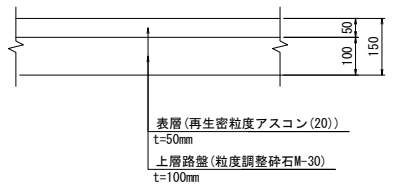
取付道路 縦断面 S=1:100



取付道路 断面図 (①-①) S=1:50

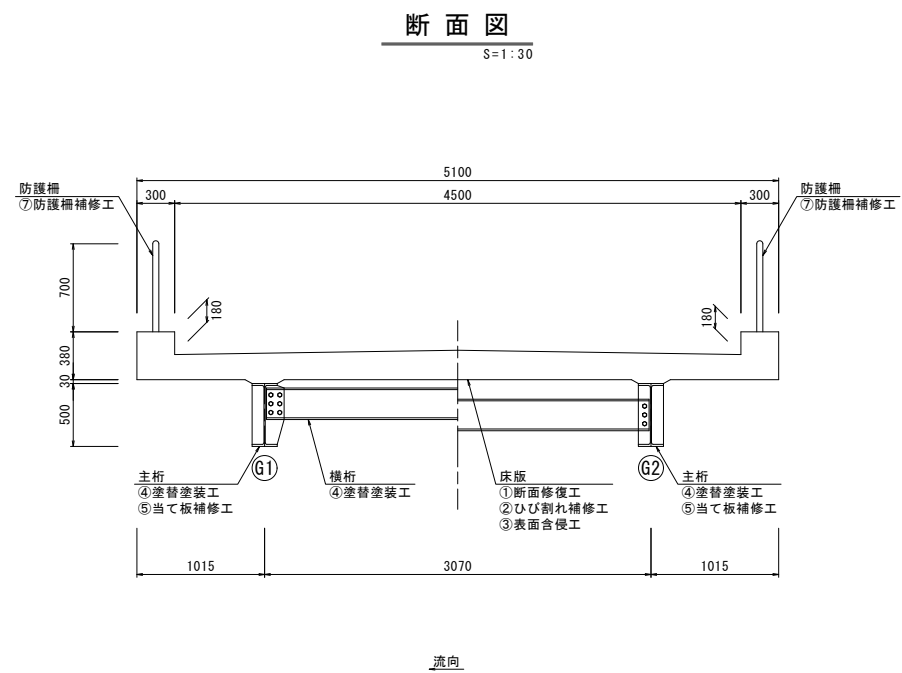
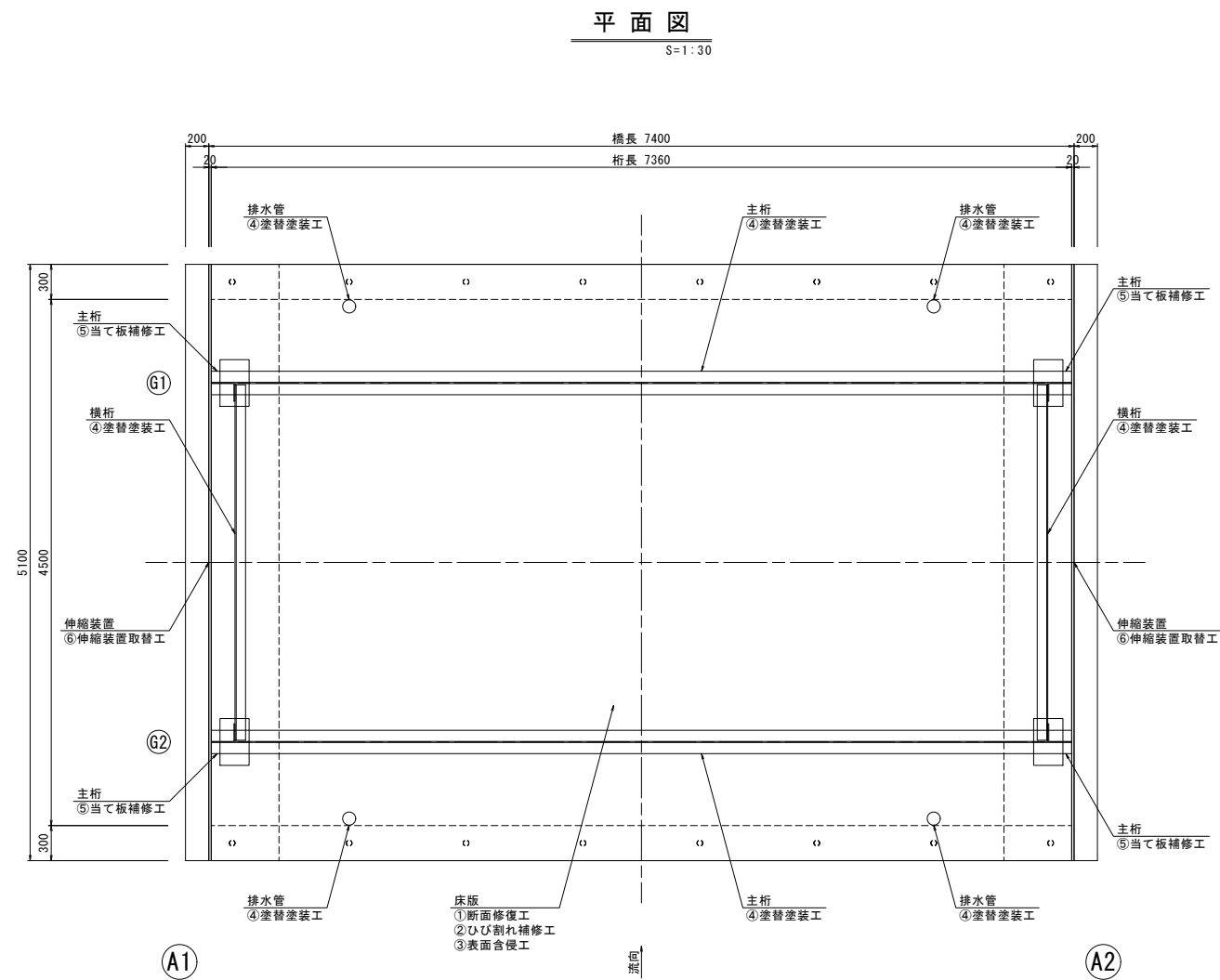
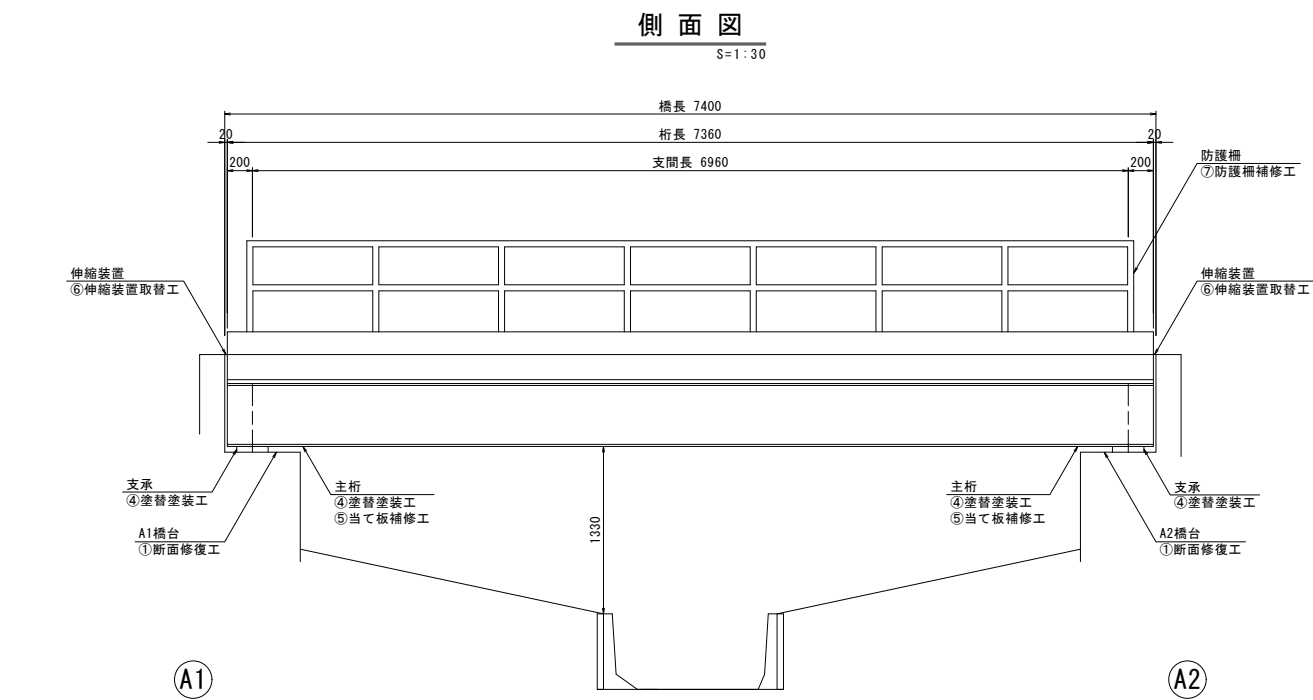


舗装構成 S=1:10



認可・実施	（当 初） 第 回変更
年度・番号	令和6年度 長道河第296号
路線名	市道下益田中心線
工事名	橋梁（三谷沢3号橋他）補修工事
地名	長浜市益田町
図面名	無名橋（3025） 伸縮装置取替図（2/2）
縮尺	図 示
図面番号	35 枚ノ内 7
長浜市 都市建設部 道路河川課	

無名橋(3029) 補修一般図

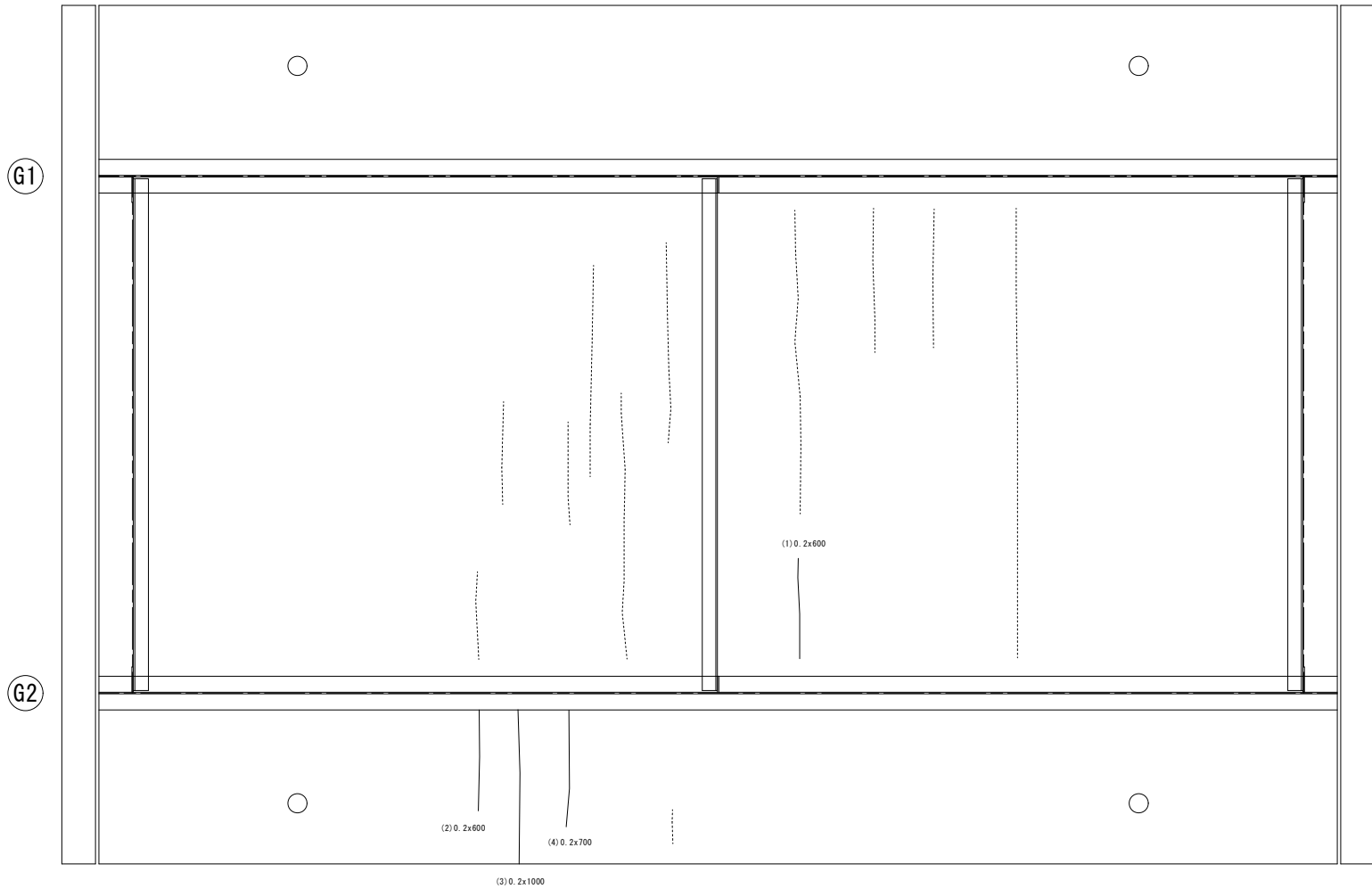


補修工一覧		
補修工番号	補修工程	適用箇所
①	断面修復工	床版、橋台
②	ひび割れ補修工	床版
③	表面含侵工	床版
④	塗替塗装工	主桁、横桁、支承、排水管
⑤	当て板補修工	主桁
⑥	伸縮装置取替工	伸縮装置
⑦	防護柵補修工	防護柵

認可・実施	当初 第 回変更
年度・番号	令和6年度 長道河第296号
路線名	市道益田湖岸線
工事名	橋梁（三谷尻3号橋他）補修工事
地名	長浜市益田町
図面名	無名橋(3029) 補修一般図
縮尺	図示
図面番号	35 枚ノ内 8
長浜市 都市建設部 道路河川課	

無名橋(3029) ひび割れ補修図

桁下 (C o 部 材)
S=1:20

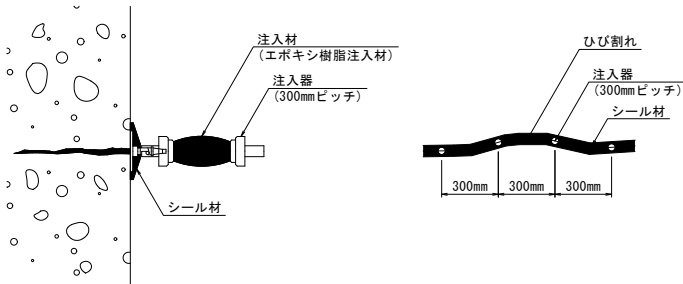


ひび割れ注入工数量一覧表

部材	幅 (mm)	長さ (m)
床版	1 0.2	0.6
	2 0.2	0.6
	3 0.2	1.0
	4 0.2	0.7
合計		2.9

ひび割れ注入工 (参考)

0.2mm以上1.0mm未満のひび割れ



A1

断面

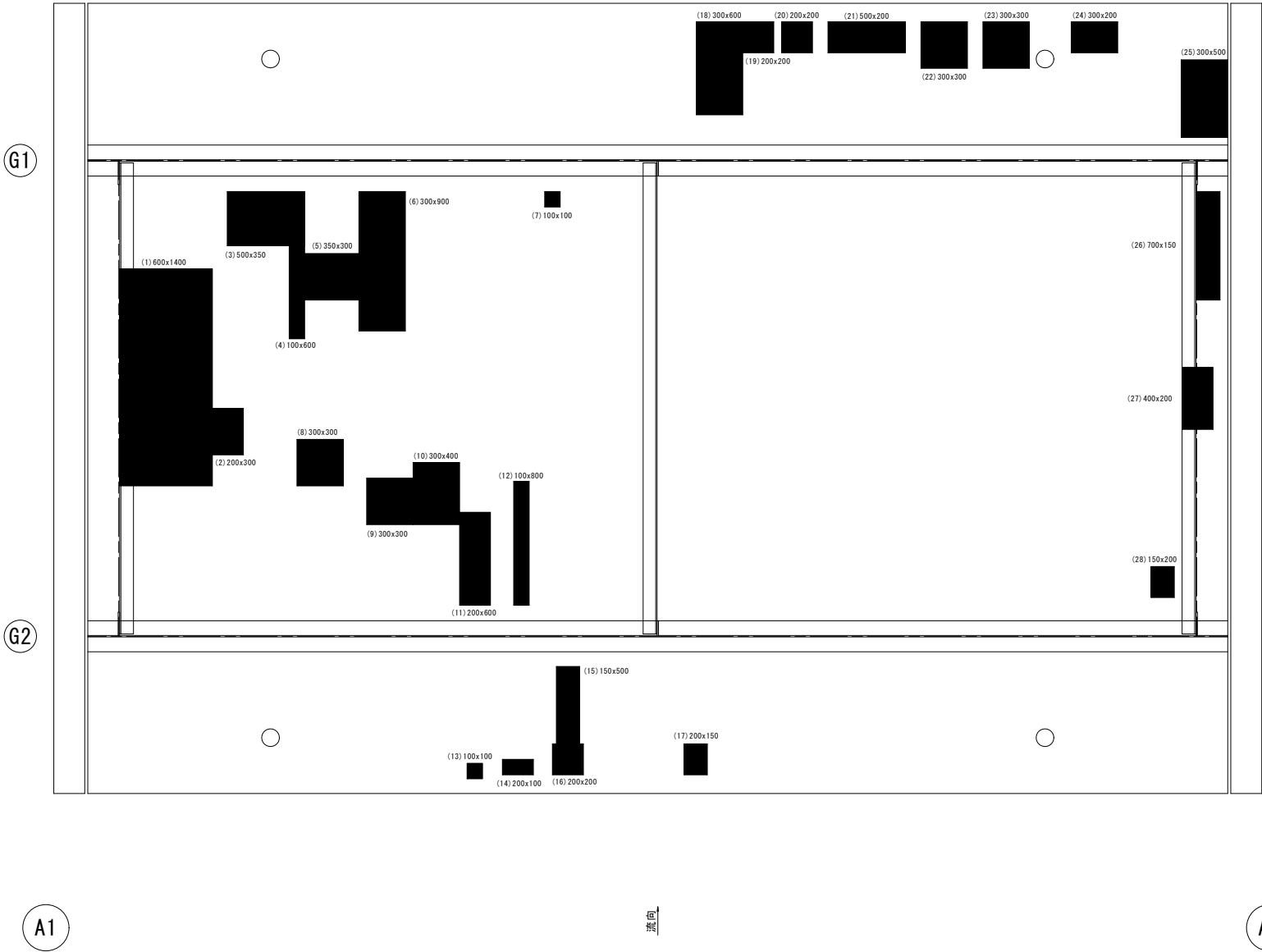
A2

認可.実施	当 初 第 回変更
年度.番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道益田湖岸線
工 事 名	橋梁 (三谷尻3号橋他) 補修工事
地 名	長浜市益田町
図 面 名	無名橋 (3029) ひび割れ補修図
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚ノ内 9
長浜市 都市建設部 道路河川課	

無名橋(3029) 断面修復図(1/2)

【凡例】
■：断面修復工

桁 下 (C o 部 材)
S=1:20



断面修復工数量一覧表

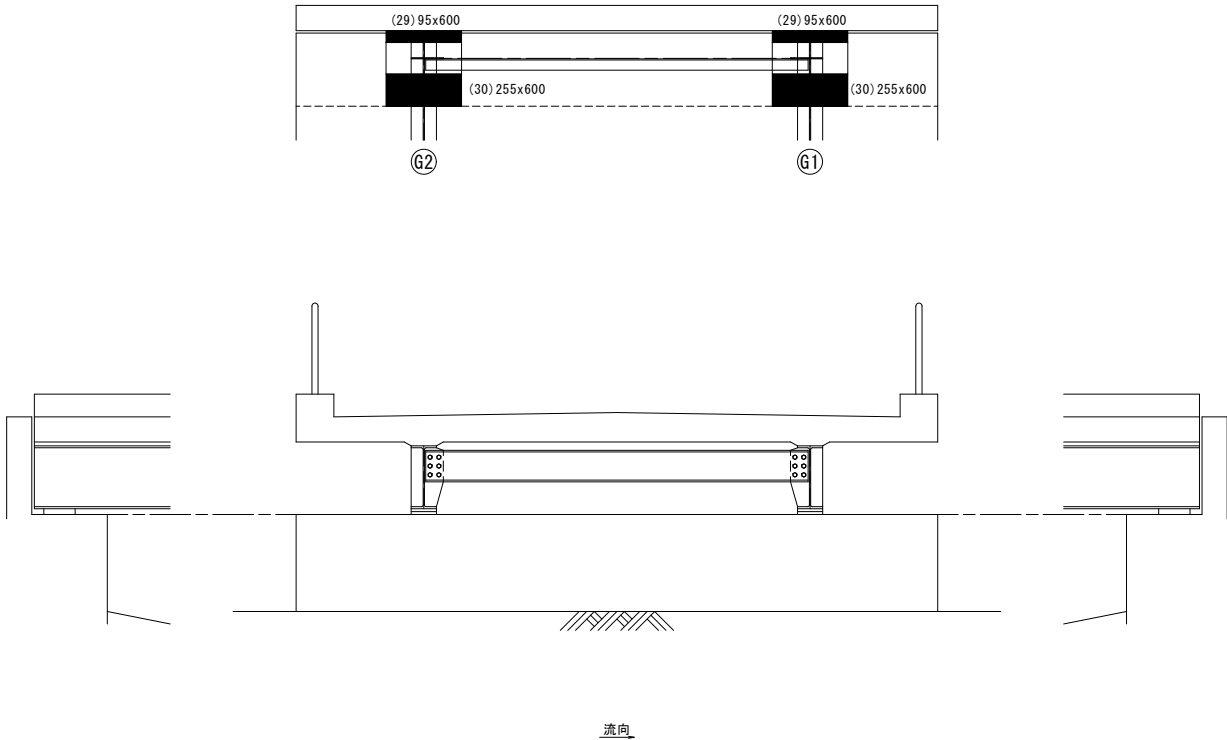
部材		幅 (m)	長さ (m)	個数 (個)	面積 (m2)	厚さ (m)
床版	1	0.600	1.400	1	0.840	0.050
	2	0.200	0.300	1	0.060	0.050
	3	0.500	0.350	1	0.175	0.050
	4	0.100	0.600	1	0.060	0.050
	5	0.350	0.300	1	0.105	0.050
	6	0.300	0.900	1	0.270	0.050
	7	0.100	0.100	1	0.010	0.050
	8	0.300	0.300	1	0.090	0.050
	9	0.300	0.300	1	0.090	0.050
	10	0.300	0.400	1	0.120	0.050
	11	0.200	0.600	1	0.120	0.050
	12	0.100	0.800	1	0.080	0.050
	13	0.100	0.100	1	0.010	0.050
	14	0.200	0.100	1	0.020	0.050
	15	0.150	0.500	1	0.075	0.050
	16	0.200	0.200	1	0.040	0.050
	17	0.200	0.150	1	0.030	0.050
	18	0.300	0.600	1	0.180	0.050
	19	0.200	0.200	1	0.040	0.050
	20	0.200	0.200	1	0.040	0.050
	21	0.500	0.200	1	0.100	0.050
	22	0.300	0.300	1	0.090	0.050
	23	0.300	0.300	1	0.090	0.050
	24	0.300	0.200	1	0.060	0.050
	25	0.300	0.500	1	0.150	0.050
	26	0.700	0.150	1	0.105	0.050
	27	0.400	0.200	1	0.080	0.050
	28	0.150	0.200	1	0.030	0.050
床版 合計					3.160	

認可.実施	当 初 第 回変更
年度.番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道益田湖岸線
工 事 名	橋梁（三谷尻3号橋他）補修工事
地 名	長浜市益田町
図 面 名	無名橋（3029） 断面修復図（1/2）
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚ノ内 10
長浜市 都市建設部 道路河川課	

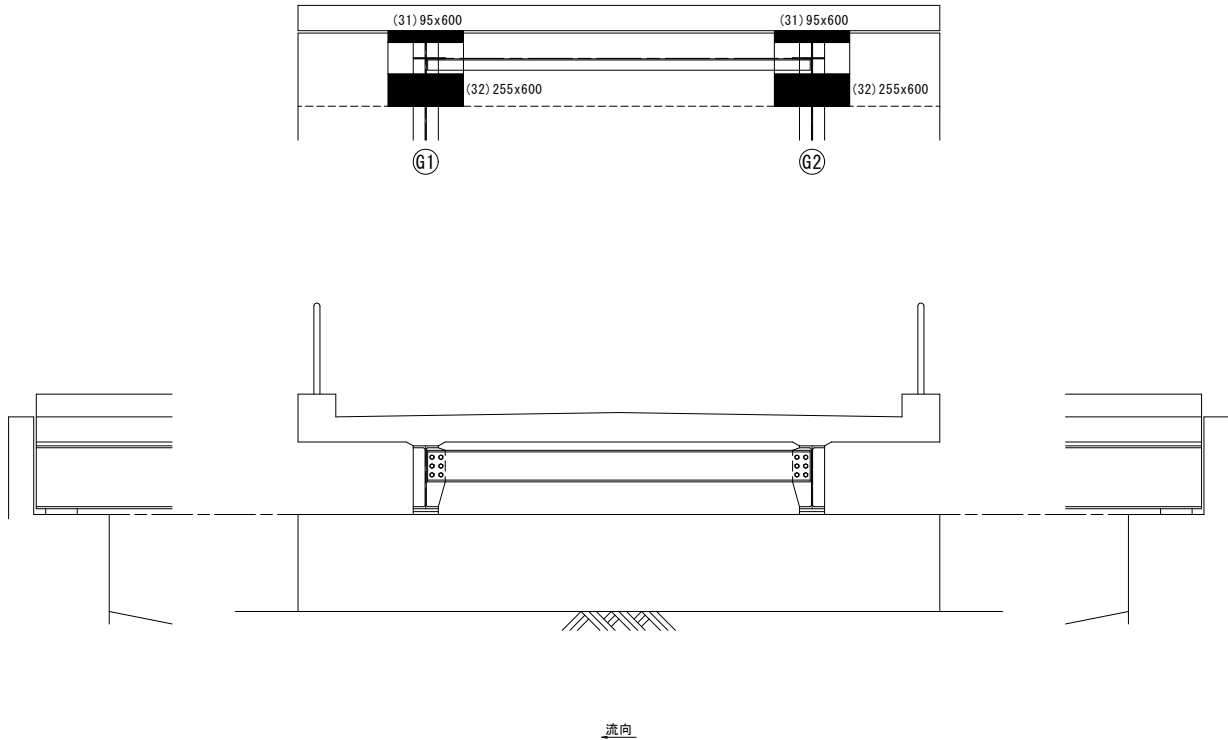
無名橋(3029) 断面修復図(2/2)

【凡例】
■：断面修復工

A 1 橋 台
S=1:30



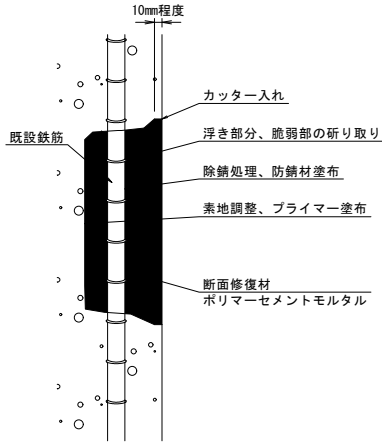
A 2 橋 台
S=1:30



断面修復工数量一覧表

部材		幅 (m)	長さ (m)	個数 (個)	面積 (m2)	厚さ (m)
A1橋台	29	0.095	0.600	2	0.114	0.060
	30	0.255	0.600	2	0.306	0.060
	A1橋台 小計				0.420	
A2橋台	31	0.095	0.600	2	0.114	0.060
	32	0.255	0.600	2	0.306	0.060
	A2橋台 小計				0.420	
合計					0.840	

断面修復工 (参考)
左官工法



注記)
・補修範囲に10mm程度カッターを入れてから施工すること。
・断面修復は、脆弱部をたたき落とした上で実施すること。
・断面修復の際は、鉄筋に防錆処理を施すこと。
・はつり深さが大きく50mm程度以上の厚塗りとなる場合には、多層塗りとすることを基本とする。
・かぶり厚が十分確保できない場合は、補修材を盛ること。
・断面修復箇所及び数量は、現地にて確認すること。
・補修箇所の確認に際しては全面打音調査を行うこと。
・付着強度1.5N/mm²以上


認可.実施	当 初 第 回変更
年度.番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道益田湖岸線
工 事 名	橋梁（三谷尻3号橋他）補修工事
地 名	長浜市益田町
図 面 名	無名橋（3029） 断面修復図(2/2)
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚ノ内 11
長浜市 都市建設部 道路河川課	

無名橋(3029) 表面含浸區

桁下 (C o 部 材)

S=1 : 2

【凡例】

: 表面含浸工



表面含浸工詳細図（参考）

けい酸ナトリウム系

下地处理

けい酸ナトリウム系表面含浸材
(標準塗布量0.25kg/m²)
※シリケートガード同等品以上

表面含浸工数量表

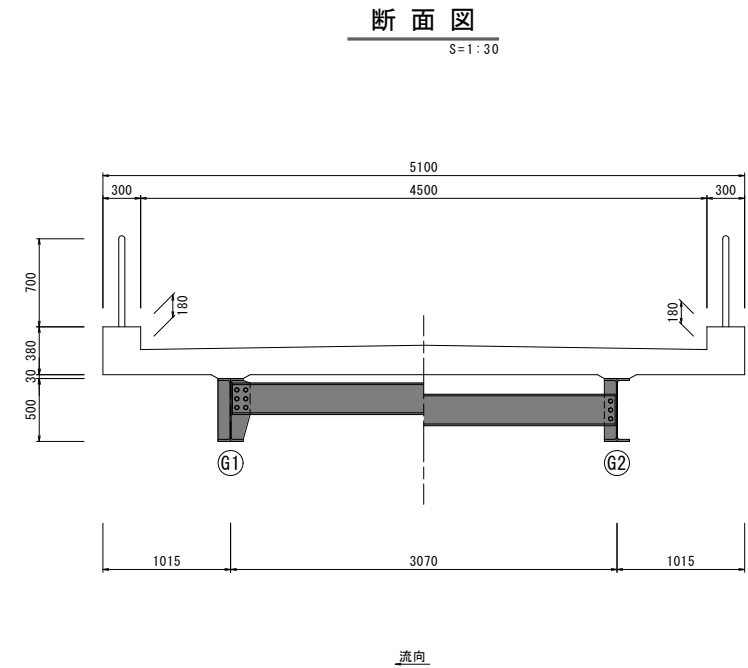
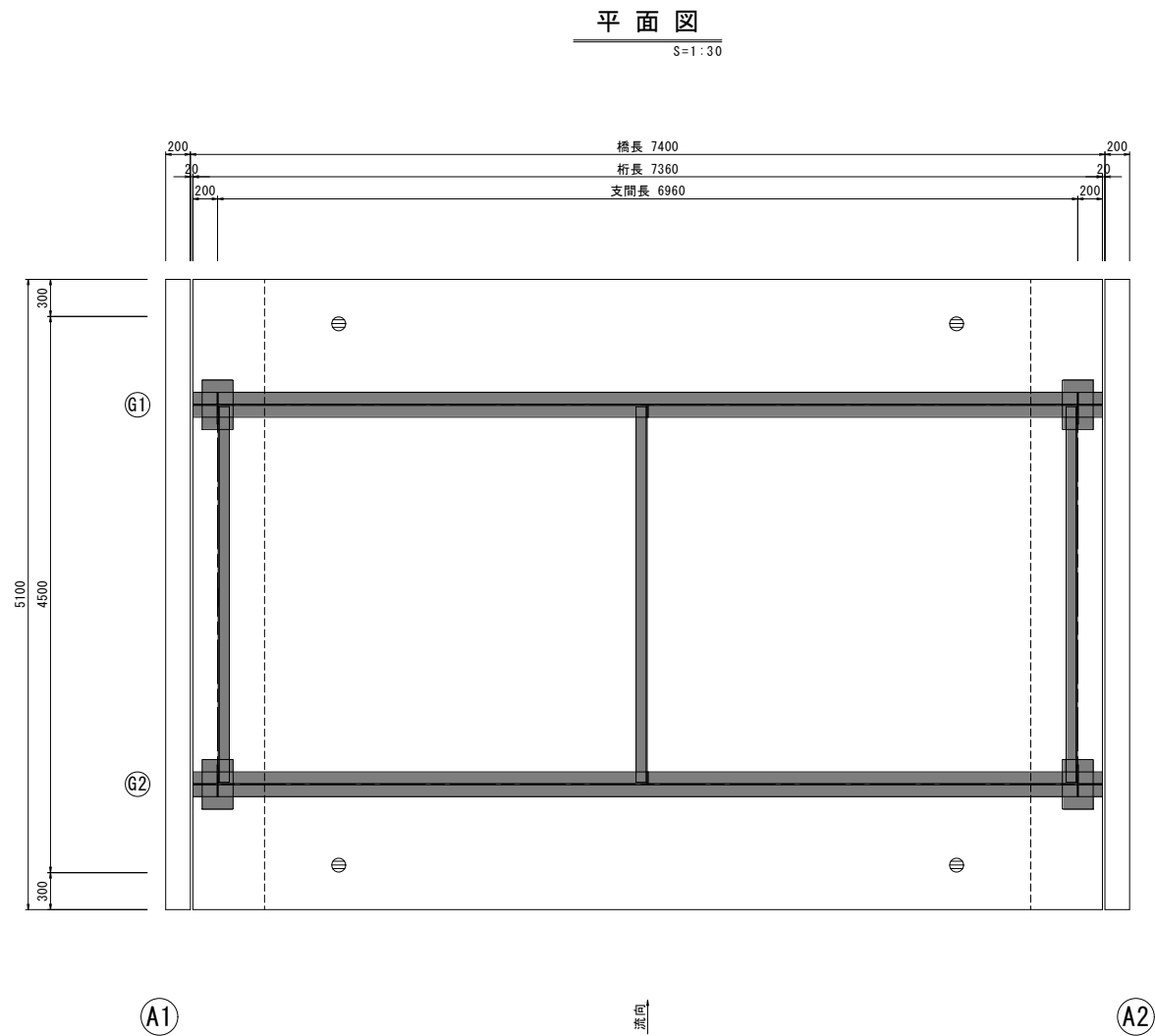
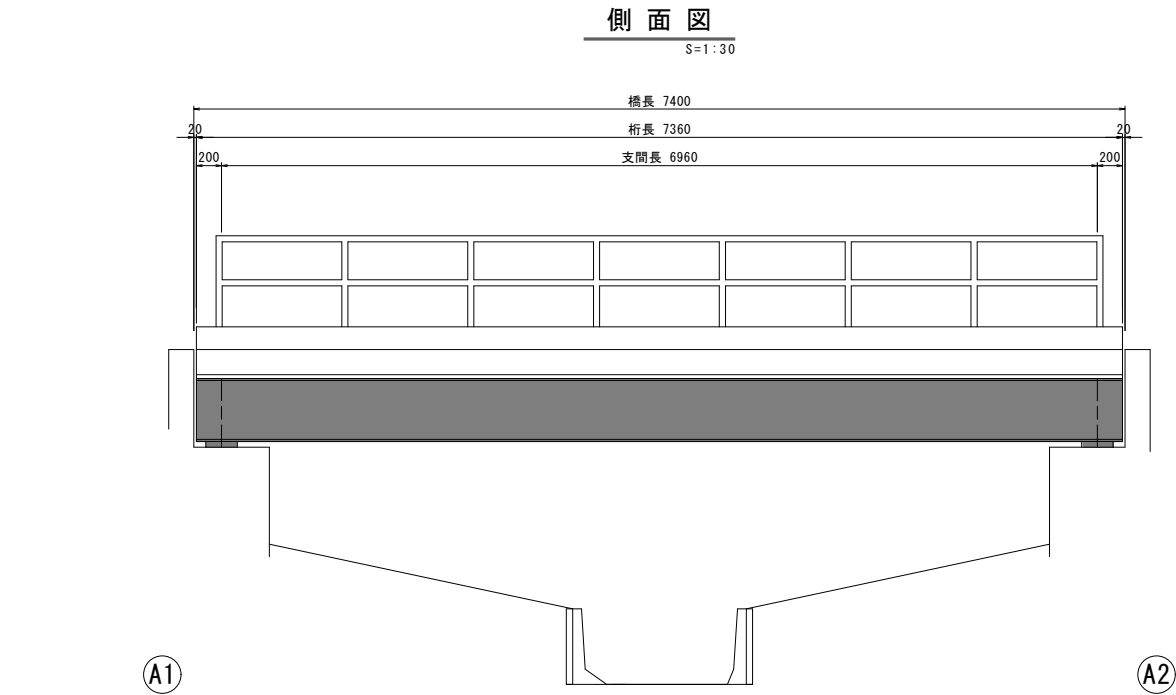
細 別	規 格	単位	数 量
コンクリート保護面積	けい酸ナトリウム系表面含浸材	m ²	31.431

認可 実施	当 初 第 回変更
年度 番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道益田湖岸線
工 事 名	橋梁（三谷沢3号橋他）補修工事
地 名	長浜市益田町
図 面 名	無名橋（3029） 表面含浸図
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚ノ内 12
長浜市 都市建設部 道路河川課	

無名橋(3029) 塗替塗装図

■: 塗替塗装 (Rc-Ⅱ 塗装系)

▨: 塗替塗装 (Rc-Ⅳ 塗装系)



Rc-Ⅱ 塗装系 (はけ、ローラー)

塗装工程	塗料名	使用料 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	2種		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント※1	600	1日～10日※2
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用上塗	120	1日～10日

※1: 素地調整程度2種で旧塗膜を全面除去した場合は、有機ジンクリッチペイントの使用量が600g/m2とする。

※2: 現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。

【鋼道路橋防食便覧 H26.3 Ⅱ-119より】

※特記事項

1 旧塗膜は鉛を含有しているため関係法令を順守して作業を行うこと。

2 清掃・水洗い後、付着塩分量が50mg/m2以下となっているか確認すること。

3 素地調整作業時は換気に十分注意すること。

4 河川他、周辺環境に有害物質を含んだ粉塵・塗膜くず等が飛散しないよう十分注意すること。

5 上塗り塗装色は、塗料調達前に採用色について監督員と協議すること。

Rc-Ⅳ 塗装系 (はけ、ローラー)

塗装工程	塗料名	使用料 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	4種		4時間以内
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用上塗	120	1日～10日

【鋼道路橋防食便覧 H26.3 Ⅱ-119より】

塗替塗装工 (Rc-Ⅱ) 数量表

補修箇所	単位	数量	摘要
主桁	m2	23.82	Rc-Ⅱ 塗装系
横桁	m2	7.16	
支承	m2	0.20	
合計	m2	31.18	

塗替塗装工 (Rc-Ⅳ) 数量表

補修箇所	単位	数量	摘要
排水管	m2	0.72	Rc-Ⅳ 塗装系

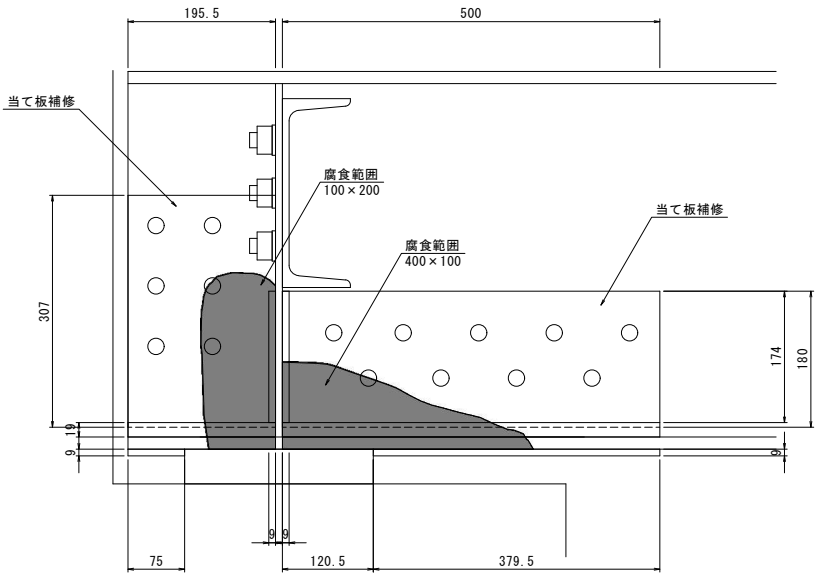
認可・実施	当 初 第 回変更
年度・番号	令和6年度 長道河第296号
路線名	市道益田湖岸線
工事名	橋梁(三谷尻3号橋他)補修工事
地名	長浜市益田町
図面名	無名橋(3029) 塗替塗装図
縮尺	図示
図面番号	35 枚ノ内 13
長浜市 都市建設部 道路河川課	

無名橋(3029) 当て板補修一般図

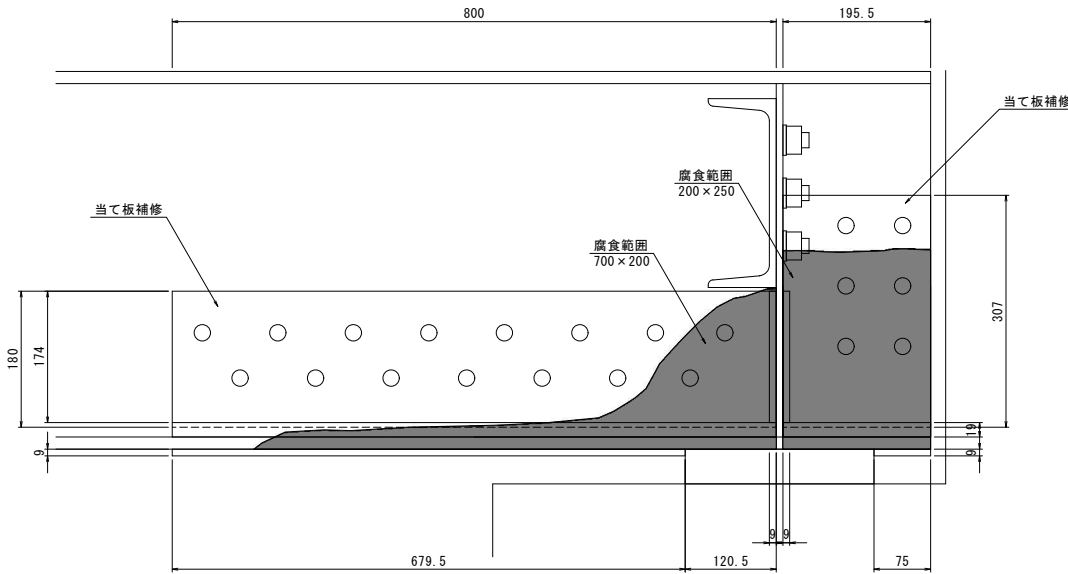
側面図(腐食範囲)

S=1:5

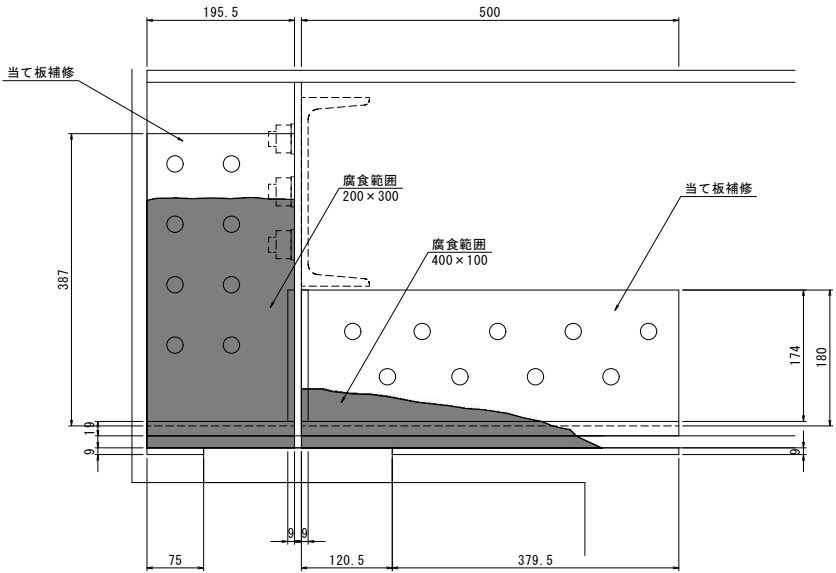
主桁G1・A1側
(タイプA)



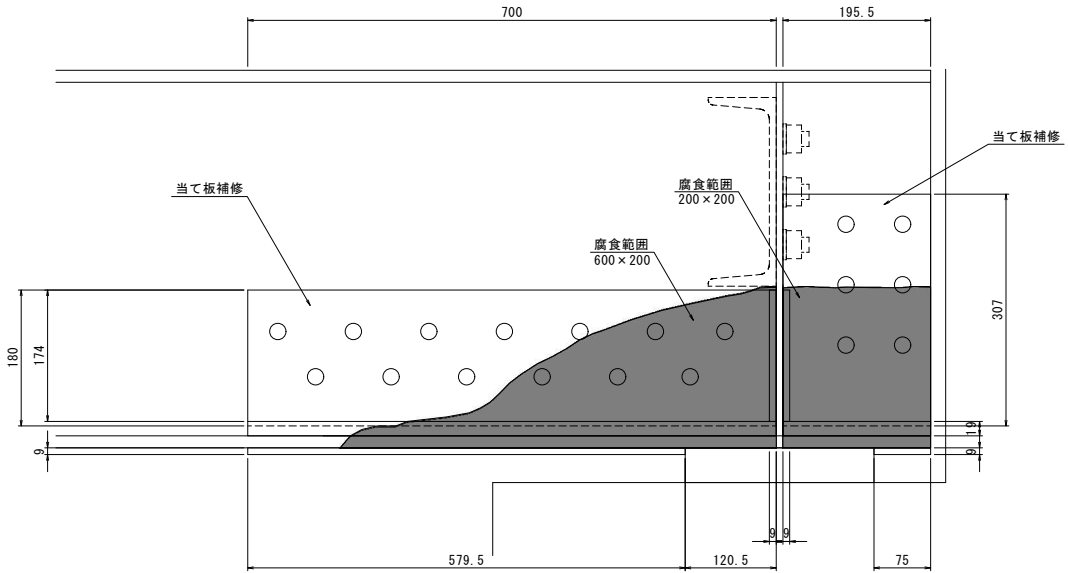
主桁G1・A2側
(タイプC)



主桁G2・A1側
(タイプB)

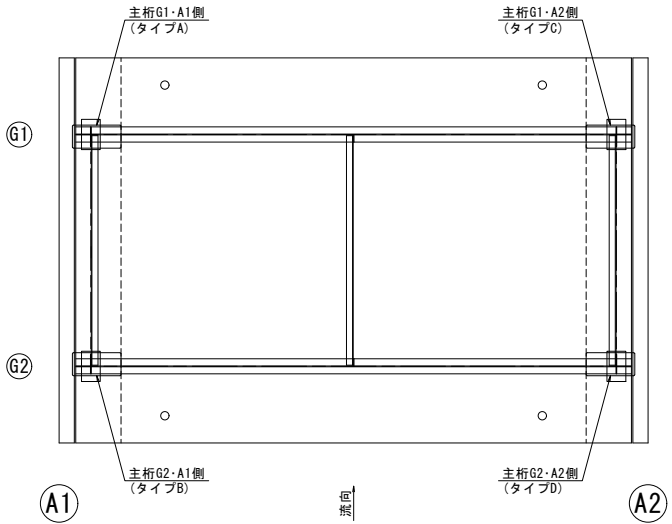


主桁G2・A2側
(タイプD)



損傷箇所位置図

S=1:50



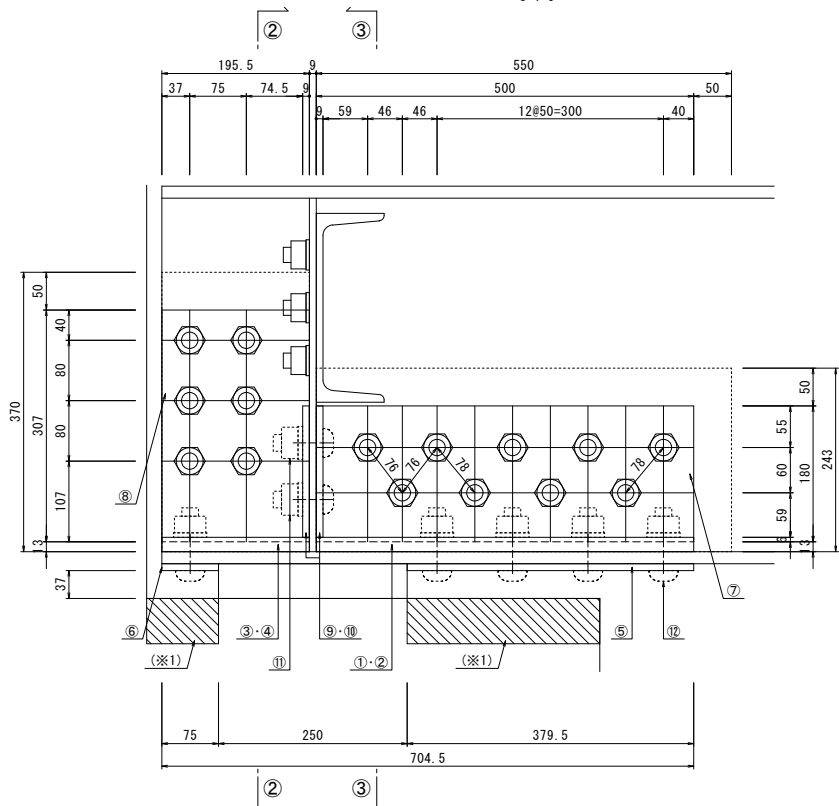
認可・実施	当 初 第 回変更
年度・番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道益田湖岸線
工 事 名	橋梁(三谷尻3号橋他)補修工事
地 名	長浜市益田町
図 面 名	無名橋(3029) 当て板補修一般図
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚ノ内 14
長浜市 都市建設部 道路河川課	

無名橋(3029) 当て板補修図(1/5)

タイプA

側面図(①-①)

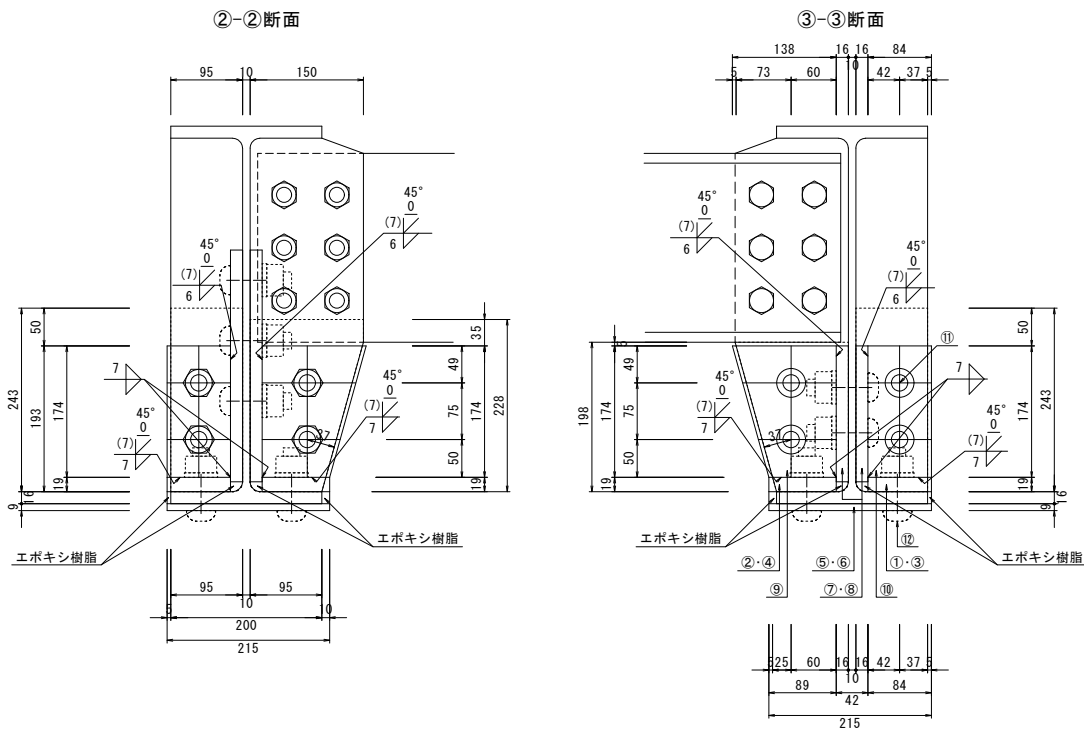
S=1:5



- ① 1-Fig. PL 84*19*500 (SM400A)
② 1-Fig. PL 89*19*500 (SM400A)
③ 1-Fig. PL 84*19*196 (SM400A)
④ 1-Fig. PL 89*19*196 (SM400A)
⑤ 1-Fig. PL 215*9*380 (SS400)
⑥ 1-Fig. PL 75*9*215 (SS400)
⑦ 2-Web. PL 180*16*500 (SM400A)
⑧ 2-Web. PL 196*16*307 (SM400A)
⑨ 2-V-Stiff. PL 138*9*174 (SM400A)
⑩ 2-V-Stiff. PL 84*9*174 (SM400A)
⑪ 4-TGB M22*65 (S10T)
⑫ 25-TGB M22*80 (S10T)

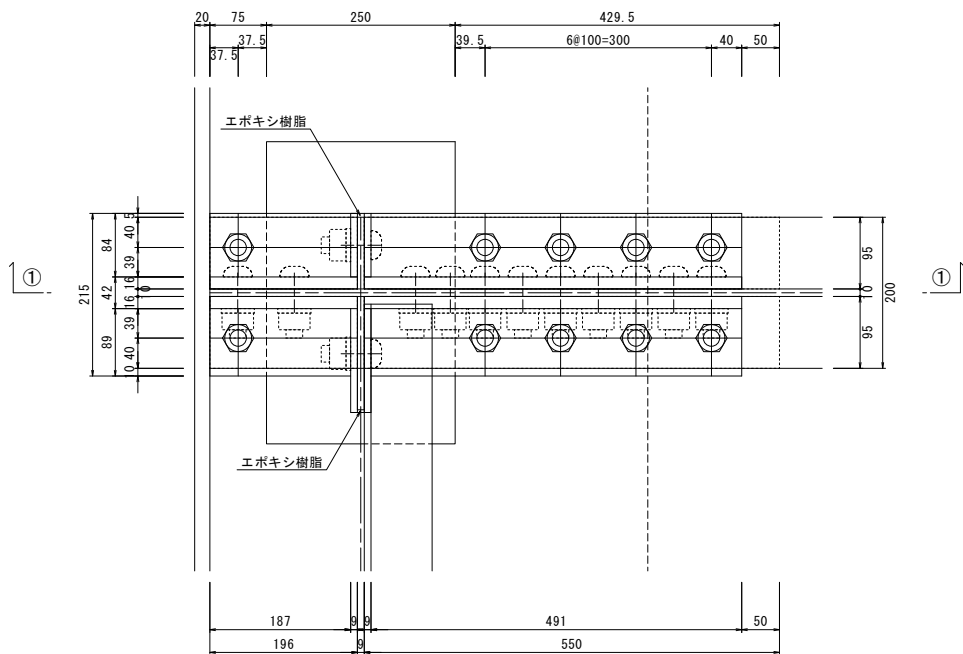
断面図

S=1:5



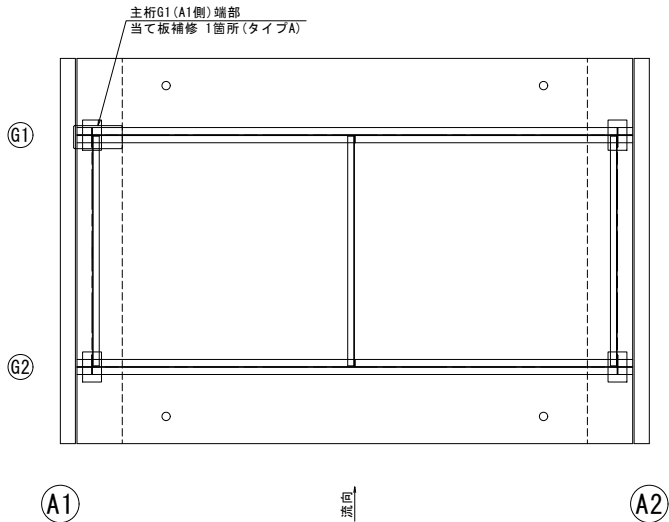
平面図

S=1:5



補修位置図

S=1:50



- 注 記)
1. 施工前には現地調査を行い、補修図と照合を行うこと。
2. 補強部材の既設溶接部干渉箇所は面取り加工を施すこと。
3. 補強材と既設部材の接合面において、既設部材の腐食のため、不陸調整が必要な箇所は樹脂の塗布による対策を施すこと。
4. 既設部材や新設部材間に生じる隙間は今後の補修で塗替え等ができないことから、エポキシ樹脂を充填し、防食機能の劣化や滲水が生じないようにすること。

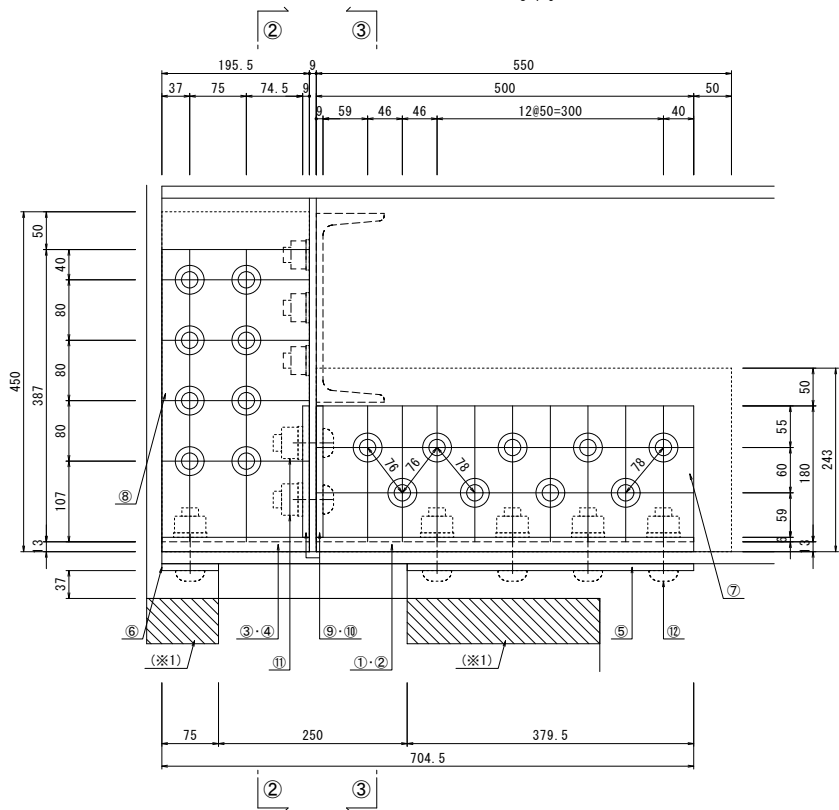
認可・実施	当 初 第 回変更
年度・番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道益田湖岸線
工 事 名	橋梁（三谷尻3号橋他）補修工事
地 名	長浜市益田町
図 面 名	無名橋（3029） 当て板補修図（1/5）
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚ノ内 15
長浜市 都市建設部 道路河川課	

無名橋(3029) 当て板補修図(2/5)

タイプB

側面図(①-①)

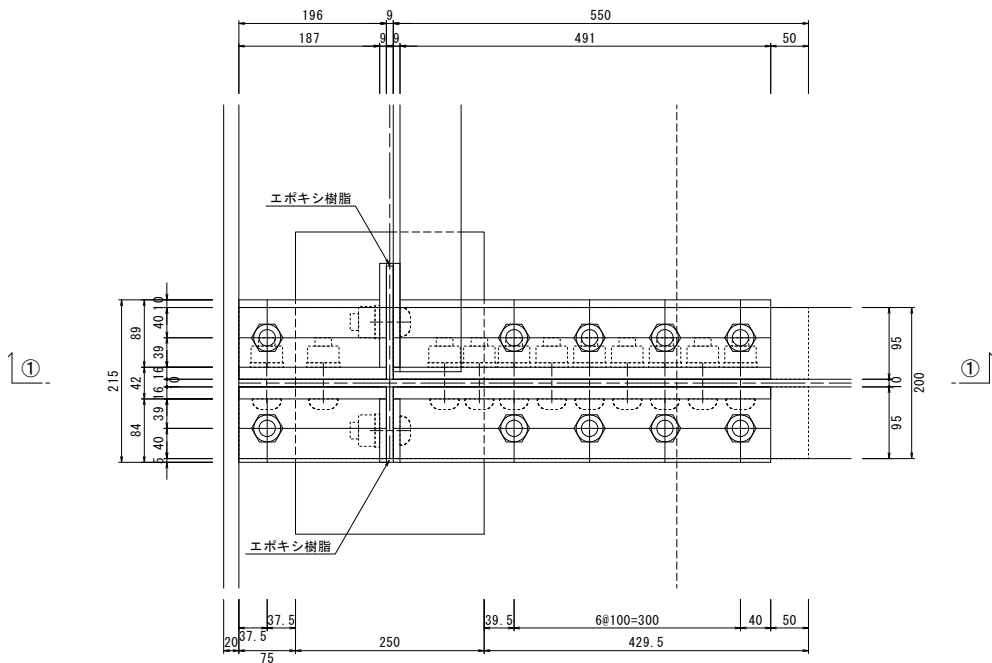
S=1:5



(※1) 支承部下フランジと橋座面が狭いため、当て板補修の前に橋座をはつとり
当て板補修後断面修復にて復旧する。

平面図

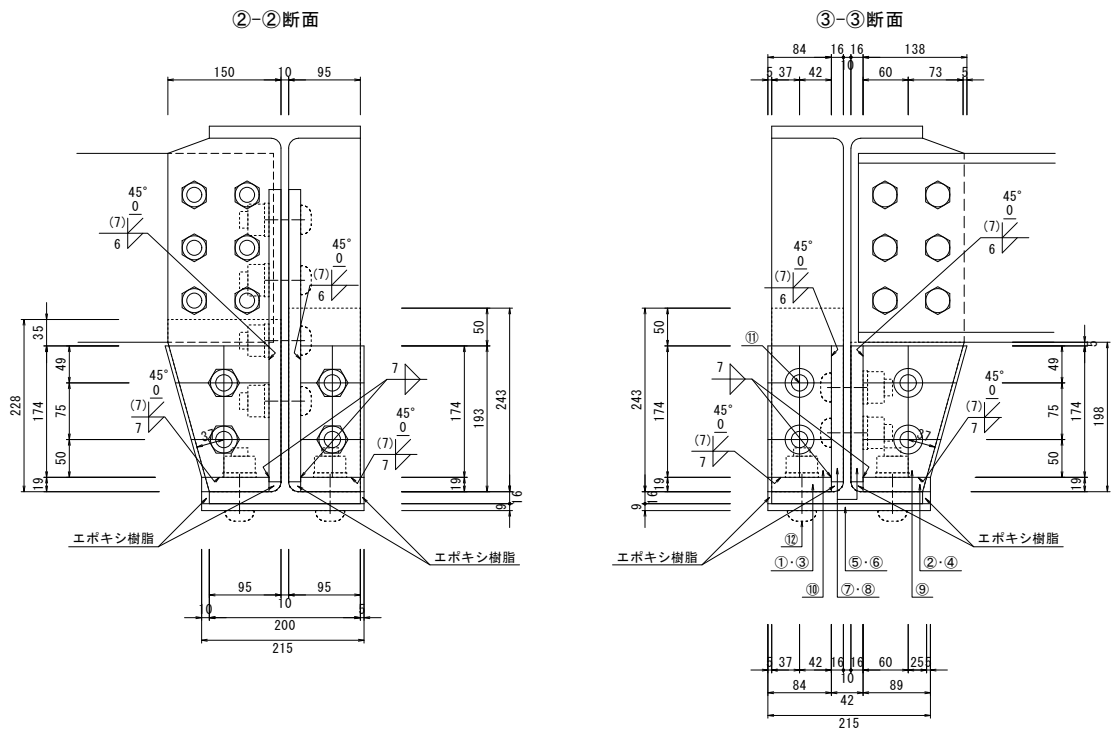
S=1:5



- 注 記)
1. 施工前には現地調査を行い、補修図と照合を行うこと。
 2. 補強部材の既設溶接部干渉箇所は面取り加工を施すこと。
 3. 補強材と既設部材の接合面において、既設部材の腐食のため不陸調整が必要な箇所は樹脂の塗布による対策を施すこと。
 4. 既設部材や新設部材間に生じる隙間は今後の補修で塗替え等ができないことからエポキシ樹脂を充填し、防食機能の劣化や滲水が生じないようにすること。

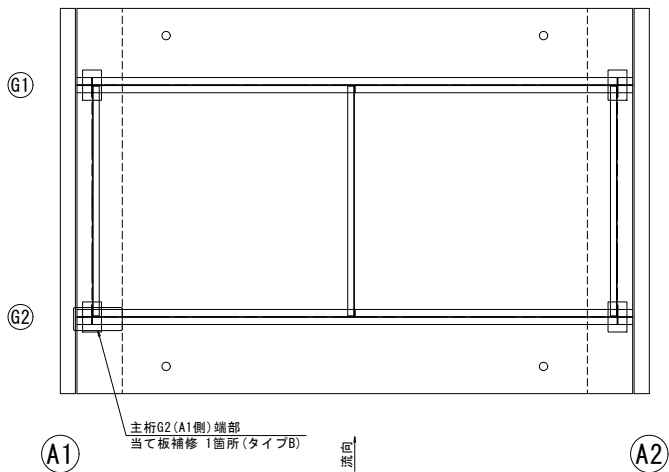
断面図

S=1:5



補修位置図

S=1:50



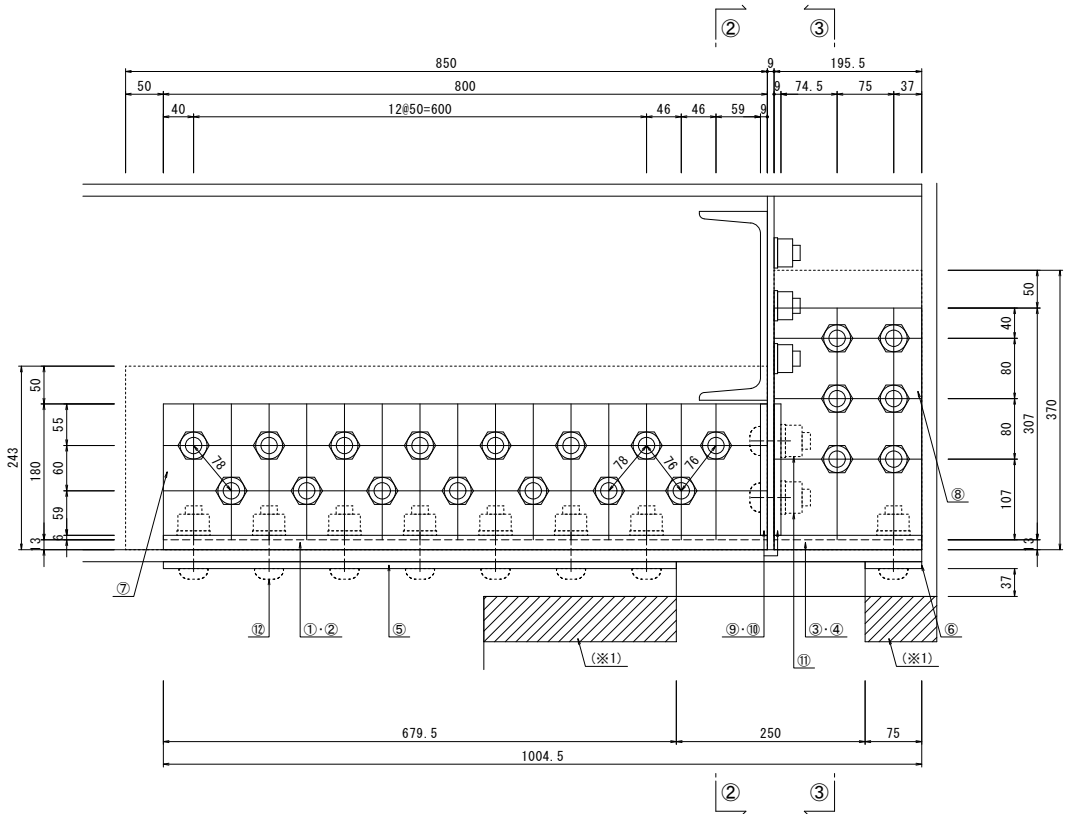
認可・実施	当 初 第 回変更
年度・番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道益田湖岸線
工 事 名	橋梁（三谷尻3号橋他）補修工事
地 名	長浜市益田町
図 面 名	無名橋（3029） 当て板補修図(2/5)
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚ノ内 16
長浜市 都市建設部 道路河川課	

無名橋(3029) 当て板補修図(3/5)

タイプC

側面図(①-①)

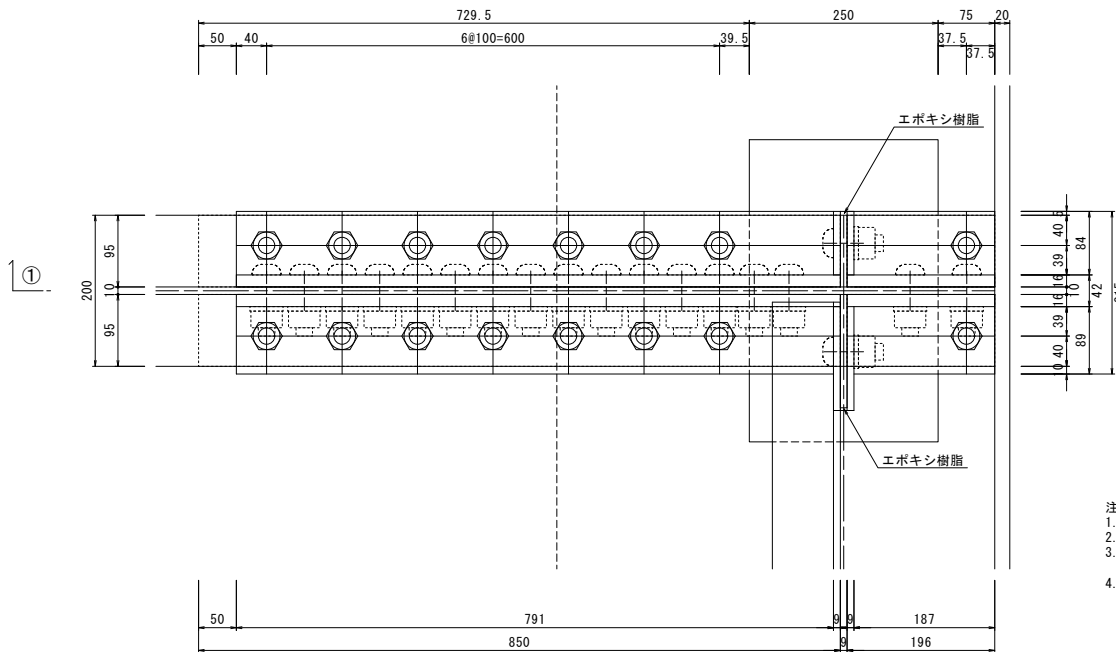
S=1:5



(※1) 支承部下フランジと橋座面が狭いため、当て板補修の前に橋座をはつとりして
当て板補修後断面修復にて復旧する。

平面図

S=1:5

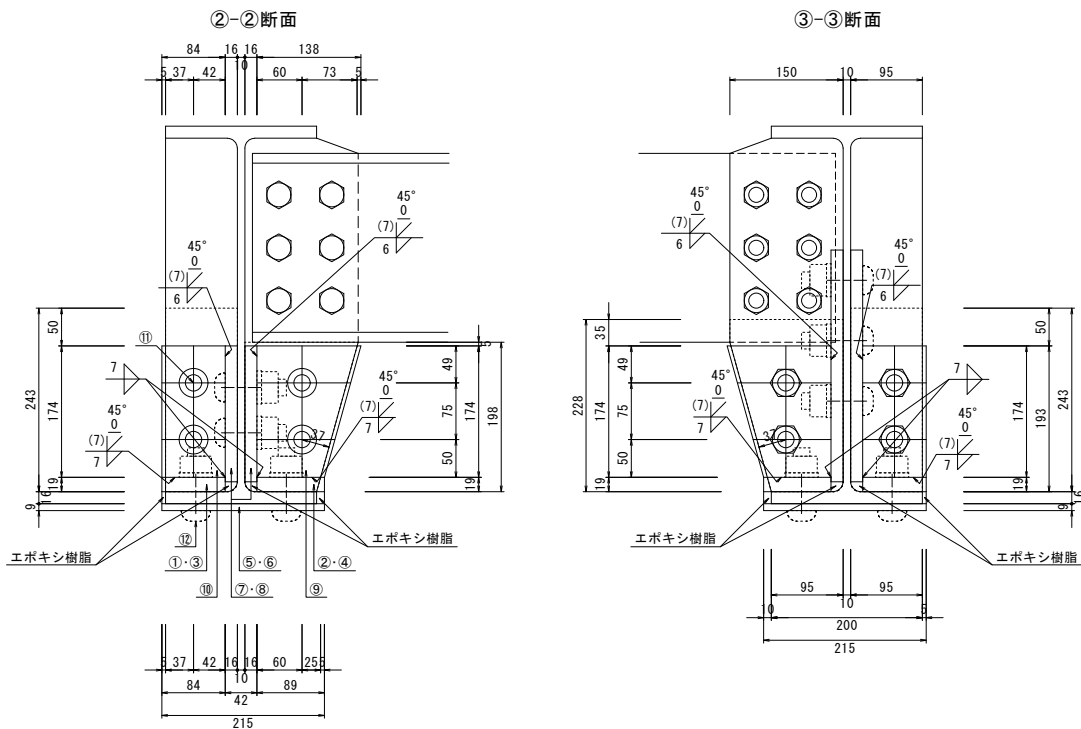


注 記)

1. 施工前には現地調査を行い、補修図と照合を行うこと。
2. 補修部材の既設溶接部干渉箇所は面取り加工を施すこと。
3. 補修材と既設部材の接合面において、既設部材の腐食のため
不陸調整が必要な箇所は樹脂の塗布による対策を施すこと。
4. 既設部材や新設部材間に生じる隙間は今後の補修で差替え等ができないことから
エポキシ樹脂を充填し、防食機能の劣化や漏水が生じないようにすること。

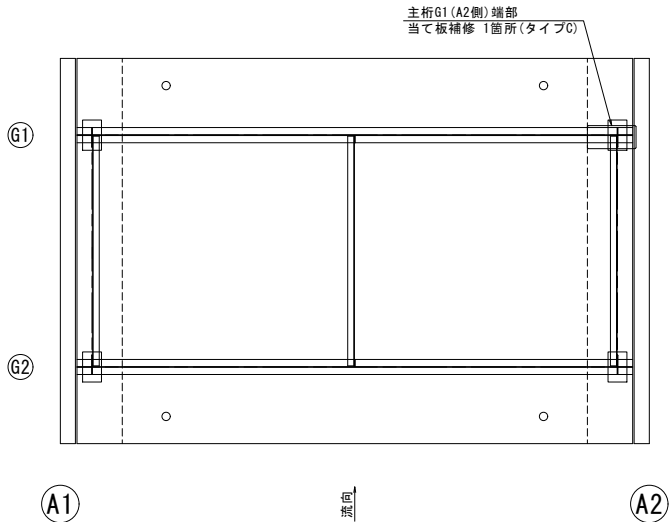
断面図

S=1:5



補修位置図

S=1:50



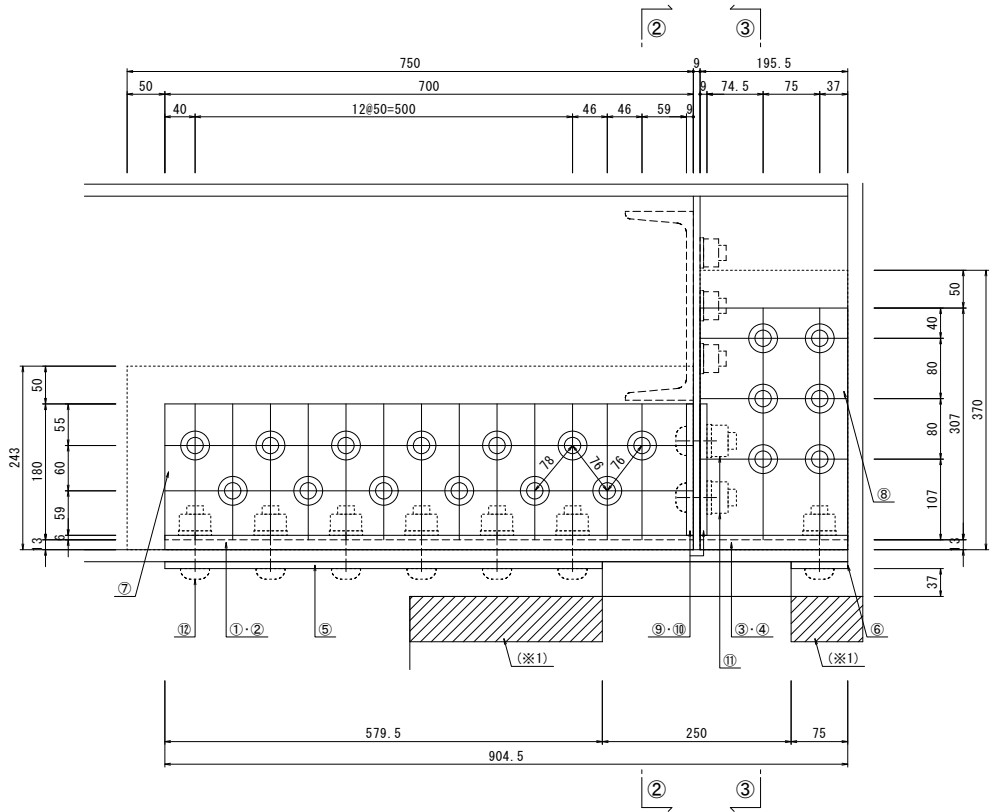
認可・実施	当 初 第 回変更
年度・番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道益田湖岸線
工 事 名	橋梁（三谷尻3号橋他）補修工事
地 名	長浜市益田町
図 面 名	無名橋（3029） 当て板補修図（3/5）
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚ノ内 17
長浜市 都市建設部 道路河川課	

無名橋(3029) 当て板補修図(4/5)

タイプD

側面図(①-①)

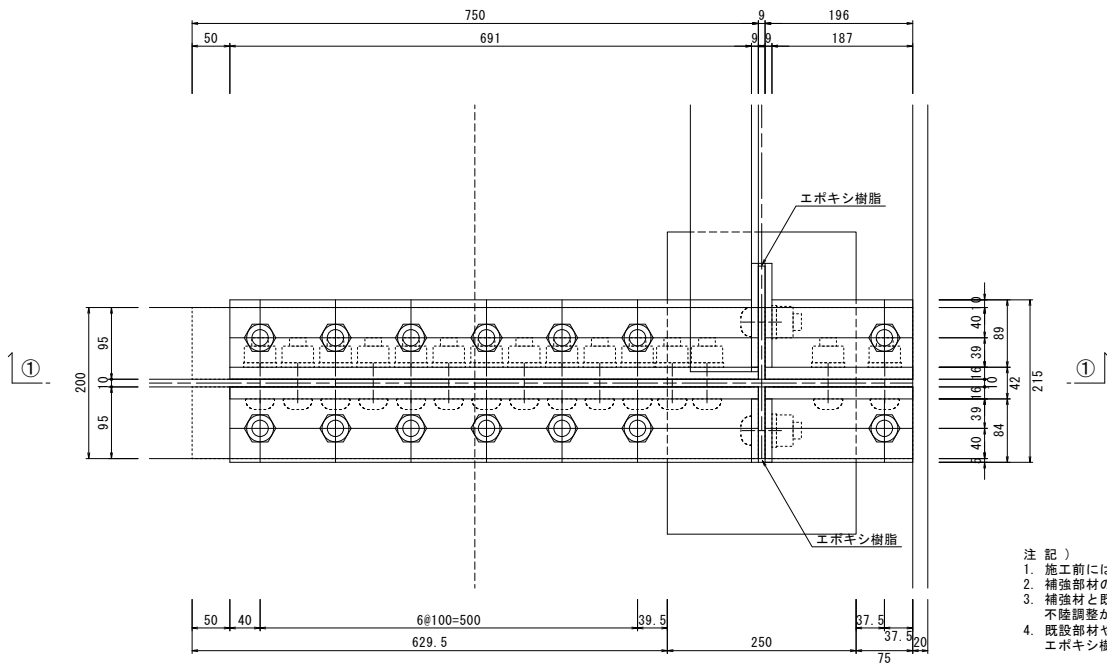
S=1:5



(※1) 支承部下フランジと橋座面が狭いため、当て板補修の前に橋座をはつとりり
当て板補修後断面修復にて復旧する。

平面図

S=1:5

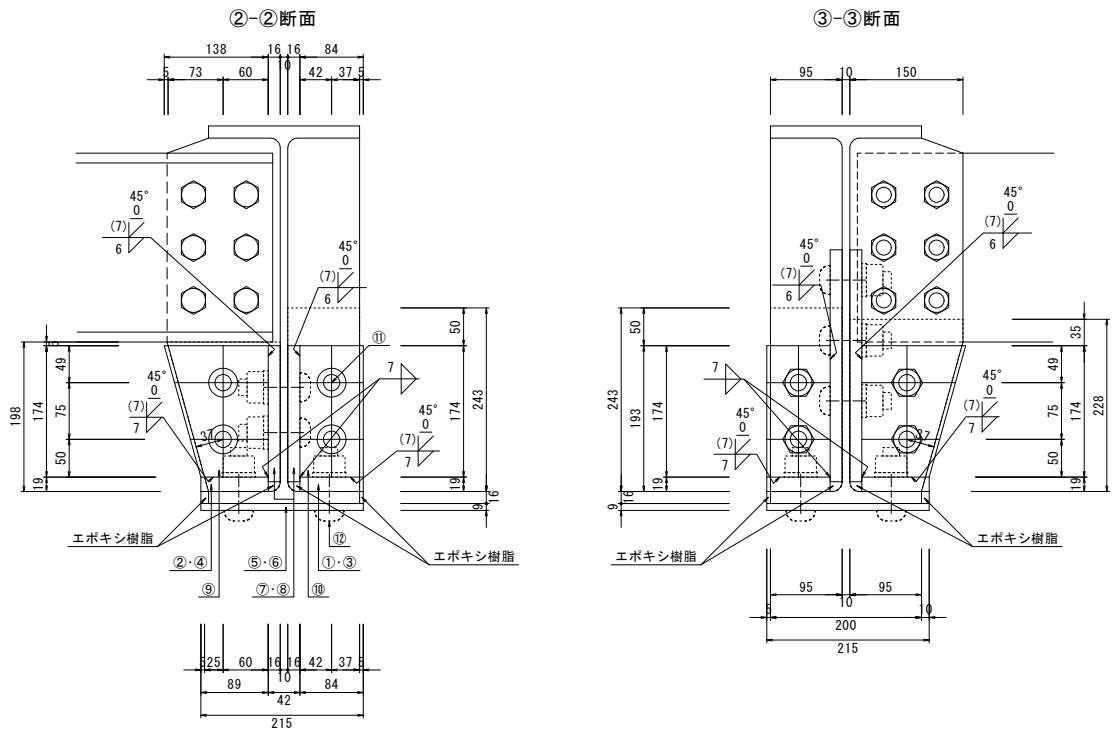


注 記)

1. 施工前には現地調査を行い、補修図と照合を行うこと。
2. 補修部材の既設溶接部干渉箇所は面取り加工を施すこと。
3. 補修材と既設部材の接合面において、既設部材の腐食のため
不陸調整が必要な箇所は樹脂の塗布による対策を施すこと。
4. 既設部材や新設部材間に生じる隙間は今後の補修で差替え等ができないことから
エポキシ樹脂を充填し、防食機能の劣化や滲水が生じないようにすること。

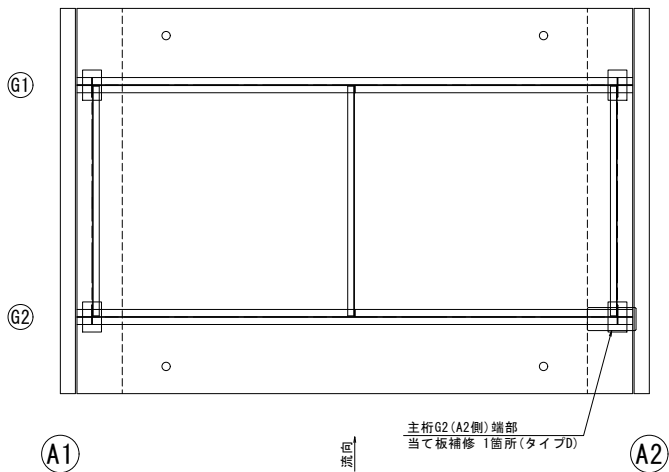
断面図

S=1:5



補修位置図

S=1:50



認可・実施	当 初 第 回変更
年度・番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道益田湖岸線
工 事 名	橋梁（三谷尻3号橋他）補修工事
地 名	長浜市益田町
図 面 名	無名橋（3029） 当て板補修図（4/5）
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚ノ内 18
長浜市 都市建設部 道路河川課	

無名橋(3029) 当て板補修図(5/5)

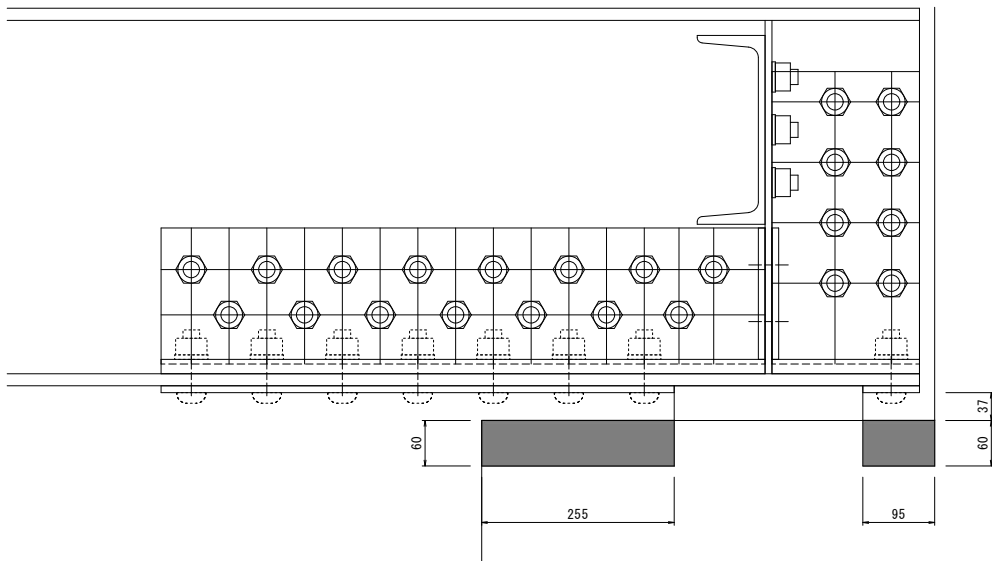
橋台断面修復詳細図

S=1:5

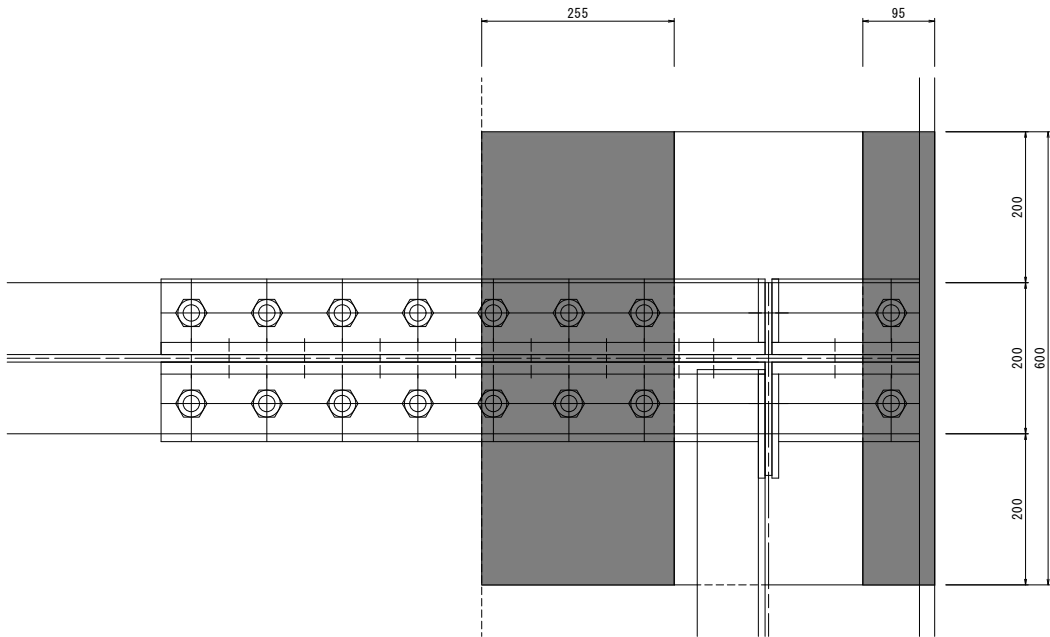
【凡例】

■: 断面修復工

側面図



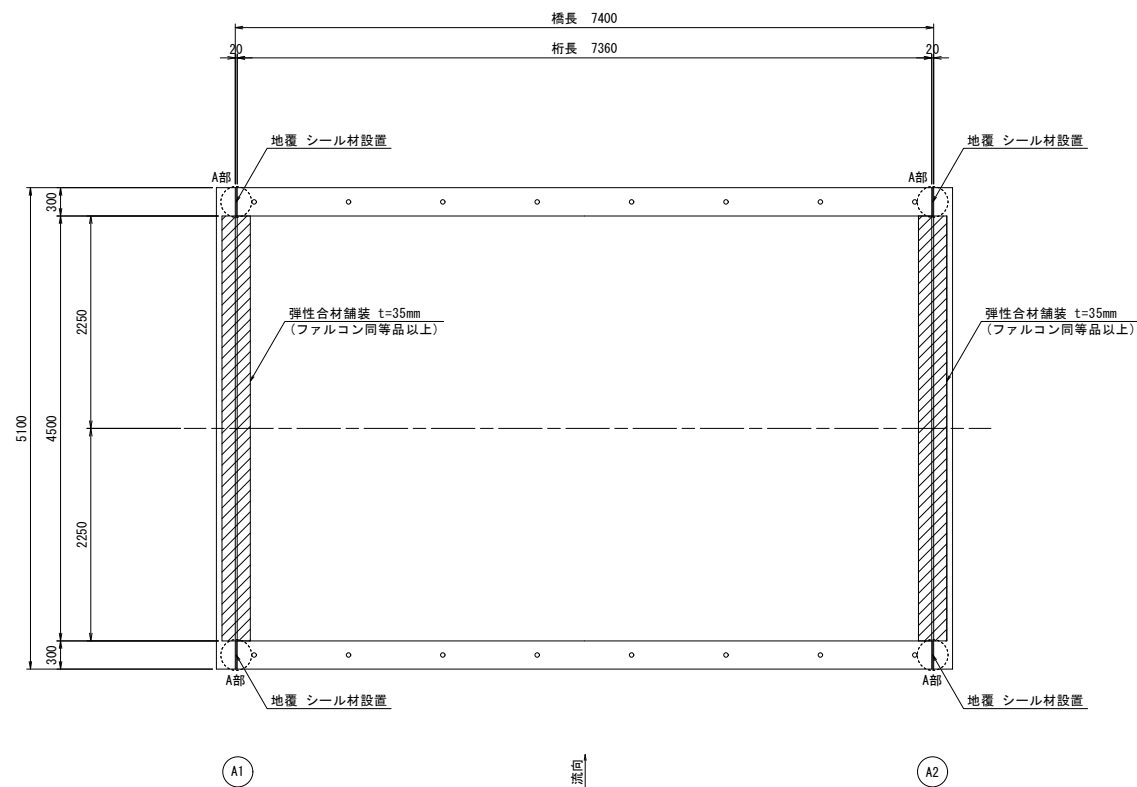
平面図



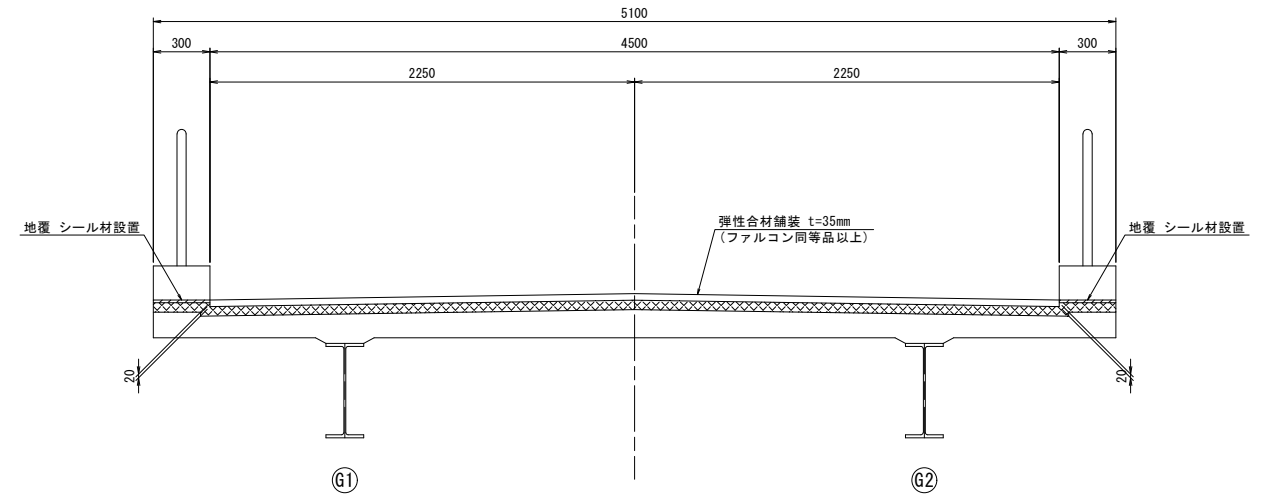
認可・実施	当初 第 回変更
年度・番号	令和6年度 長道河第296号
路線名	市道益田湖岸線
工事名	橋梁（三谷尻3号橋他）補修工事
地名	長浜市益田町
図面名	無名橋(3029) 当て板補修図(5/5)
縮尺	図示
図面番号	35 枚ノ内 19
長浜市 都市建設部 道路河川課	

無名橋(3029) 伸縮装置取替図

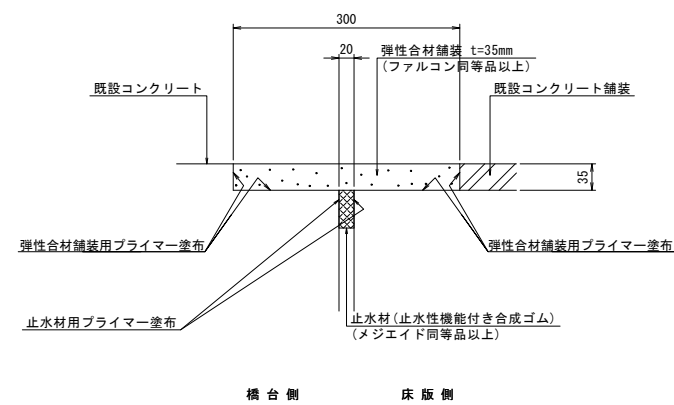
平面图 S=1:40



断面図 S=1:20

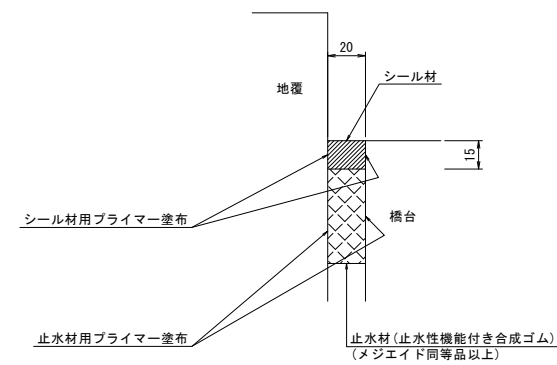


弾性合材舗設断面図 S=1:5



注1) 仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。
注2) 弾性合材舗設部については、必要に応じて超速硬無収縮モルタル等にて補修及び不陸調整を行うこと。
注3) 既設伸縮装置は、ノージョイントを想定。

地覆部断面図(A部詳細図) S=1:2

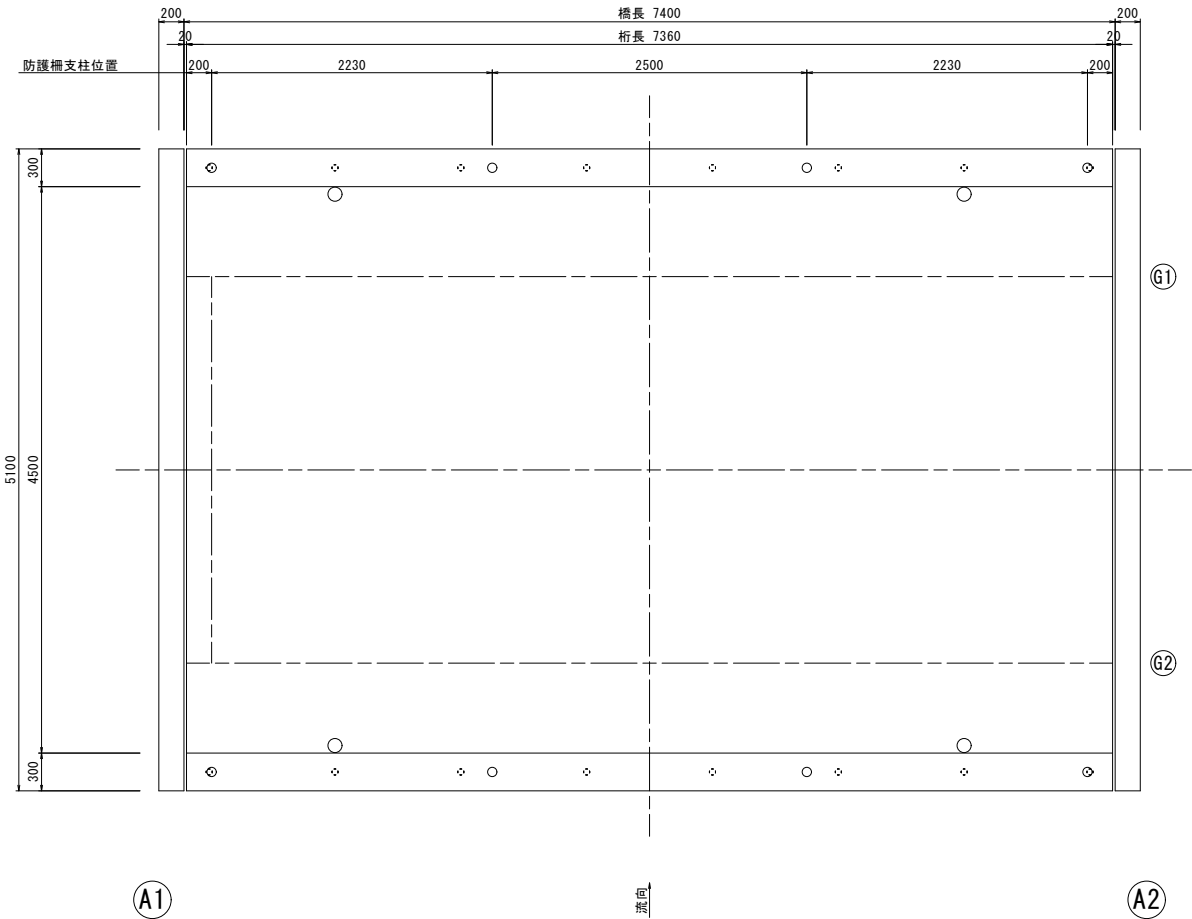


認可、実施	(当 初) 第 回変更
年度、番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道益田湖岸線
工 事 名	橋梁（三谷尻3号橋他）補修工事
地 名	長浜市益田町
図 面 名	無名橋（3029） 伸縮装置取替図
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚/内 20
長浜市 都市建設部 道路河川課	

無名橋(3029) 防護柵取替図

割付平面図

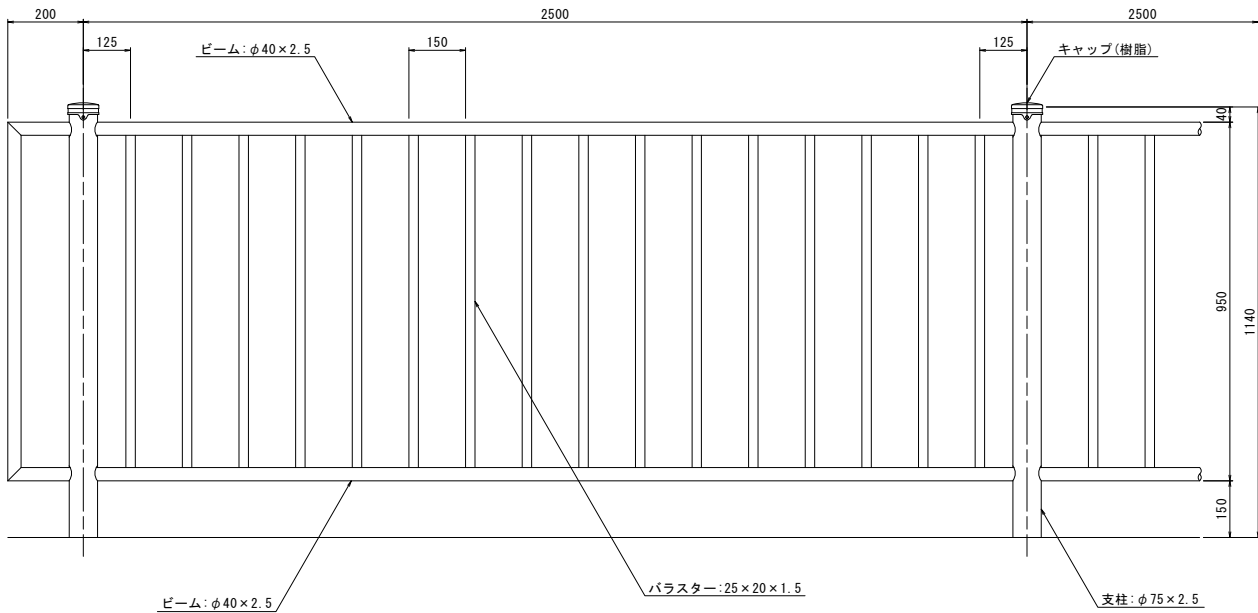
S=1:30



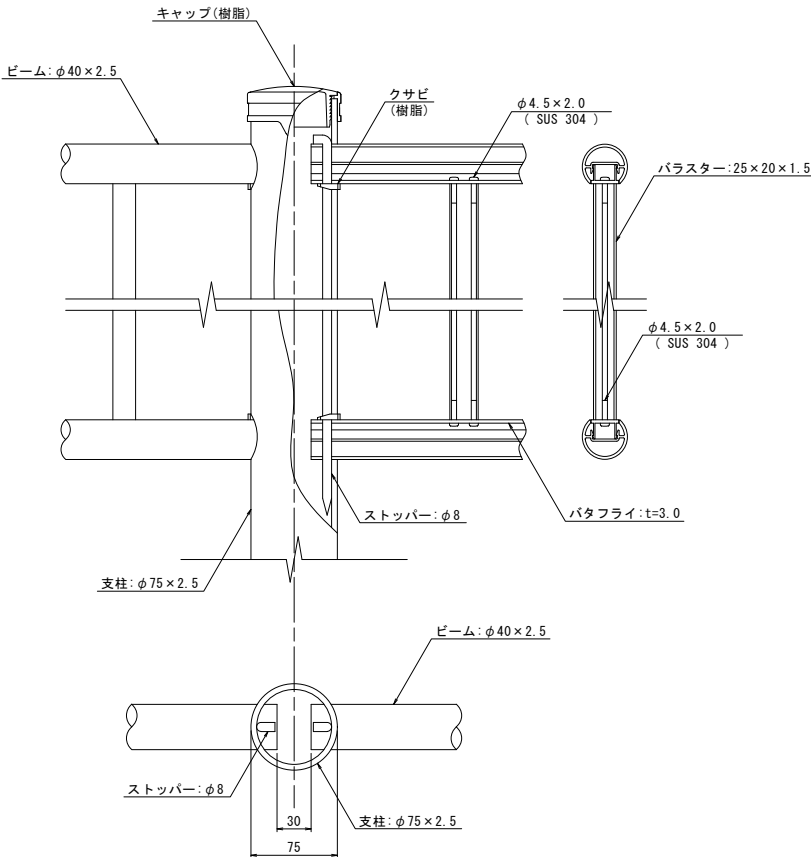
防護柵(P種)標準姿図

(材質:アルミ)

S=1:10

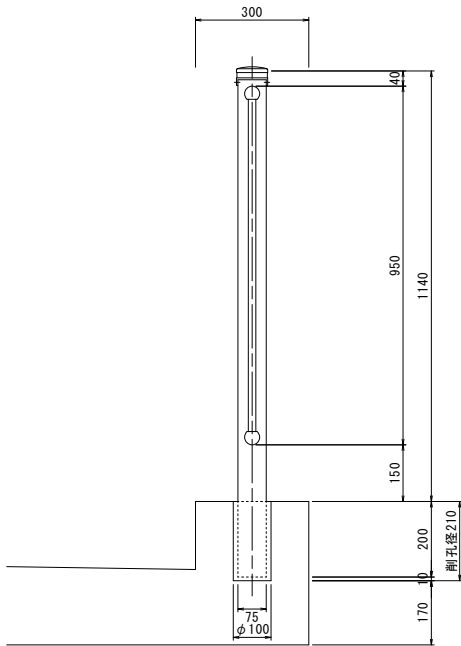


取付詳細図



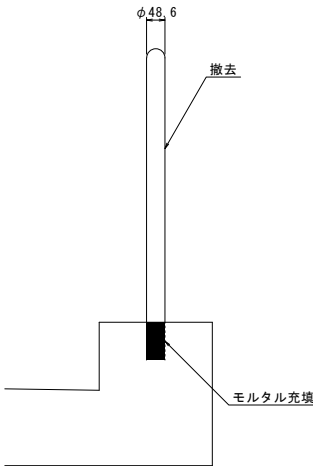
断面図

(連続基礎式) S=1:10



既存支柱撤去

S=1:10

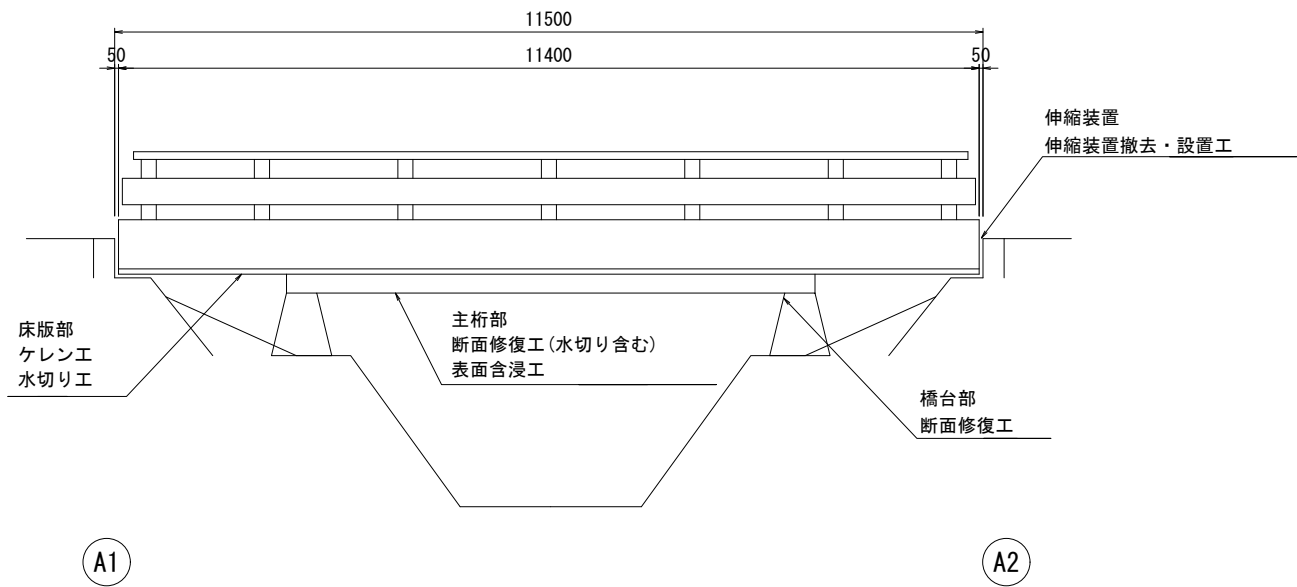


認可・実施	当初 第 回変更
年度・番号	令和6年度 長道河第296号
路線名	市道益田湖岸線
工事名	橋梁(三谷尻3号橋他)補修工事
地名	長浜市益田町
図面名	無名橋(3029) 防護柵取替図
縮尺	図示
図面番号	35 枚ノ内 21
長浜市 都市建設部 道路河川課	

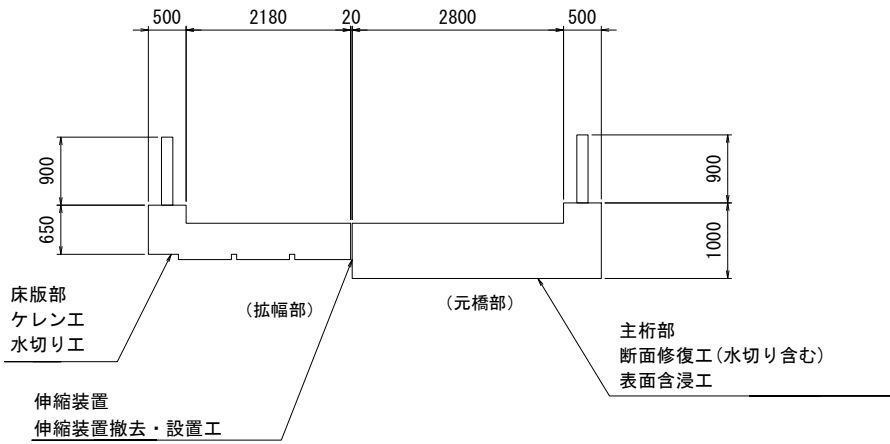
三谷尻3号橋 補修一般図

S=1:50

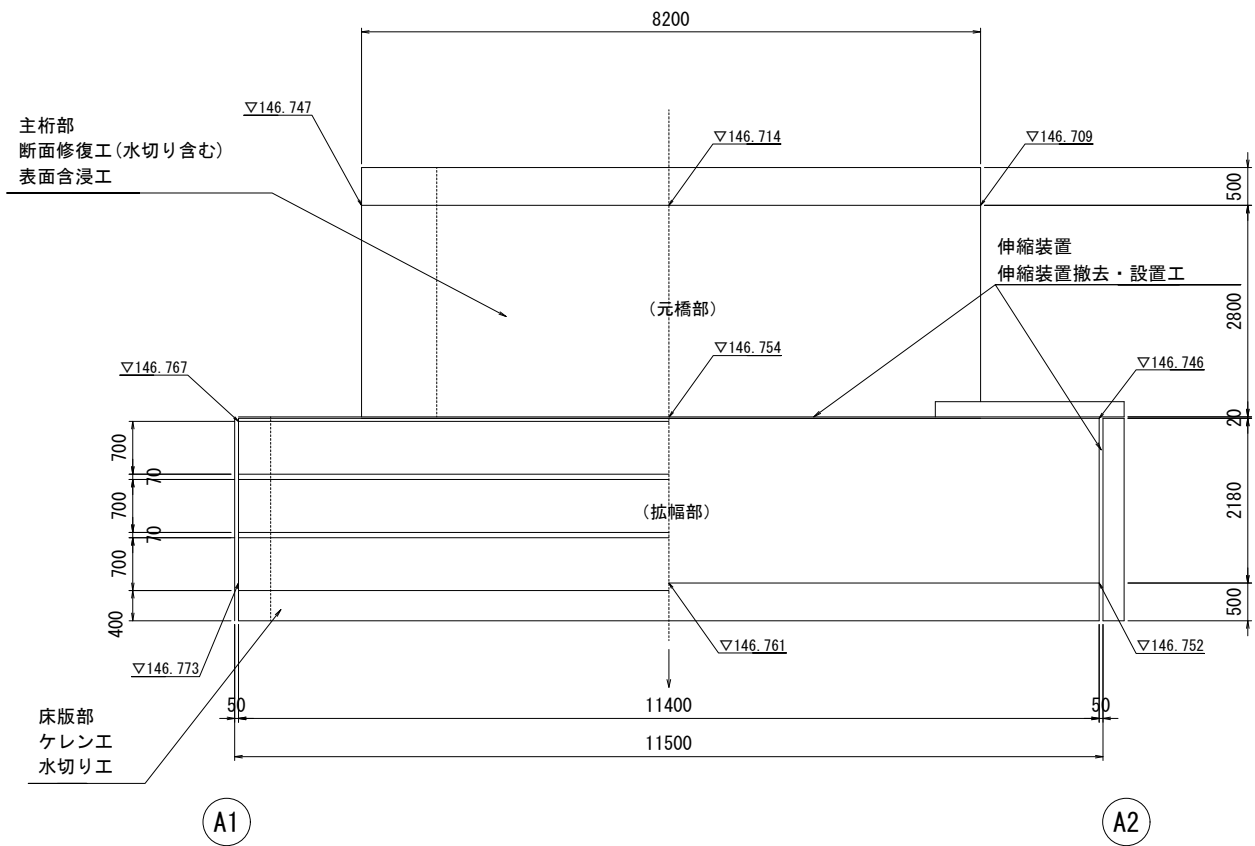
側面図



断面図



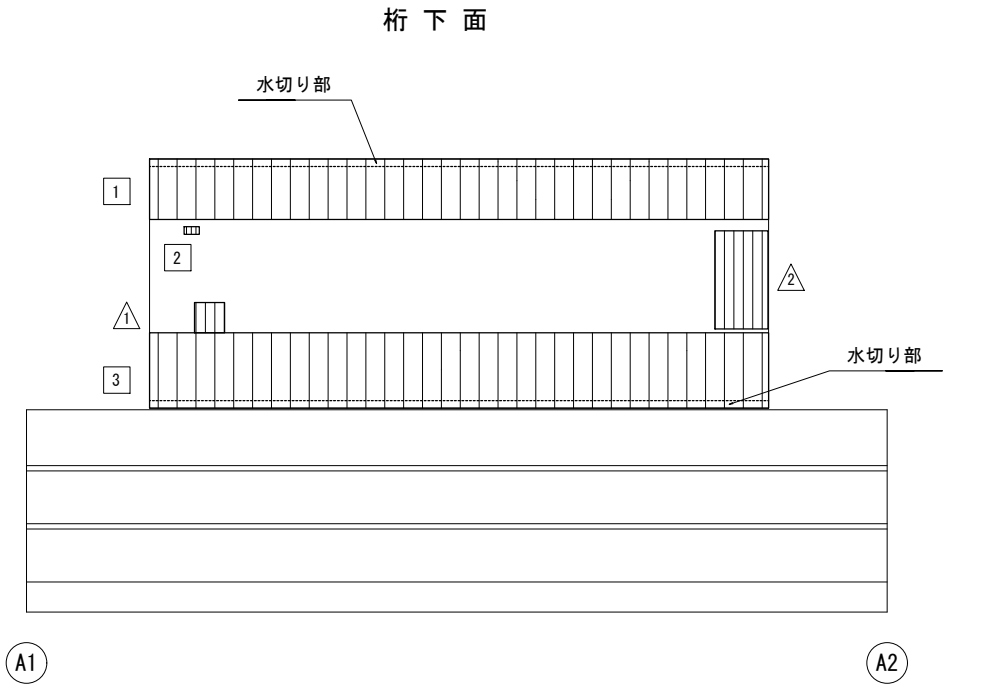
平面図



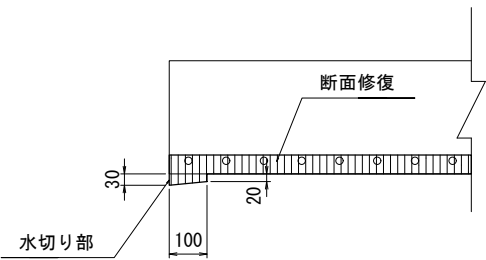
部 材 名	対 策 工
主 桁 部	断面修復工 (水切り含む) 表面含浸工
床 版 部	ケレン工 水切り工
伸縮装置	伸縮装置撤去・設置工
橋 台 部	断面修復工

認可.実施	当 初 第 回変更
年度.番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道相模庭地内1号線
工 事 名	橋梁 (三谷尻3号橋他) 補修工事
地 名	長浜市相模庭町
図 面 名	三谷尻3号橋 補修一般図
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚ノ内 22
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課	

断面修復工



上部工端部詳細図 S=1:10



※ 端部には、水切りの機能を有した突起をすること。

断面図
(橋台)

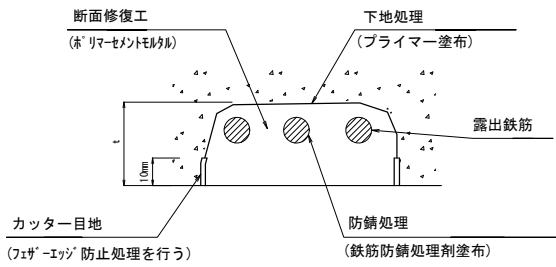


凡例
断面修復工 (セメントモルタル)

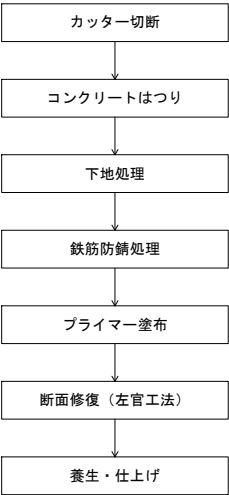
断面修復工

【鉄筋露出】				備 考	
番号	寸法(1箇所あたり) (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)	カッター目地	材 料
1	8200 × 800 × 50	6.560	0.32800	片 側	セメントモルタル
2	200 × 100 × 50	0.020	0.00100	両 側	〃
3	8200 × 1000 × 50	8.200	0.41000	片 側	〃
合 計		14.780	0.73900		
【豆板】					
1	400 × 400 × 10	0.160	0.00160	片 側	セメントモルタル
2	700 × 1300 × 10	0.910	0.00910	〃	〃
合 計		1.070	0.01070		
【欠損】					
1	150 × 100 × 200	0.015	0.00300	片 側	セメントモルタル

断面修復工



施工手順 (参考)

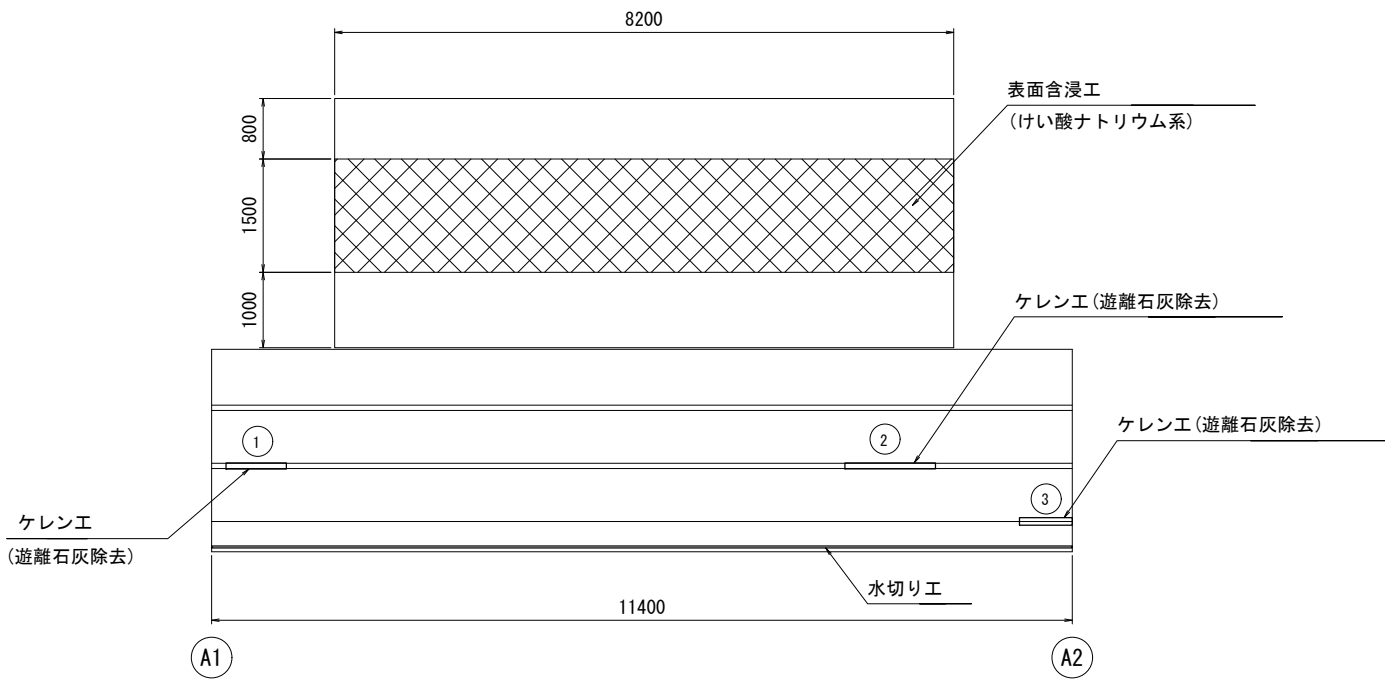


- ※1 劣化、不良コンクリートは健全部に損傷を与えないよう周囲にコンクリートカッターにより切断目地を入れる。
- ※2 下地処理は、ワイヤーブラシ等を用いて構内の切粉等の清掃を行う。
- ※3 剥離、欠損、豆板部はうき、脆弱部分をはつり取り鉄筋が見えた場合は、鉄筋防食処理後、欠損断面を補修する。
- ※4 鋼材露出部は、はつり後、鉄筋の防食処理を入念に行った後、断面修復を行う。

認可・実施	当初 第 回変更
年度・番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道相模庭地内1号線
工 事 名	橋梁（三谷尻3号橋他）補修工事
地 名	長浜市相模庭町
図 面 名	三谷尻3号橋 補修図(1)
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚ノ内 23
長浜市 都市建設部 道路河川課	

ケレン工
水切り工
表面含浸工

桁下面

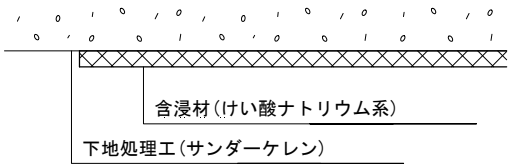


遊離石灰除去
ケレン工 (4種)

番号	長さ (mm)
①	800
②	1200
③	700
合計	2700

※ ケレン幅は、一般的なディスクグラインダーの外径
サイズ(φ100)とする。

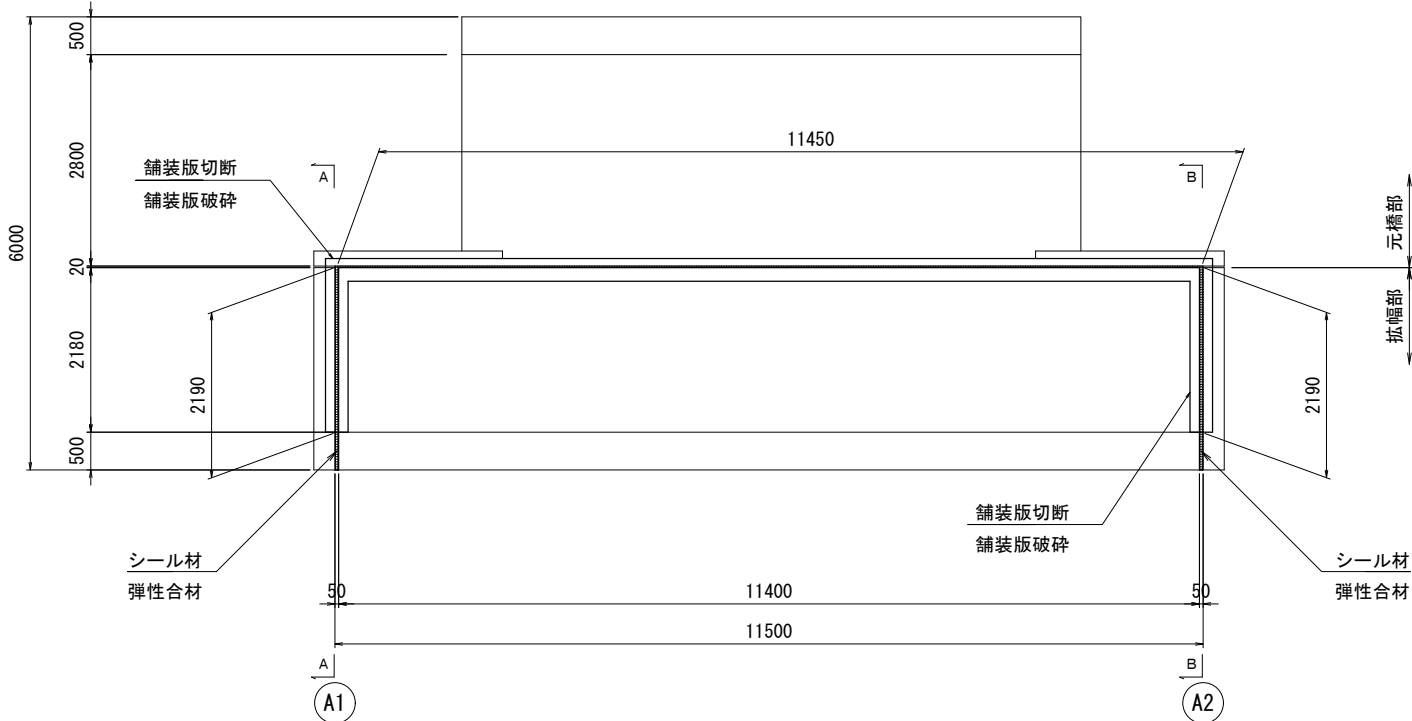
表面含浸工 断面図



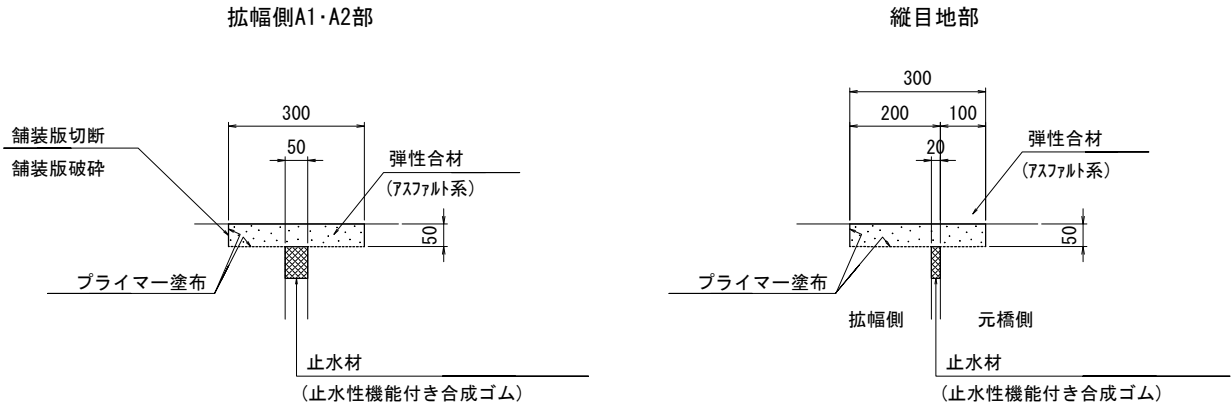
三谷尻3号橋 補修図(3)

伸縮裝置撤去・設置工

平面图 S=1:50



車道部断面図 S=1:5



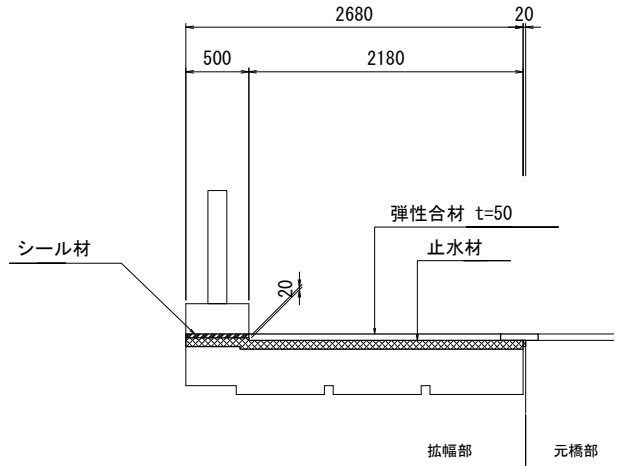
※1 仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。

※2 弾性合材舗設部については、必要に応じて超速硬無収縮モルタル等にて補修及び不陸調整を行うこと。

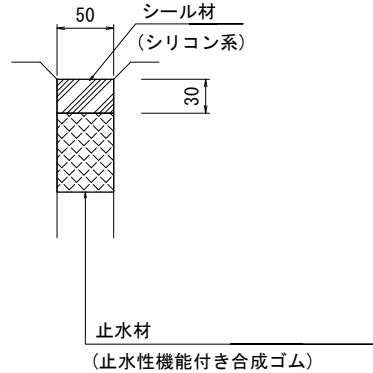
※3 舗装との段差は、弾性合材で擦り付けを行うこと。


A—A
B—B

断面图 S=1:30



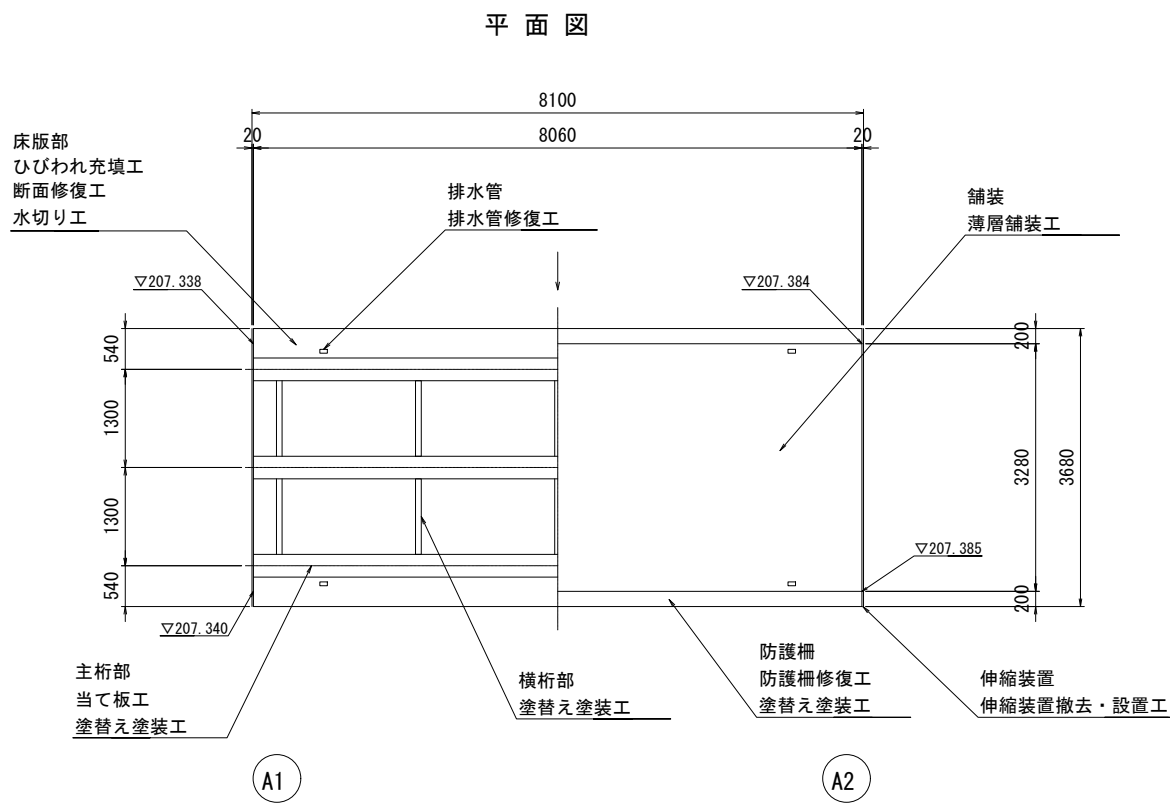
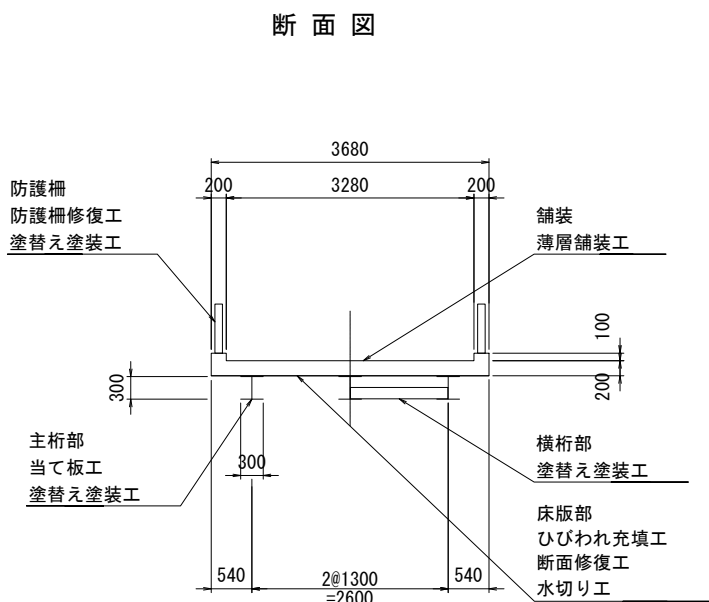
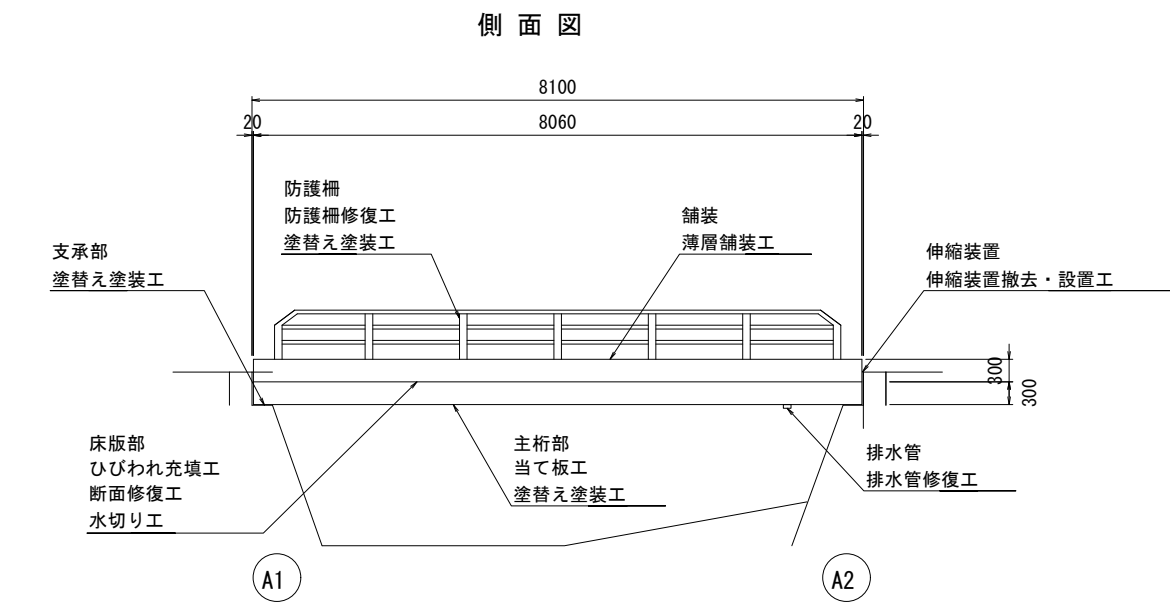
地覆部断面图 S=1:2



認可・実施	 第 回 家 更
年度・番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道相撲庭地内1号線
工 事 名	橋梁（三谷尻3号橋他）補修工事
地 名	長浜市相撲庭町
図 面 名	三谷尻3号橋 補修図(3)
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚ノ内 25
長浜市 都市建設部 道路河川課	

無名橋(2013) 補修一般図

S=1:50

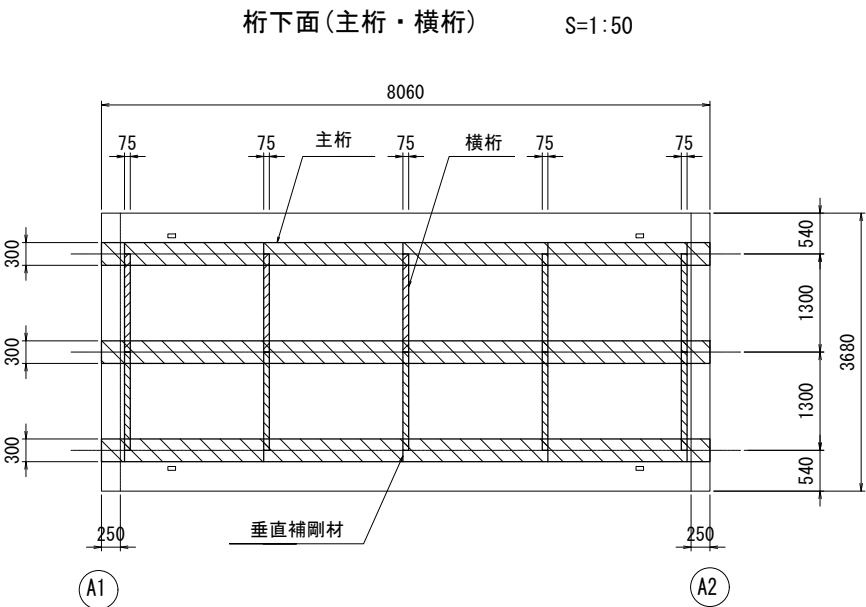


部 材 名	対 策 工
主 桁 部	当て板工 塗替え塗装工
横 桁 部	塗替え塗装工
床 版 部	ひびわれ充填工 断面修復工 水切り工
支 承 部	塗替え塗装工
舗 装	薄層舗装工
伸縮装置	伸縮装置撤去・設置工
防 護 柵	防護柵修復工 塗替え塗装工
排 水 管	排水管修復工

認可.実施	当 初 第 回変更
年度.番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道西村地内1号線
工 事 名	橋梁(三谷尻3号橋他)補修工事
地 名	長浜市西村町
図 面 名	無名橋(2013) 補修一般図
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚ノ内 26
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課	

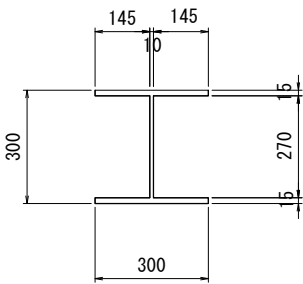
無名橋(2013) 補修図(1)

塗替え塗装工

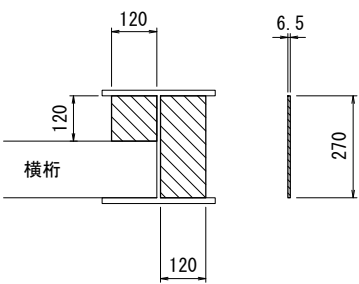


断面形状 S=1:10

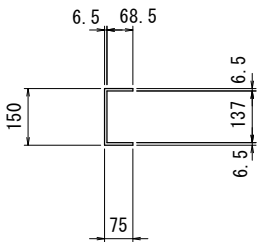
主 桁



垂直補剛材

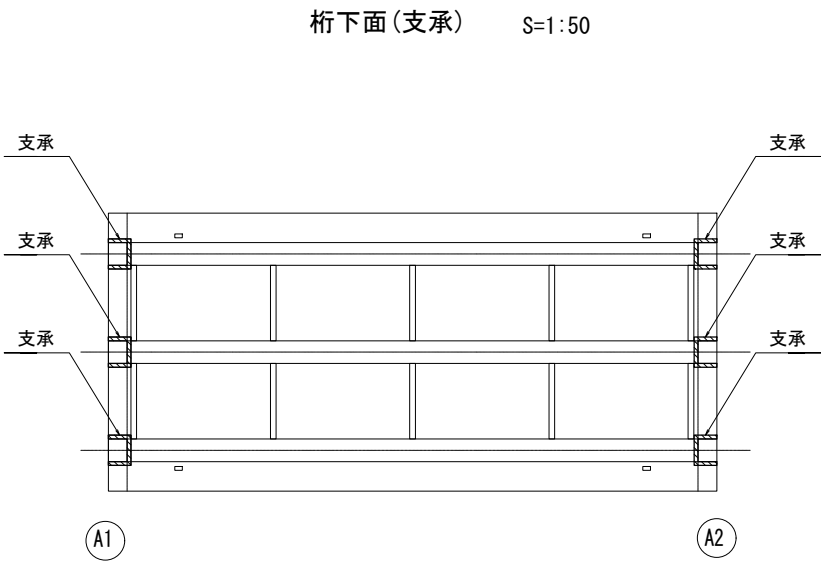


横 桁



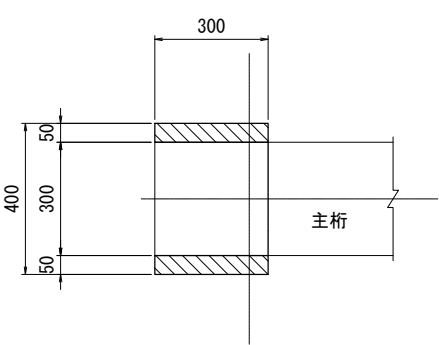
Rc-II 塗装系(はけ, ローラー)		
塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m ²)
素地調整	2 種	
防食下地	有機ジンクリッチペイント ※1	(240)
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120

※1:素地調整は程度は2種であるが健全なジンクリッチプライマーやジンクリッチペイントを残し、ほかの旧塗膜を全面除去した場合は、鋼材露出部のみ有機ジンクリッチペイントを塗付する。この際、使用量の目安は240g/m²程度とする。素地調整程度2種で旧塗膜を全面除去した場合は、有機ジンクリッチペイントの使用量が600g/m²とする。

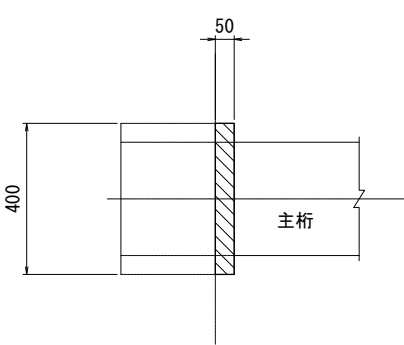


断面形状 S=1:10

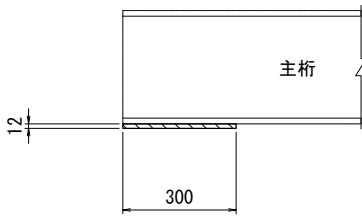
上 面



下 面



側 面

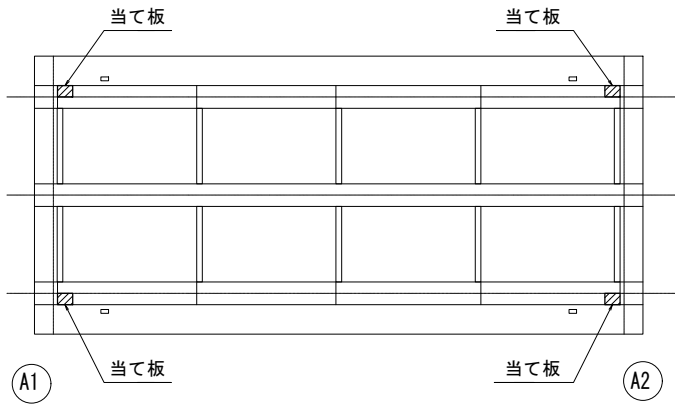


認可・実施	当 初 第 回変更
年度・番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道西村地内1号線
工 事 名	橋梁(三谷尻3号橋他)補修工事
地 名	長浜市西村町
図 面 名	無名橋(2013) 補修図(1)
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚ノ内 27
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課	

無名橋(2013) 補修図(2)

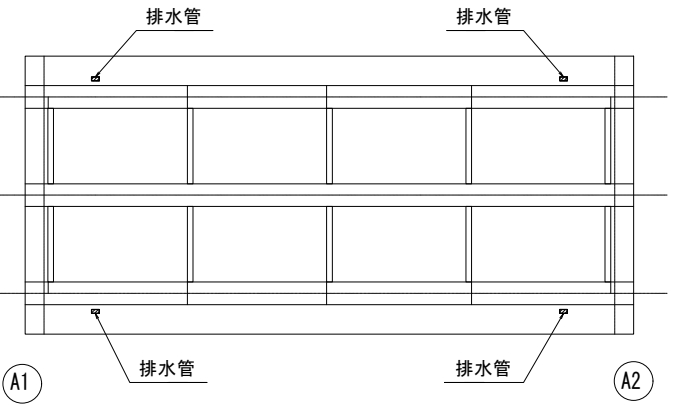
当て板工

桁 下 面 S=1:10

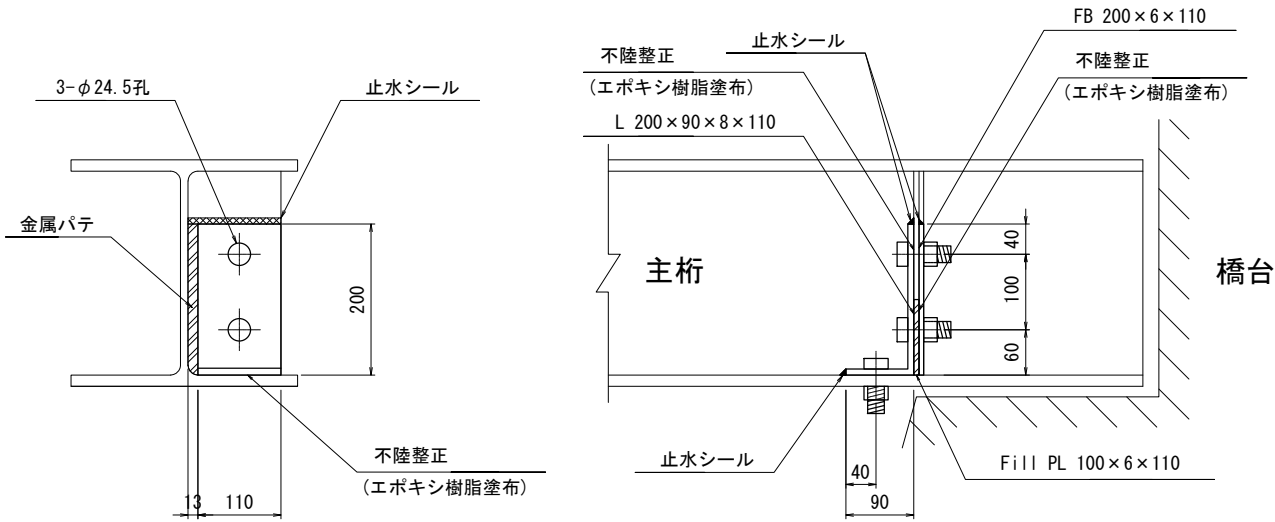


排水管修復工

桁 下 面 S=1:10



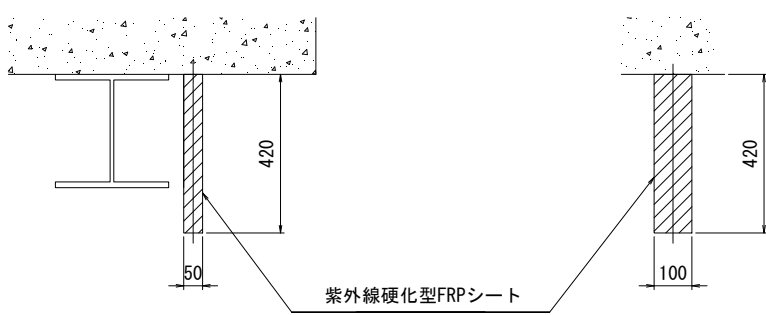
詳 細 図 S=1:5



- 1-L 200x90x8x110 (SS400)
- 1-FB 200x6x110 (SS400)
- 1-Fill PL 100x6x110 (SS400)
- 3-TCB M22x60 (S10T)

- ※1 製作、設置するにあたっては、現地寸法を確認の上行うこと。
- ※2 当て板が接する既設面は、ケレン後エポキシ樹脂系接着材を塗布し不陸整正を行う。
- ※3 母材の欠損部は、当て板前に金属パテにより断面修復を行い、出来るだけ大きな不陸を解消しておく。

詳 細 図 S=1:10



- ※1 製作にあたっては、現地寸法を確認の上行うこと。
- ※2 FRPシートは塗膜、錆を除去してから巻くこと。
- ※3 排水管には塗装(上塗り)を施すこと。
- ※4 排水管4箇所すべてに施すこと。

認可・実施	当 初 第 回変更
年度・番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道西村地内1号線
工 事 名	橋梁（三谷尻3号橋他）補修工事
地 名	長浜市西村町
図 面 名	無名橋（2013） 補修図（2）
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚ノ内 28
長浜市 都市建設部 道路河川課	

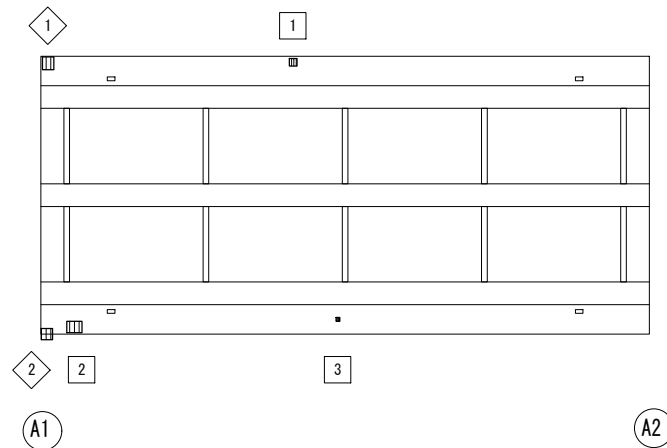
無名橋(2013) 補修図(3)

断面修復工

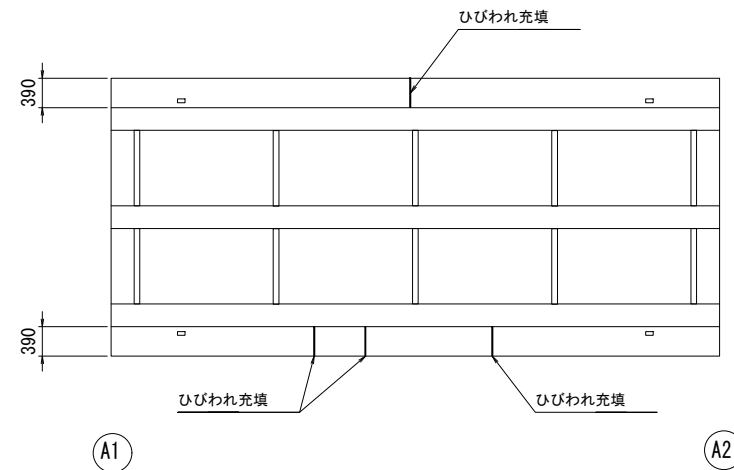
ひびわれ充填工

水切り工

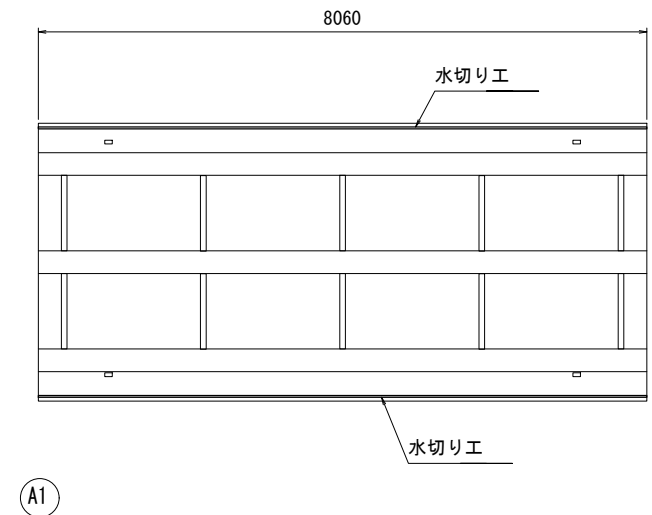
桁 下 面 S=1:50



桁 下 面 S=1:50



桁 下 面 $S=1:50$



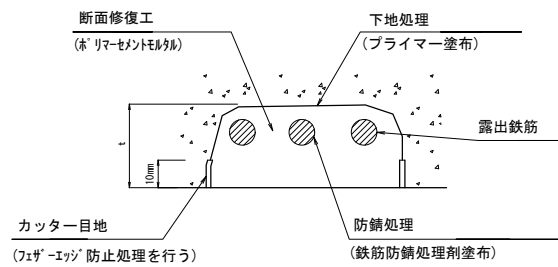
断面修復工

【鉄筋露出】					
番号	寸法(1箇所あたり) (mm)	面積 (m ²)	体積 (m ³)	備 考	
				カット目地	材 料
1	100 × 100 × 50	0.010	0.00050	片 側	ホリマーセメントモルタル
2	200 × 150 × 35	0.030	0.00105	〃	〃
3	50 × 50 × 35	0.003	0.00011	両 側	〃
合 計		0.043	0.00166		
【剥離】					
1	150 × 170 × 20	0.026	0.00052	片 側	ホリマーセメントモルタル
2	150 × 150 × 10	0.023	0.00023	〃	〃
合 計		0.049	0.00075		

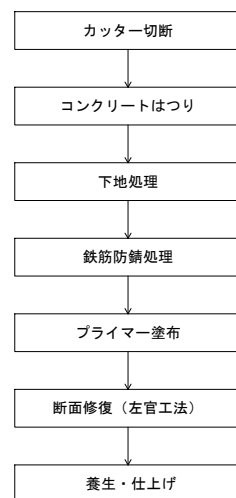
凡例

断面修復工 (ホ[※] リマーセメントモルタル)

断面修復工



施工手順 (参考)



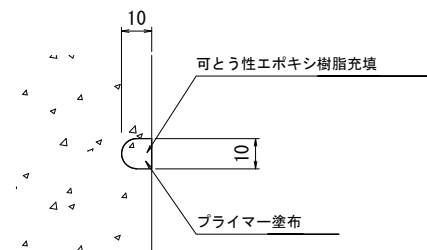
※1 劣化、不良コンクリートは健全部に損傷を与えないよう周囲にコンクリートカッターにより切断目地を入れる。

※2 下地処理は、ワイヤーブラシ等を用いて構内の切粉等の清掃を行う。

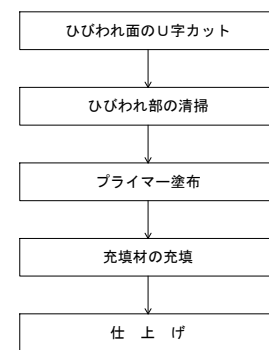
※3 剥離、欠損、豆板部やうき、脆弱部分をはつり取り鉄筋が見えた場合は、鉄筋防食処理後、欠損断面を補修する。

※4 鋼材露出部は、はつり後、鉄筋の防食処理を入念に行った後、断面修復を行う。

ひびわれ充填工法



施工手順 (参考)

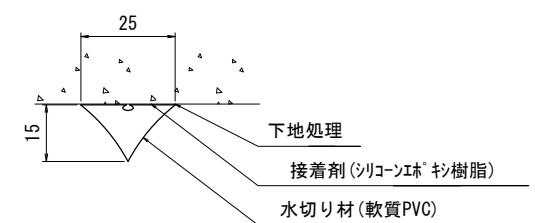


※1 ひびわれ充填は、遊離石灰に沿って行うこと。

※2 Uカット内部は、ワイヤーブラシ等を用いて構内の切粉等の清掃を行う。

※3 プライマーは、溝内部に刷毛等で塗り残しのないように均一に塗布すること。

※4 充填剤は空隙のないように加圧しながら充填し、へらで押さえ既設コンクリートと密着させて表面を平滑に仕上げる。

断面形状 $S=1:2$ 

※1 製作、設置するにあたっては、現地寸法を確認の上行う。

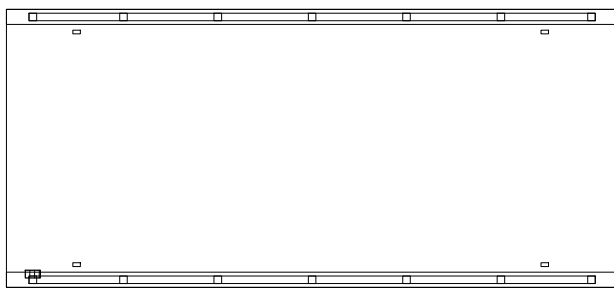
※2 接着面は、デスクサンダーやワイヤーブラシ等で清掃をし、油分、ゴミ等を取り除く。

認可、実施	(当 初) 第 回変更
年度、番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道西村地内1号線
工 事 名	橋梁（三谷尻3号橋他）補修工事
地 名	長浜市西村町
図 面 名	無名橋（2013） 補修図（3）
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚/内 29
長浜市 都市建設部 道路河川課	

無名橋(2013) 補修図(4)

伸縮装置設置工 S=1:50

橋 面



4

A1

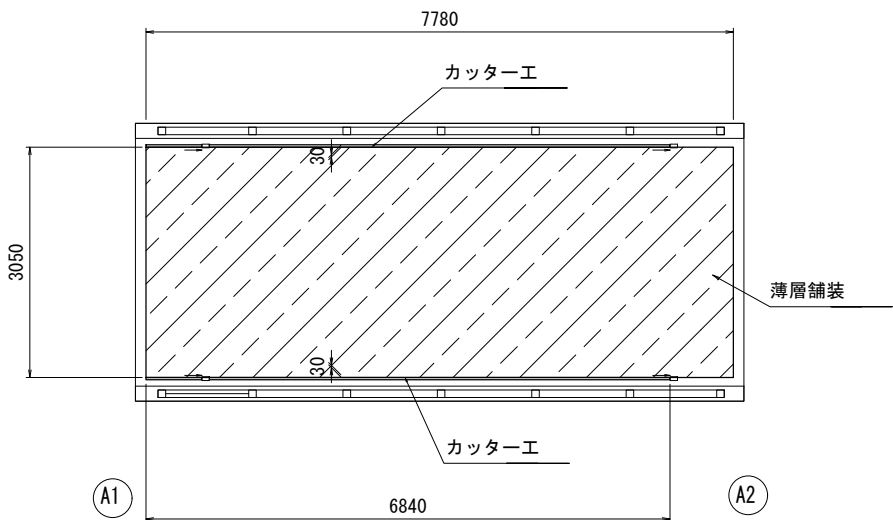
A2

断面修復工

【鉄筋露出】					
	寸法(1箇所あたり) (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)	備 考	
				カッター目地	材 料
4	200 × 100 × 20	0.020	0.00040	片 側	ポ リマーセメントモ ルタル

薄層舗装工 S=1:50

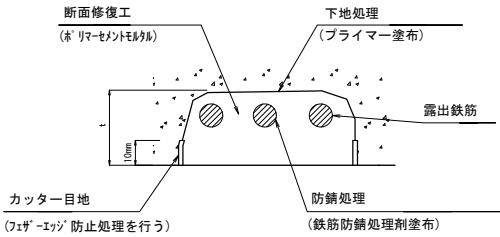
橋 面



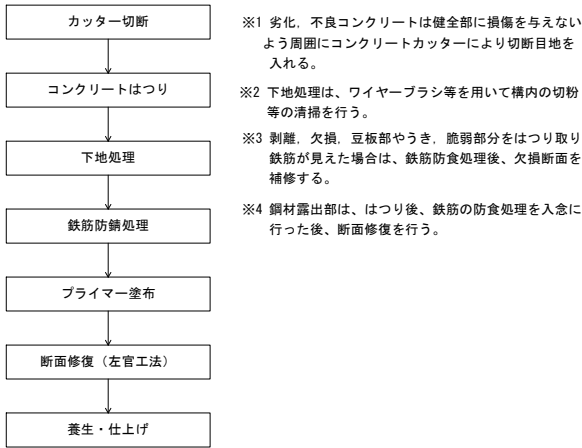
※ カッター工の施工に際し、床版の鉄筋状況を確認し、監督員と協議の上、設置位置を決定すること。

名 称	数 量	備 考
薄層舗装	23.7㎡	H1-SPECシ-ル工法 CPタイフ 同等品以上

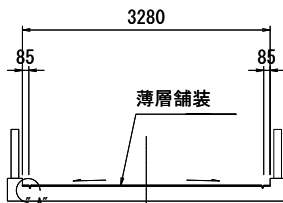
断面修復工



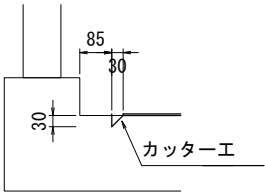
施工手順 (参考)



断 面 図

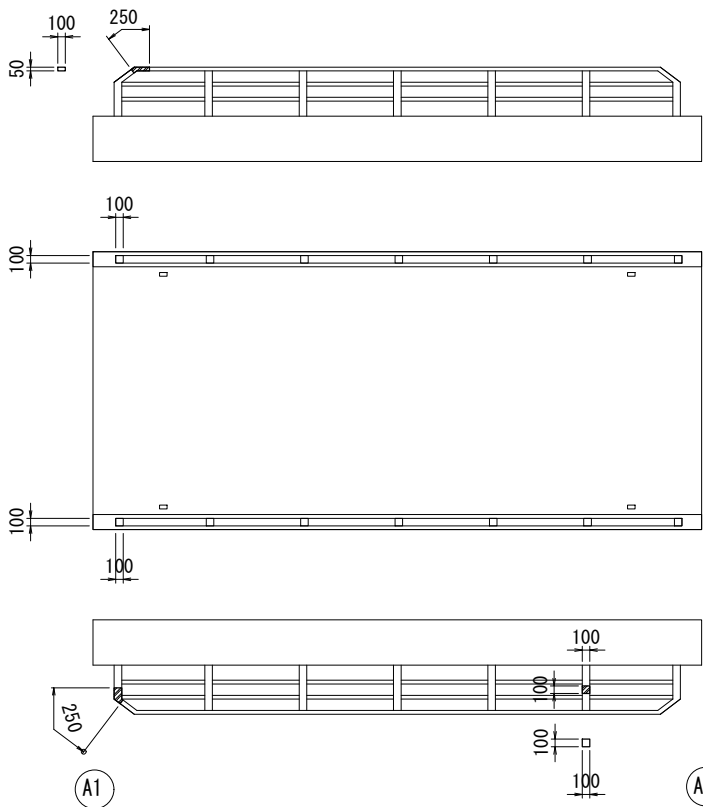


A部詳細図 S=1:10



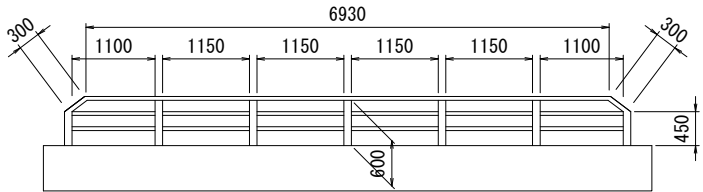
防護柵修復工
(紫外線硬化型FRPシート)
(塗替え塗装)

紫外線硬化型FRPシート貼付け S=1:50



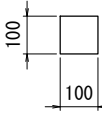
※ FRPシートは、全周巻きとする。

塗替え塗装 S=1:50

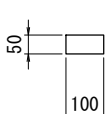


断面形状 S=1:10

支柱



ビ-ム



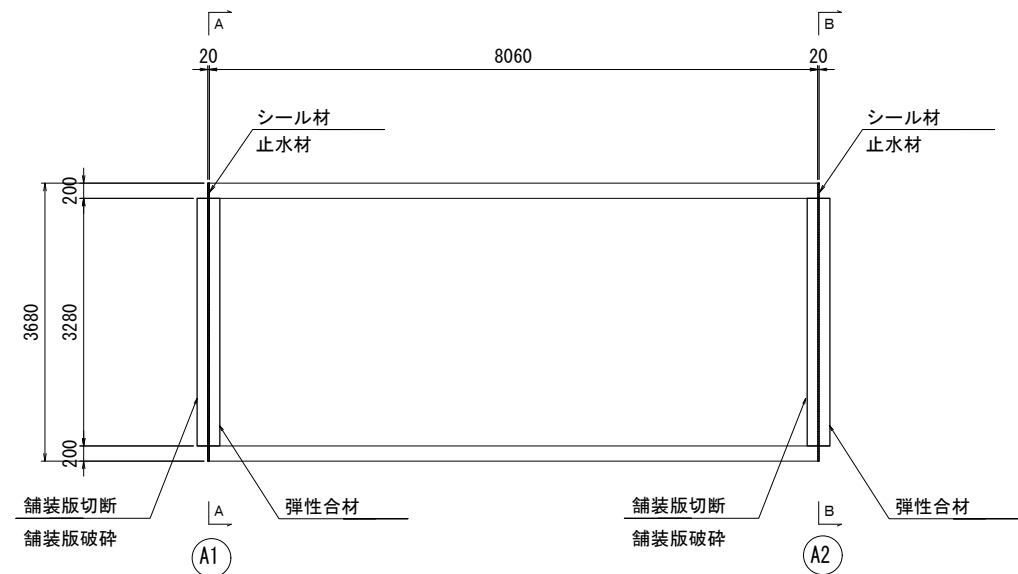
防護柵塗替え		
塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/㎡)
素地調整	3 種 B	
下 塗	鉛系錆止めペイント	140
中 塗	長油性フタル酸樹脂塗料中塗り	120
上 塗	長油性フタル酸樹脂塗料上塗り	110

認可・実施	当 初 第 回変更
年度・番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道西村地内1号線
工 事 名	橋梁(三谷尻3号橋他)補修工事
地 名	長浜市西村町
図 面 名	無名橋(2013) 補修図(4)
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚ノ内 30
長浜市 都市建設部 道路河川課	

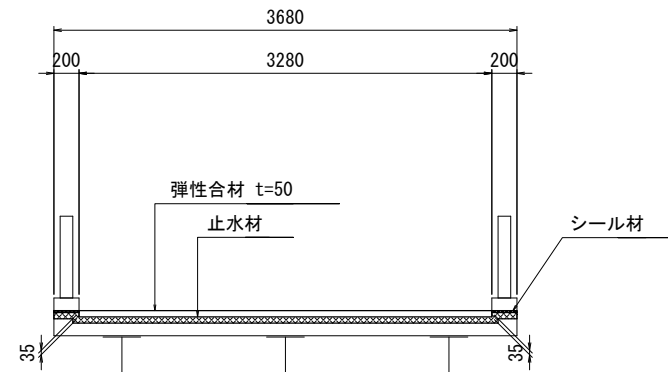
無名橋(2013) 補修図(5)

伸縮装置撤去・設置工

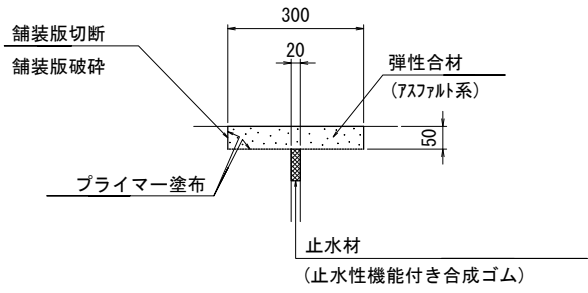
平面図 S=1:50



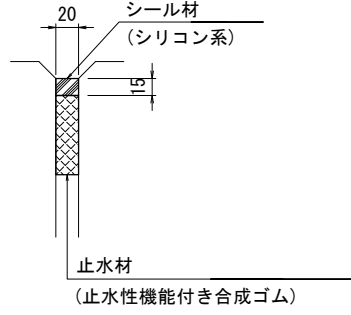
A-A 断面図 S=1:30
B-B



車道部断面図 S=1:5



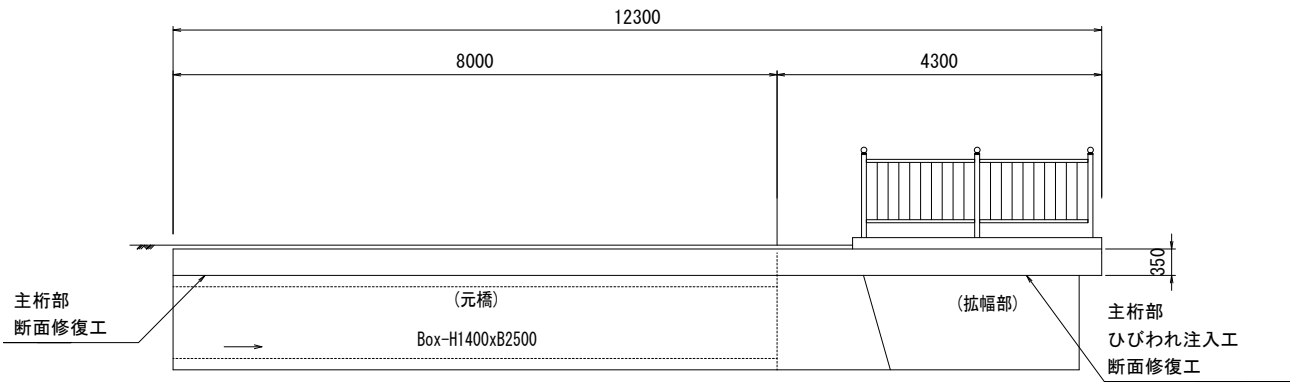
地覆部断面図 S=1:2



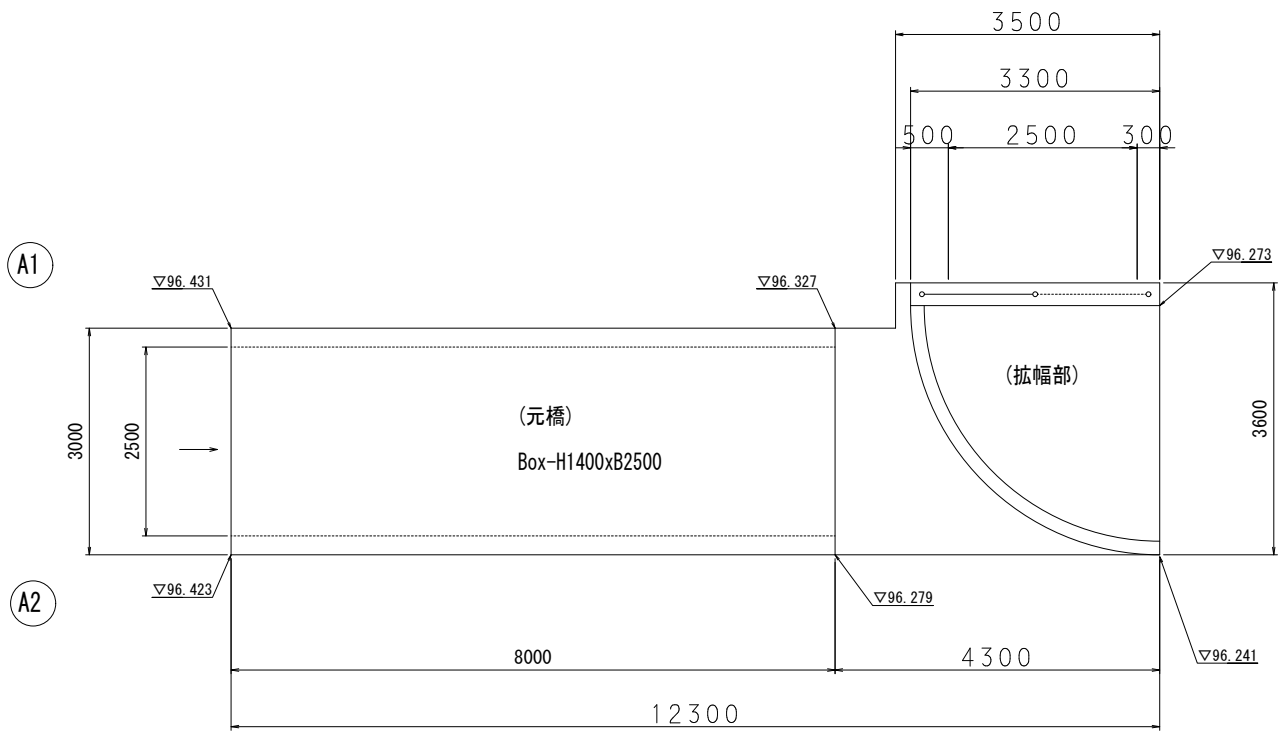
- ※1 仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。
- ※2 弾性合材舗設部については、必要に応じて超速硬無収縮モルタル等にて補修及び不陸調整を行うこと。
- ※3 < >内はA2部を示す。

認可・実施	当 初 第 回変更
年度・番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道西村地内1号線
工 事 名	橋梁（三谷尻3号橋他）補修工事
地 名	長浜市西村町
図 面 名	無名橋（2013） 補修図（5）
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚ノ内 31
長浜市 都市建設部 道路河川課	

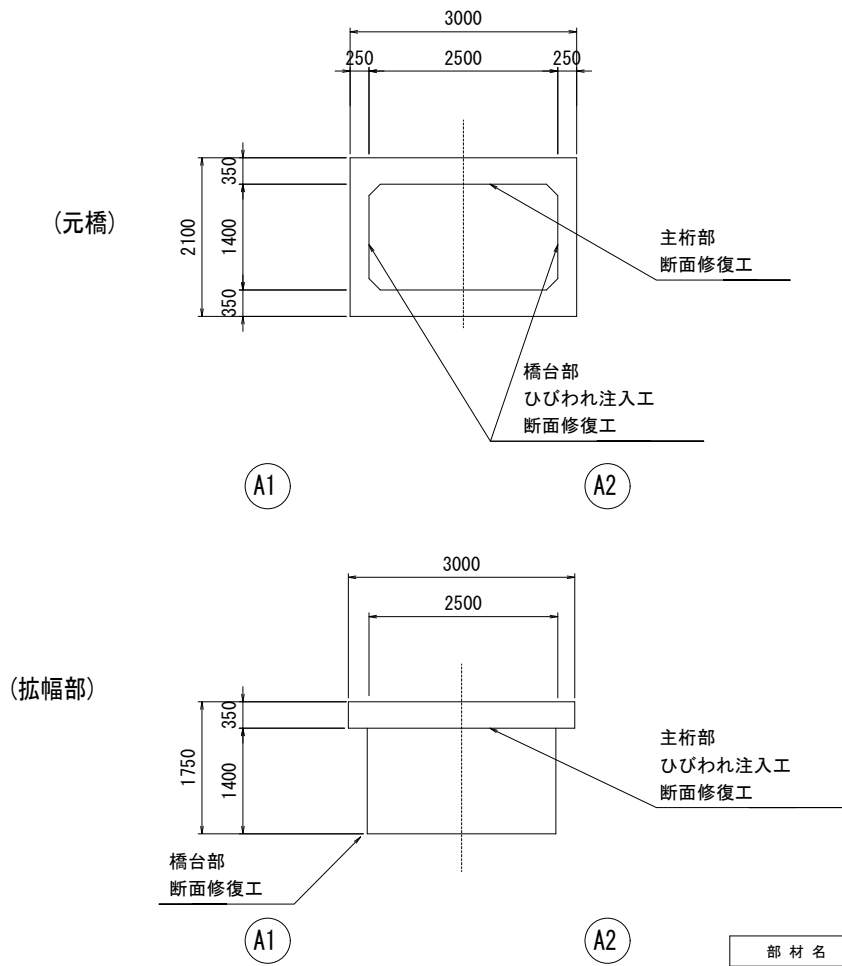
側面図



平面図



断面図

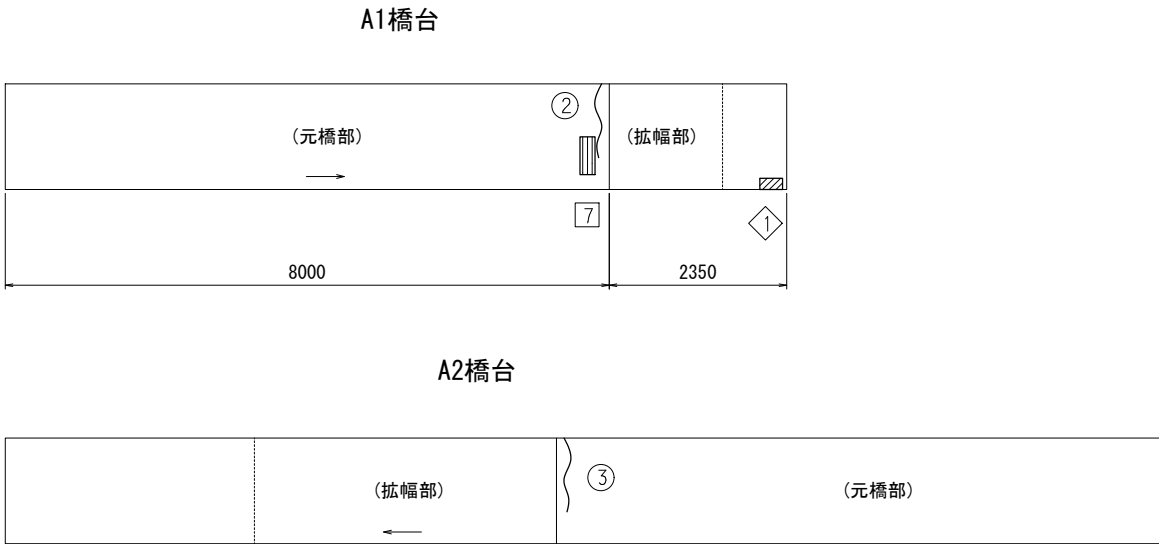
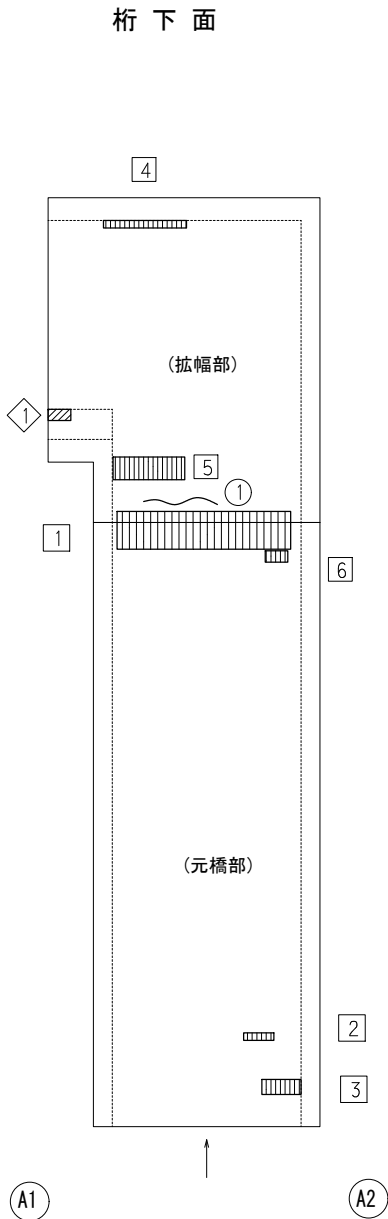


部 材 名	対 策 工
主 桁 部	ひびわれ注入工
	断面修復工
	目地部補修工
橋 台 部	ひびわれ注入工
	断面修復工
橋 面	歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ取替工
	舗装クラック補修工

認可.実施	当 初 第 回変更
年度.番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道下坂中下之郷線
工 事 名	橋梁（三谷尻3号橋他）補修工事
地 名	長浜市神照町
図 面 名	寺前橋 補修一般図
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚ノ内 32
長浜市 都市建設部 道路河川課	

寺前橋 補修図(1) S=1:50

ひびわれ注入工
断面修復工

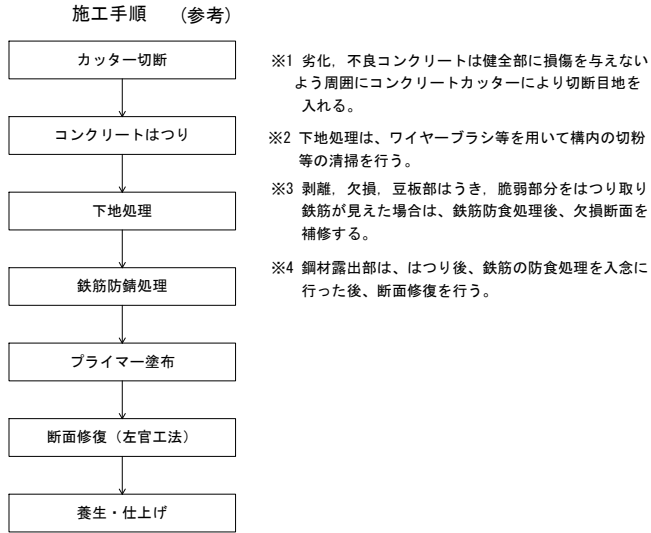
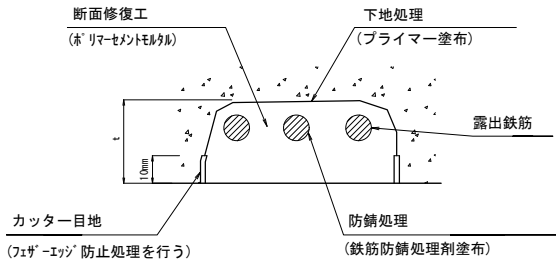


断面修復工					
【鉄筋露出】 【うき】					
番号	寸法(1箇所あたり) (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)	備 考	
				カッター目地	材 料
1	500 × 2300 × 40	1.150	0.04600	両 側	ポ リマ-セメントモルタル
2	100 × 400 × 40	0.040	0.00160	〃	〃
3	200 × 520 × 40	0.104	0.00416	〃	〃
4	1100 × 100 × 40	0.110	0.00440	片 側	〃
5	300 × 950 × 40	0.285	0.01140	両 側	〃
6	150 × 300 × 40	0.045	0.00180	〃	〃
7	500 × 200 × 40	0.100	0.00400	〃	〃
合 計		1.834	0.07336		

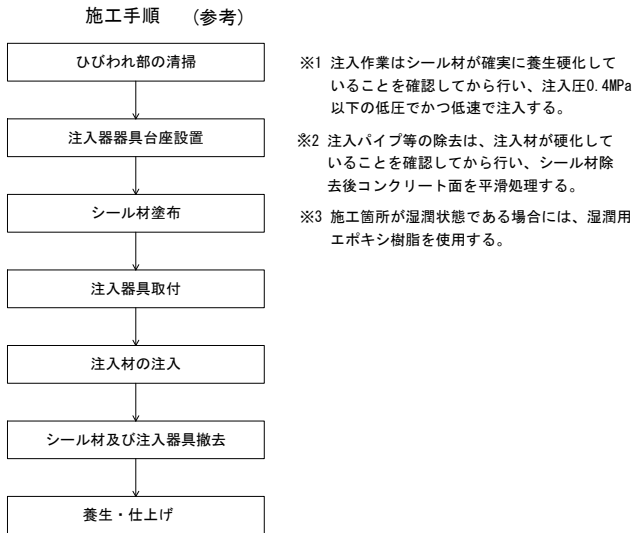
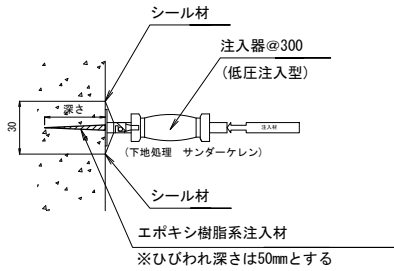
【洗掘】				
番号	寸法(1箇所あたり) (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)	備 考
1	350 × 450 × 700	0.158	0.11060	コンクリート(σ ck=18N/mm2)

※1 コンクリート打設前に河床を10cm掘下げ後に打設を行うこと。
※2 施工時は、コンクリートの締固めを十分に行うこと。

断面修復工



ひびわれ注入工

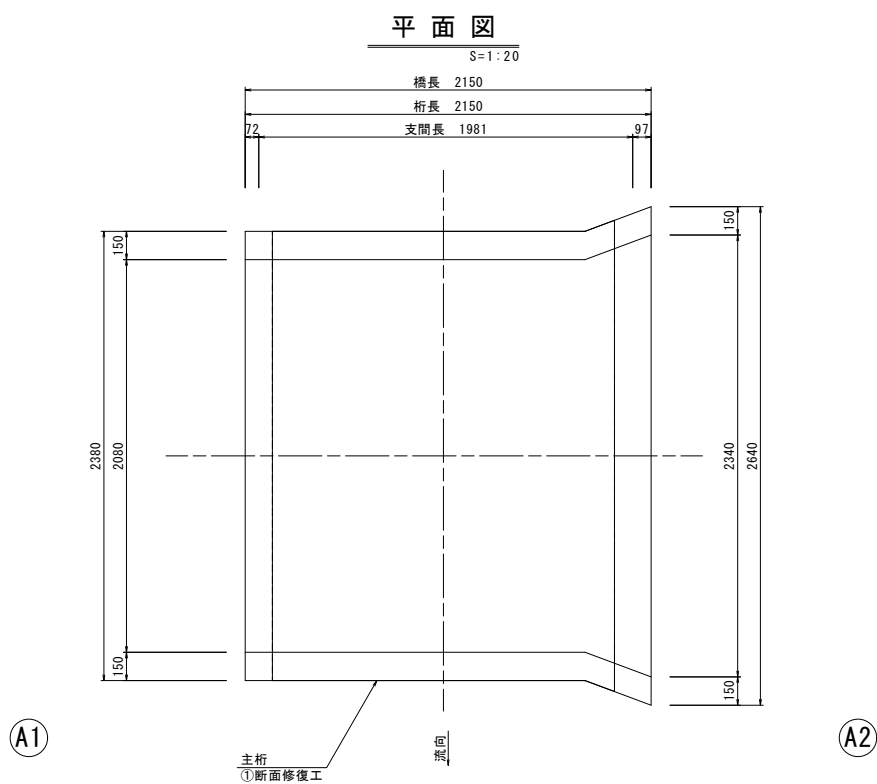
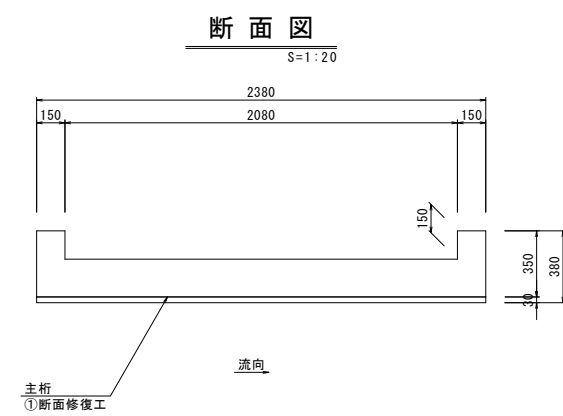
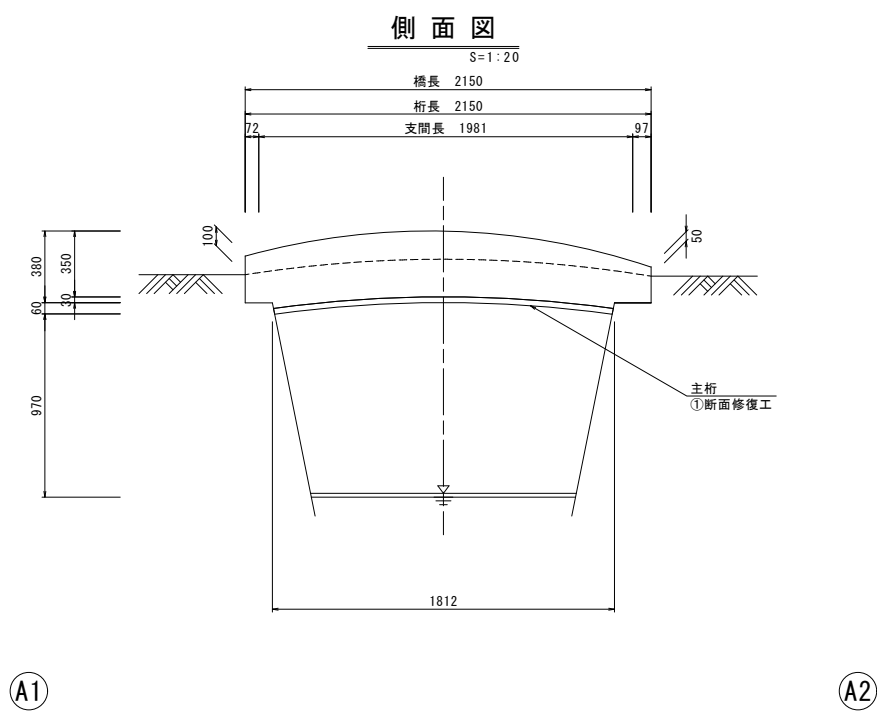


番号	幅 (mm)	長さ (mm)	備 考
1	0.30	1800	エポキシ樹脂1種
2	1.10	1100	〃
3	1.00	900	〃
合 計		長さ(m) 3.800	

- 凡例
- 断面修復工 (ポ リマ-セメントモルタル)
 - 断面修復工 (コンクリート)
 - ひびわれ注入工 (エポキシ樹脂)

認可・実施	当 初 第 回変更
年度・番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道下坂中下之郷線
工 事 名	橋梁(三谷尻3号橋他)補修工事
地 名	長浜市神照町
図 面 名	寺前橋 補修図(1)
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚ノ内 33
長浜市 都市建設部 道路河川課	

須賀谷3号橋 補修一般図



補修工一覧

補修工番号	補修工種	適用箇所
①	断面修復工	主桁

認可・実施	当初第 回変更
年度・番号	令和6年度 長道河第296号
路線名	市道須賀谷地内3号線
工事名	橋梁（三谷尻3号橋他）補修工事
地名	長浜市須賀谷町
図面名	須賀谷3号橋 補修一般図
縮尺	図示
図面番号	35 枚ノ内 34
長浜市 都市建設部 道路河川課	

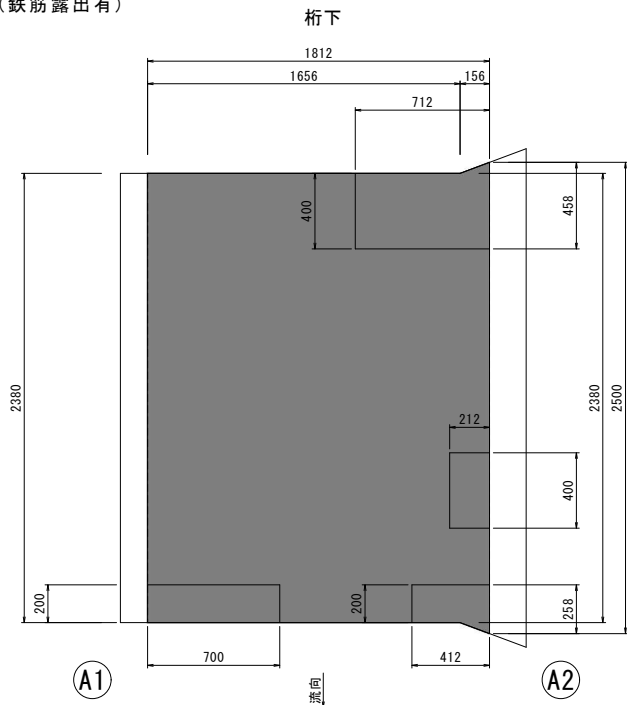
須賀谷3号橋 断面修復図

【凡例】

- ：断面修復工（鉄筋露出無）
■：断面修復工（鉄筋露出有）

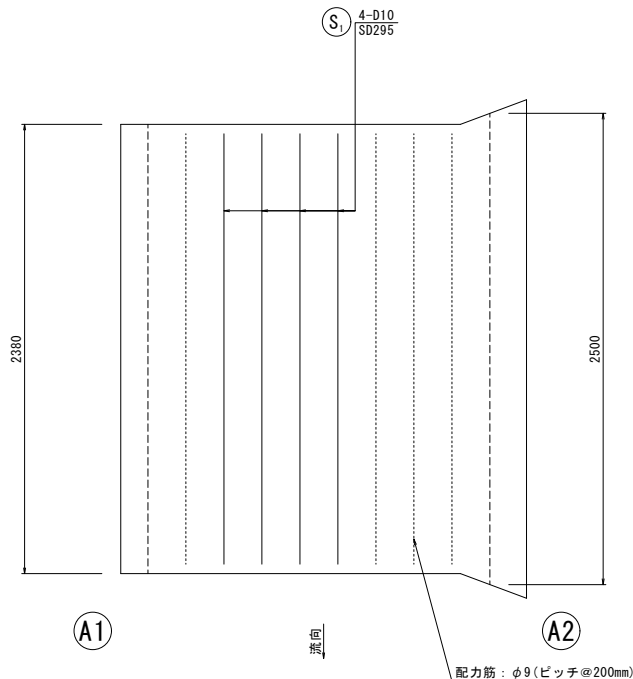
断面修復工範囲

S=1:20



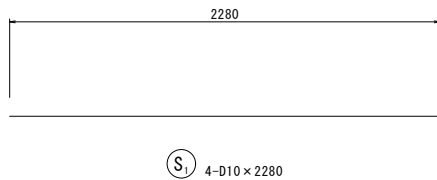
添筋配筋図

S=1:20



添筋加工図

S=1:20



断面修復工数量表

部 材	面積 (m2)	厚さ (m)
主桁	0.601	0.040
	3.721	0.060

鉄筋質量表

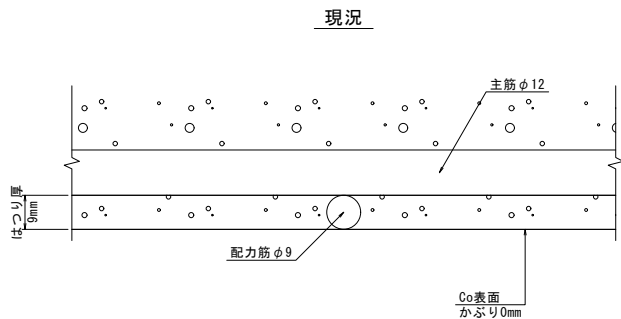
記 号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg)	総質量 (kg)	摘要
S1	D10	2280	4	0.560	1.28	5	――

※材質はSD295とする。

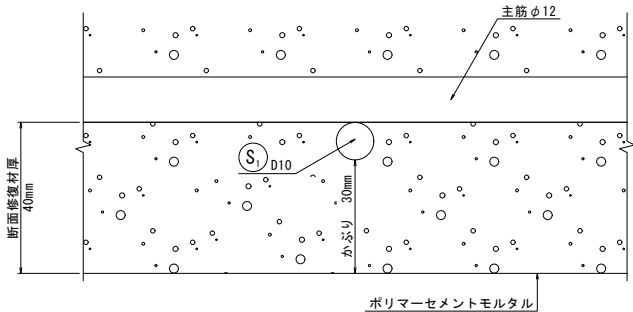
断面詳細図

S=1:1

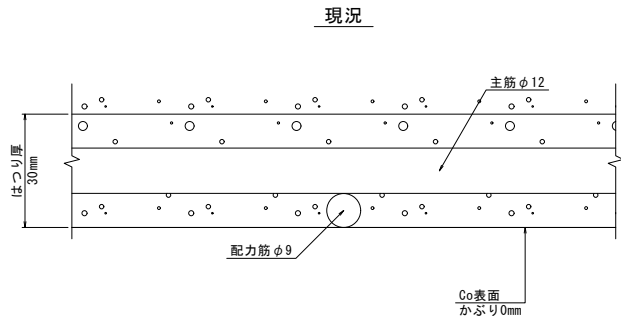
鉄筋露出無



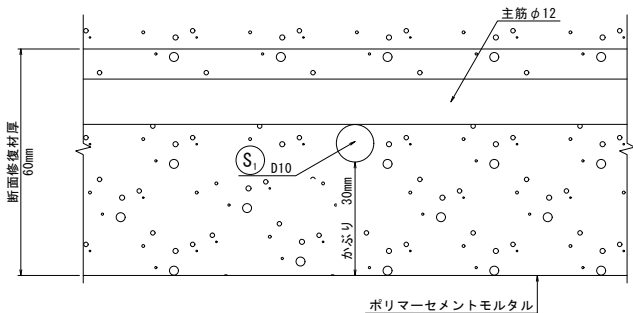
計画



鉄筋露出有

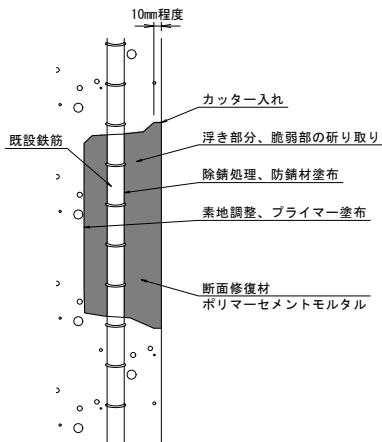


計画



断面修復工 (参考)

左官工法



- 注記)
- 補修範囲に10mm程度カッターを入れてから施工すること。
 - 断面修復は、脆弱部をたたき落とした上で実施すること。
 - 断面修復の際は、鉄筋に防錆処理を施すこと。
 - はつり深さが大きく50mm程度以上の厚塗りとなる場合には、多層塗りとすることを基本とする。
 - かぶり厚が十分確保できない場合は、補修材を盛ること。
 - 断面修復箇所及び数量は、現地にて確認すること。
 - 補修箇所の確認に際しては全面打音調査を行うこと。
 - 付着強度1.5N/mm²以上

認可.実施	当 初 第 回変更
年度.番号	令和6年度 長道河第296号
路 線 名	市道須賀谷地内3号線
工 事 名	橋梁（三谷尻3号橋他）補修工事
地 名	長浜市須賀谷町
図 面 名	須賀谷3号橋 断面修復図
縮 尺	図 示
図 面 番 号	35 枚ノ内 35
長浜市 都市建設部 道路河川課	